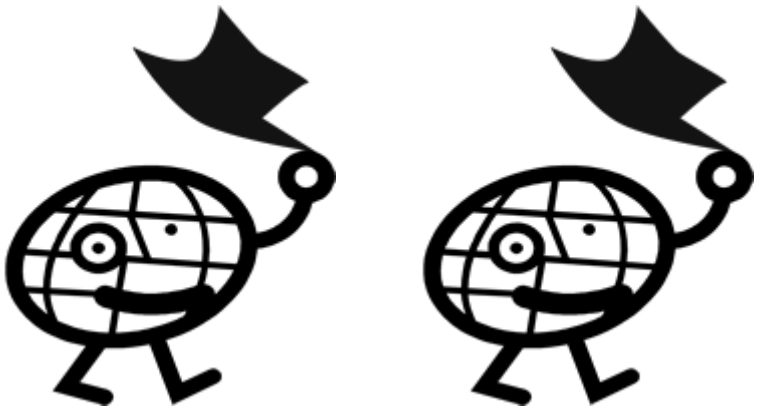
平成 30 年度第２回

新宿区

区政モニターアンケート報告書

テーマ１　健康習慣について
テーマ２　新宿応援セールについて
テーマ３　成年後見制度について
テーマ４　男女共同参画に関する意識について
テーマ５　歌舞伎町ルネッサンスの推進について



新宿区総合政策部区政情報課広聴係

目　　次

Ⅰ　調査の概要……1
１　調査の目的……1
２　調査の概要……1
３　集計・分析結果を読む際の注意点……1
４　回答者の属性……2
Ⅱ　調査の結果……5
テーマ１　健康習慣について……5
（１）現在の健康状態……5
（２）飲酒頻度……7
（３）１日あたりの飲酒量……8
（４）喫煙状況……11
（５）睡眠での十分な休養……13
（６）こころの問題を気軽に相談できる場所・窓口について……15
（７）かかりつけ歯科医の有無……17
（８）５つの生活習慣に気をつけるとがんになるリスクが大幅に低下すること……19
（９）がん検診の受診状況……21
(10) 区が実施するがん検診の受診状況……25
(11) 健康診査の受診状況……26
(12) 健康診査を受けていない理由……28
テーマ２　新宿応援セールについて……29
（１）「新宿応援セール」の認知状況……29
（２）「新宿応援セール」の認知経路……30
（３）「新宿応援セール」中の商店会での買い物の有無・頻度……31
（４）「新宿応援セール」中に買い物をした店舗……32
（５）「新宿応援セール」中の購入額……33
（６）「新宿応援セール」中の１回あたりの購入金額……34
（７）「新宿応援セール」の当選券の利用……35
（８）「新宿応援セール」の当選券を利用しなかった理由……36
（９）「新宿応援セール」への意見・要望……37
テーマ３　成年後見制度について……39
（１）成年後見制度の認知度……39
（２）成年後見制度の利用意向……42
（３）後見人になってほしい人……44
（４）成年後見制度が利用されるために必要なこと……45

（５）成年後見制度に関する周知方法 46
テーマ４　男女共同参画に関する意識について 47
（１）さまざまな分野での男女平等意識について 47
（２）男女共同参画に関する言葉について 61
（３）仕事と生活のバランスの満足度 62
（４）男女とも働きやすい環境づくりについて 63
（５）「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について 64
（６）ＤＶだと思う行為について 67
（７）ＤＶについての相談機関の窓口について 70
（８）男女共同参画を推進するために必要なことについて 73
テーマ５　歌舞伎町ルネッサンスの推進について 75
（１）歌舞伎町に行く目的 75
（２）今後の、歌舞伎町への来街意向 78
（３）歌舞伎町ルネッサンスの認知状況 82
（４）歌舞伎町の印象の変化 83
（５）歌舞伎町ルネッサンスについての意見・要望 92
Ⅲ　資料（調査票） 95

Ⅰ　調査の概要

１　調査の目的

この調査は、今日的な区政課題への迅速な対応の検討や的確な事業執行を進める上での基礎資料とするため、アンケート区政モニターの方を対象にアンケート調査を実施し、今後の区政運営の参考とするものである。

２　調査の概要

《第２回》	調査対象	アンケート区政モニター　995 名
	調査内容	テーマ１　健康習慣について
		テーマ２　新宿応援セールについて
		テーマ３　成年後見制度について
		テーマ４　男女共同参画に関する意識について
		テーマ５　歌舞伎町ルネッサンスの推進について
	調査期間	平成 30 年 10 月 29 日～平成 30 年 11 月 13 日
	調査方法	郵送配布・郵送回収
	回 答 数	892 票（回収率 89.6%）

３　集計・分析結果を読む際の注意点

○「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表している。
○「ｎ」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示している。
○「ＭＴ」は、「Multiple Total」の略で、複数回答の合計数を示している。
○回答はすべて百分率（%）で表し、小数点以下第２位を四捨五入している。そのため、その数値の合計は 100%を前後する場合がある。
○複数回答の設問では、すべての比率の合計が 100%を超えることがある。
○図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることを表す。
○クロス集計の分析軸となる項目に「無回答」がある場合、これを表示していない。よって「全体」の数値と各項目の和が一致しない場合がある。

統計の数値を考察するにあたり、本報告書では次の表現を用いる。

（例）		（表現）
80.1～80.9%	⇒	約８割
81.0～82.9%	⇒	８割強
83.0～84.9%	⇒	８割台半ば近く
85.0～85.9%	⇒	８割台半ば
86.0～87.9%	⇒	８割台半ばを超え
88.0～88.9%	⇒	９割近く
89.0～89.9%	⇒	９割弱

○ライフステージの名称及び内容は、以下のとおりである。

独身期　　：40歳未満の独身者
家族形成期　：40歳未満の子どものいない夫婦、または一番上の子どもが入学前の人
家族成長前期：一番上の子どもが小・中学生の人
家族成長後期：一番上の子どもが高校・大学生の人
家族成熟期　：64歳以下で一番上の子どもが学校を卒業している人
　　（生計を別にした子どもがいる人を含む）
高齢期　　：65歳以上の人（生計を別にした子どもがいる人を含む）
その他　　：40歳から64歳の独身者、40歳から64歳の子どものいない夫婦など

4　回答者の属性

（１）居住地域

選択肢	回答数	割合(%)	選択肢	回答数	割合(%)
1　四谷	126	14.1	7　落合第一	75	8.4
2　箪笥町	112	12.6	8　落合第二	83	9.3
3　榎町	93	10.4	9　柏木	61	6.8
4　若松町	108	12.1	10　角筈・区役所	36	4.0
5　大久保	91	10.2	無回答	0	0.0
6　戸塚	107	12.0	計	892	100.0%

（２）性別

選択肢	回答数	割合(%)
1　男性	381	42.7
2　女性	511	57.3
無回答	0	0.0
計	892	100.0%

（３）年齢

選択肢	回答数	割合(%)	選択肢	回答数	割合(%)
1　１８～１９歳	10	1.1	9　５５～５９歳	68	7.6
2　２０～２４歳	17	1.9	10　６０～６４歳	50	5.6
3　２５～２９歳	35	3.9	11　６５～６９歳	72	8.1
4　３０～３４歳	52	5.8	12　７０～７４歳	78	8.7
5　３５～３９歳	92	10.3	13　７５～７９歳	45	5.0
6　４０～４４歳	101	11.3	14　８０歳以上	67	7.5
7　４５～４９歳	94	10.5	無回答	13	1.5
8　５０～５４歳	98	11.0	計	892	100.0%

（４）職業

選択肢	回答数	割合(%)	選択肢	回答数	割合(%)
1　会社員・団体職員	318	35.7	5　学生	27	3.0
2　会社役員・団体役員	52	5.8	6　専業主婦・主夫	118	13.2
3　パート・アルバイト、非常勤、嘱託、派遣など	139	15.6	7　無職	118	13.2
			8　その他	6	0.7
4　自営業、自由業	100	11.2	無回答	14	1.6
			計	892	100.0%

（５）職場や学校の所在地

選択肢	回答数	割合(%)
1　新宿区内	248	39.0
2　新宿区外	379	59.6
無回答	9	1.4
計	636	100.0%

（６）同居している家族等

選択肢	回答数	割合(%)	選択肢	回答数	割合(%)
1　子	383	42.9	6　兄弟姉妹	46	5.2
2　妻または夫	552	61.9	7　その他	31	3.5
3　親	102	11.4	8　ひとり暮らし	162	18.2
4　祖父母	11	1.2	無回答	23	2.6
5　孫	18	2.0	回答総計	1,328	148.9%
			計	892	100.0%

（７）同居者数

選択肢	回答数	割合(%)	選択肢	回答数	割合(%)
1　１人	268	37.9	4　４人	48	6.8
2　２人	214	30.3	5　５人以上	21	3.0
3　３人	151	21.4	無回答	5	0.7
			計	707	100.0%

（８）同居している子

選択肢	回答数	割合(%)	選択肢	回答数	割合(%)
1　一番上の子が小学校入学前	98	25.6	4　一番上の子が学校を卒業	117	30.5
2　一番上の子が小・中学生	86	22.5	無回答	15	3.9
3　一番上の子が高・大学生	67	17.5	計	383	100.0%

（９）新宿区での居住年数

選択肢	回答数	割合(%)	選択肢	回答数	割合(%)
1　１年未満	0	0.0	5　１０年以上２０年未満	183	20.5
2　１年以上３年未満	62	7.0	6　２０年以上３０年未満	105	11.8
3　３年以上５年未満	101	11.3	7　３０年以上	305	34.2
4　５年以上１０年未満	120	13.5	無回答	16	1.8
			計	892	100.0%

(10) 住居形態

	選択肢	回答数	割合(%)		選択肢	回答数	割合(%)
一戸建て	1　持ち家の一戸建て	265	29.7	集合住宅	5　分譲マンション・アパート	315	35.3
	2　賃貸の一戸建て	11	1.2		6　賃貸マンション・アパート	217	24.3
	3　社宅・公務員官舎の一戸建て	2	0.2		7　賃貸のUR都市機構（旧公団）・公社のマンション・アパート	3	0.3
	4　その他	1	0.1		8　賃貸の都営・区営住宅	40	4.5
					9　社宅・公務員官舎	23	2.6
					10　その他	1	0.1
					無回答	14	1.6
					計	892	100.0%

(11) ライフステージ

選択肢	回答数	割合(%)	選択肢	回答数	割合(%)
1　独身期	43	4.8	5　家族成熟期	48	5.4
2　家族形成期	117	13.1	6　高齢期	262	29.4
3　家族成長前期	85	9.5	7　その他	277	31.1
4　家族成長後期	60	6.7	計	892	100.0%

Ⅱ　調査の結果

テーマ１　健康習慣について

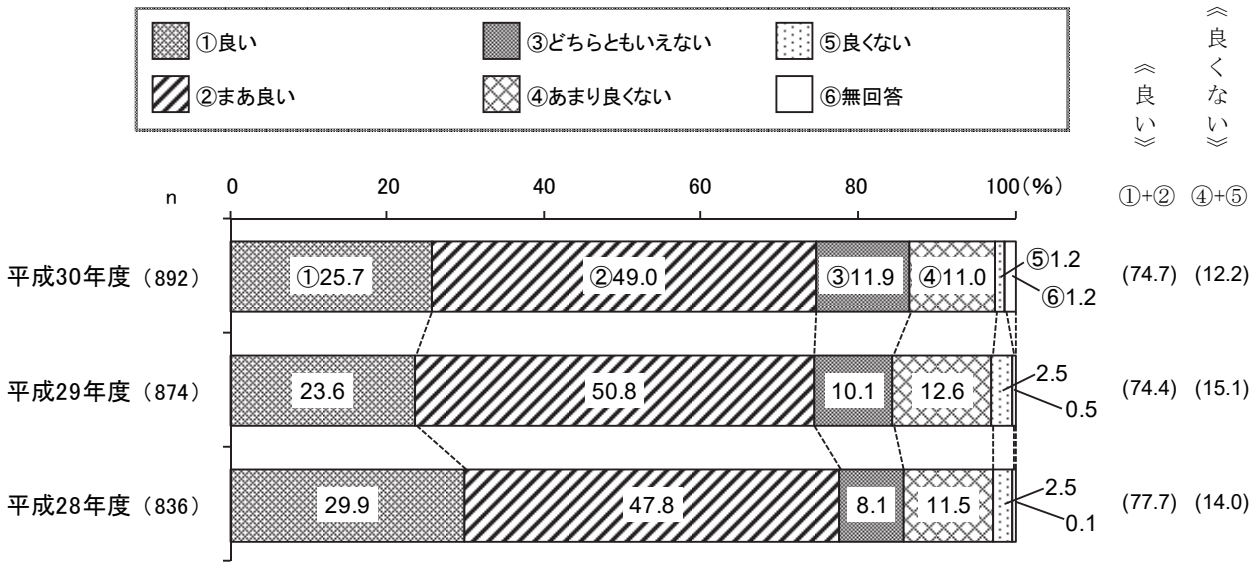
（１）現在の健康状態

◎《良い》が７割台半ば近く

問１　あなたは、現在の健康状態をどのように感じていますか。（○は１つ）

	(n=892)
1　良い	25.7%
2　まあ良い	49.0
3　どちらともいえない	11.9
4　あまり良くない	11.0
5　良くない	1.2
無回答	1.2

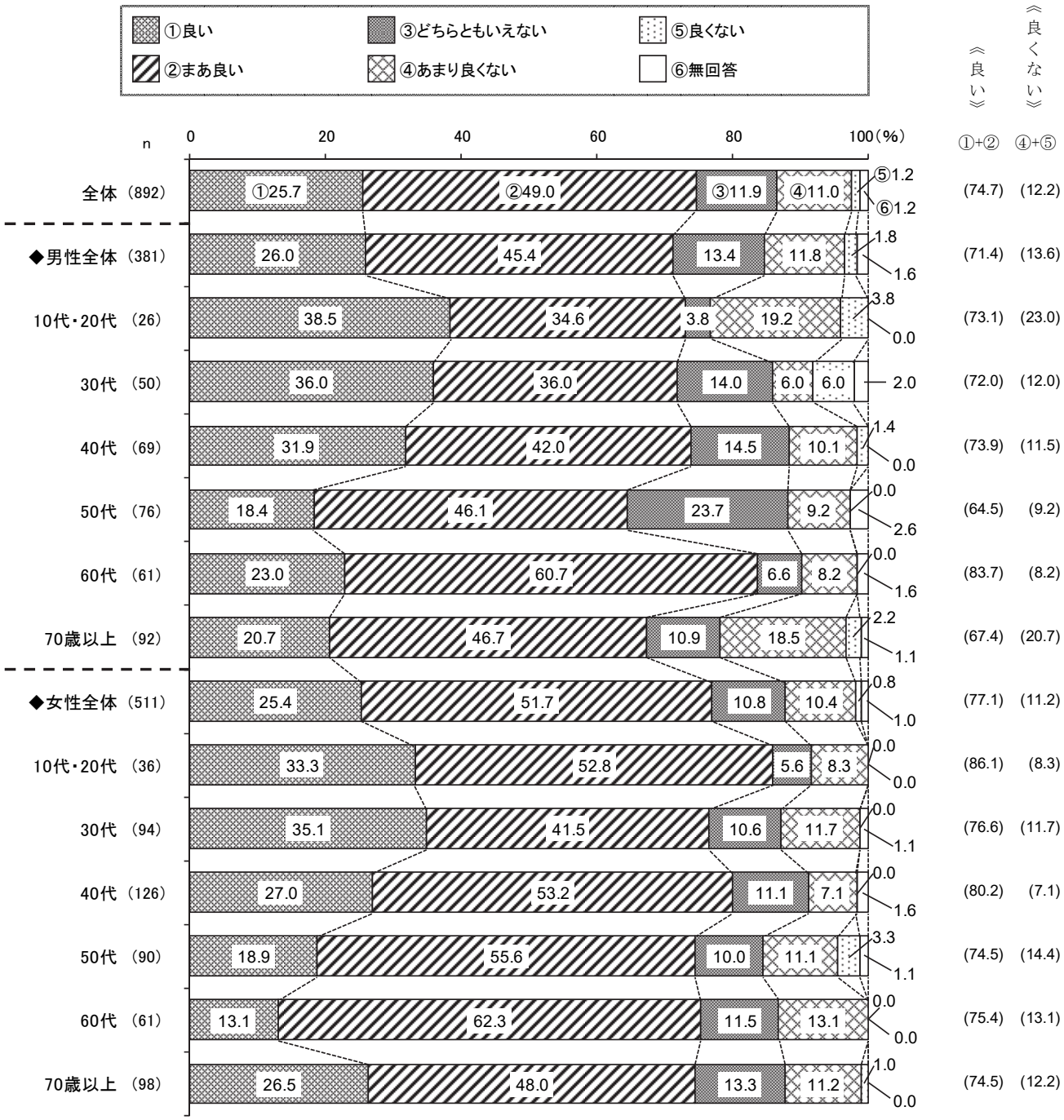
図１－１－１　現在の健康状態
（経年推移）



現在の健康状態について、「良い」(25.7%) と「まあ良い」(49.0%) を合わせた《良い》(74.7%) が７割台半ば近く、「あまり良くない」（11.0%）と「良くない」（1.2%）を合わせた《良くない》（12.2%）が１割強となっている。

過去３年間の経年推移をみると、割合に大きな変化はみられない。（**図１－１－１**）

図１－１－２　現在の健康状態
（性別・性／年代別）



性別でみると、男女の割合に大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《良い》は女性の 10 代・20 代（86.1%）が８割台半ばを超えて高くなっており、全体（74.7%）を 11.4 ポイント上回っている。（**図１－１－２**）

（２）飲酒頻度

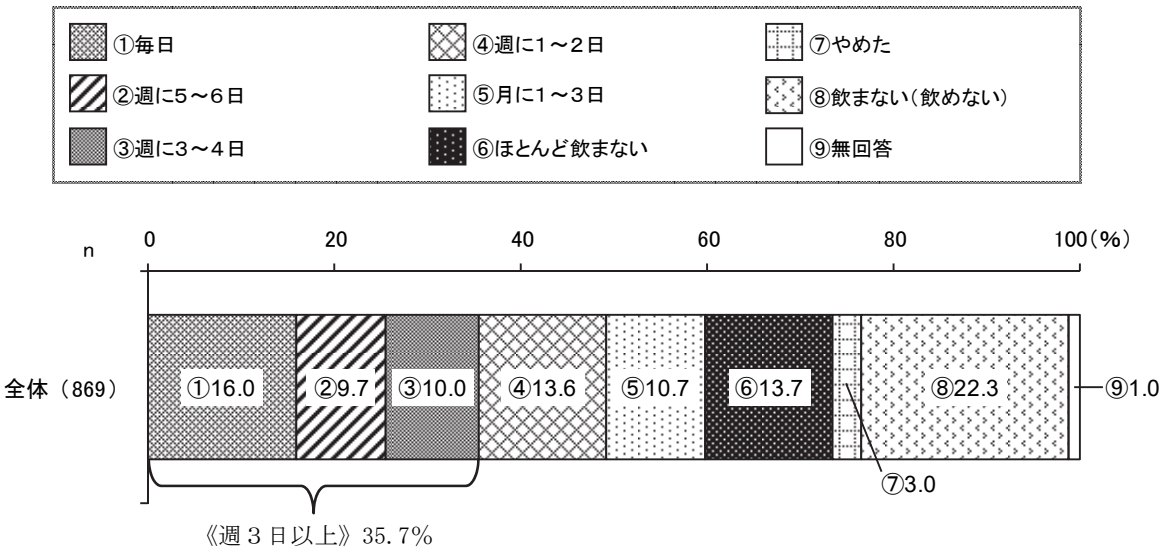
◎《週３日以上》が３割台半ば

【問ウで、「２　２０～２４歳」～「14　８０歳以上」に○をした方】のみで集計

問２　あなたは週に何日くらいお酒（清酒、焼酎、洋酒など）を飲みますか。（○は１つ）

		（n=869）
1	毎日	16.0%
2	週に５～６日	9.7
3	週に３～４日	10.0
4	週に１～２日	13.6
5	月に１～３日	10.7
6	ほとんど飲まない	13.7
7	やめた	3.0
8	飲まない（飲めない）	22.3
	無回答	1.0

図１－２　飲酒頻度



飲酒頻度について、「飲まない（飲めない）」（22.3%）が２割強となっている。「毎日」（16.0%）と「週に５～６日」（9.7%）と「週に３～４日」（10.0%）を合わせた《週３日以上》（35.7%）が３割台半ばとなっている。（**図１－２**）

（３）１日あたりの飲酒量

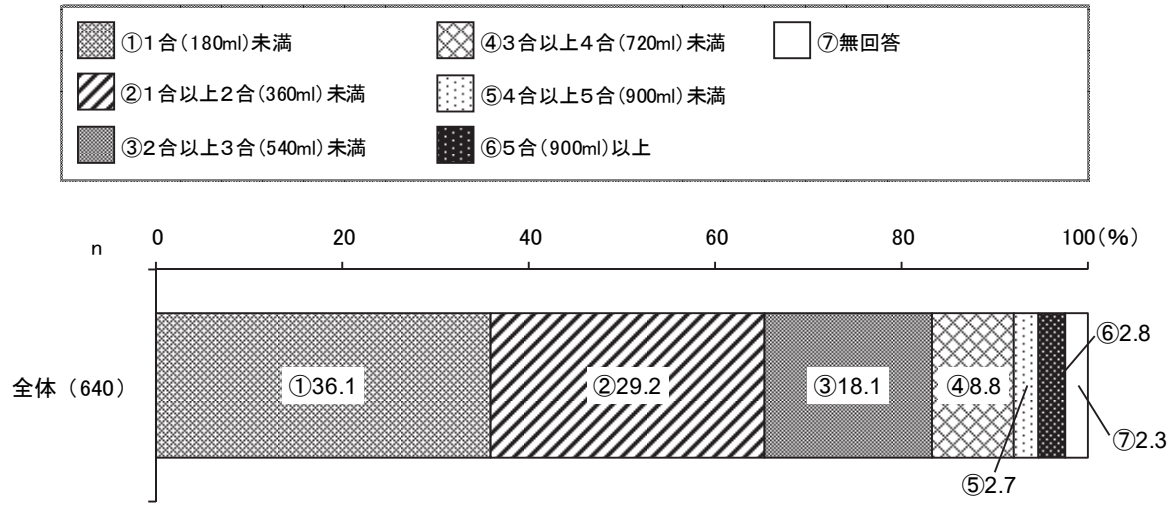
◎お酒を飲む量は１日「１合（180ml）未満」が３割台半ばを超え

【問ウで、「２　２０～２４歳」～「14　８０歳以上」に○をした方】のみで集計

問２－１　問２で、「１」～「６」に○をした方にお伺いします。
お酒を飲む日は１日あたり、どれくらいの量を飲みますか。（○は１つ）

		（n=640）
1	１合（180ml）未満	36.1%
2	１合以上２合（360ml）未満	29.2
3	２合以上３合（540ml）未満	18.1
4	３合以上４合（720ml）未満	8.8
5	４合以上５合（900ml）未満	2.7
6	５合（900ml）以上	2.8
	無回答	2.3

図１－３　１日あたりの飲酒量



１日あたりの飲酒量について、「１合（180ml）未満」（36.1%）が３割台半ばを超えて最も高く、次いで「１合以上２合（360ml）未満」（29.2%）が３割弱、「２合以上３合（540ml）未満」（18.1%）が２割近くとなっている。（**図１－３**）

（参考）生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者について

◎厚生労働省で毎年実施している「国民健康・栄養調査」では「生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者」とは、１日当たりの純アルコール摂取量が男性で４０ｇ以上、女性２０ｇ以上の者とされており、以下の方法で算出。

①男性：「毎日×２合以上」＋「週５～６日×２合以上」＋「週３～４日×３合以上」＋「週１～２日×５合以上」＋「月１～３日×５合以上」

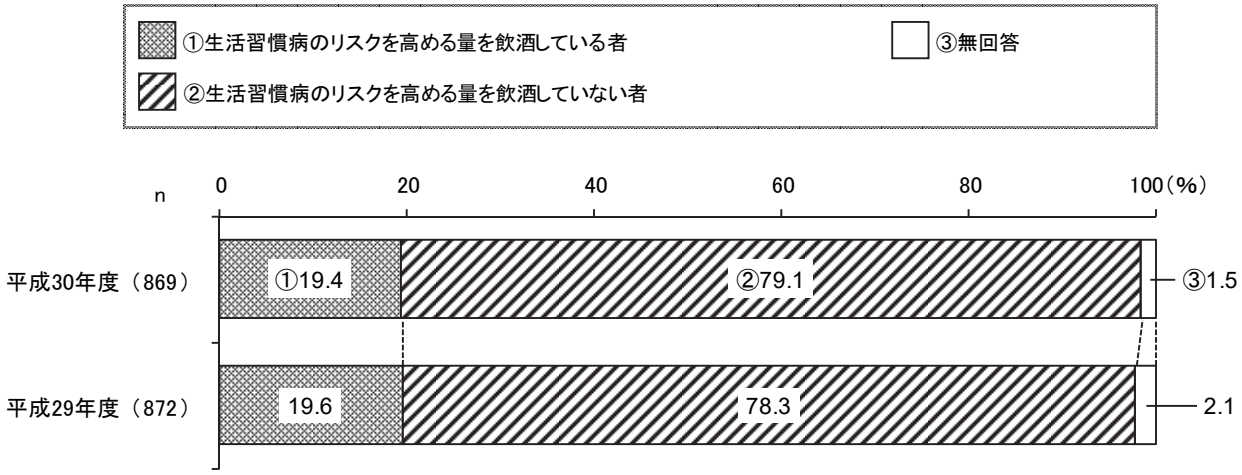
②女性：「毎日×１合以上」＋「週５～６日×１合以上」＋「週３～４日×１合以上」＋「週１～２日×３合以上」＋「月１～３日×５合以上」

【問ウで、「２　２０～２４歳」～「14　８０歳以上」に○をした方】のみで集計

（参考）生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者にあてはめた結果は次のようになりました。

	（n= 869）
1　生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者	19.4%
※問２と問２－１で上記の条件にあてはまる回答をした方	
2　生活習慣病のリスクを高める量を飲酒していない者	79.1
無回答	1.5

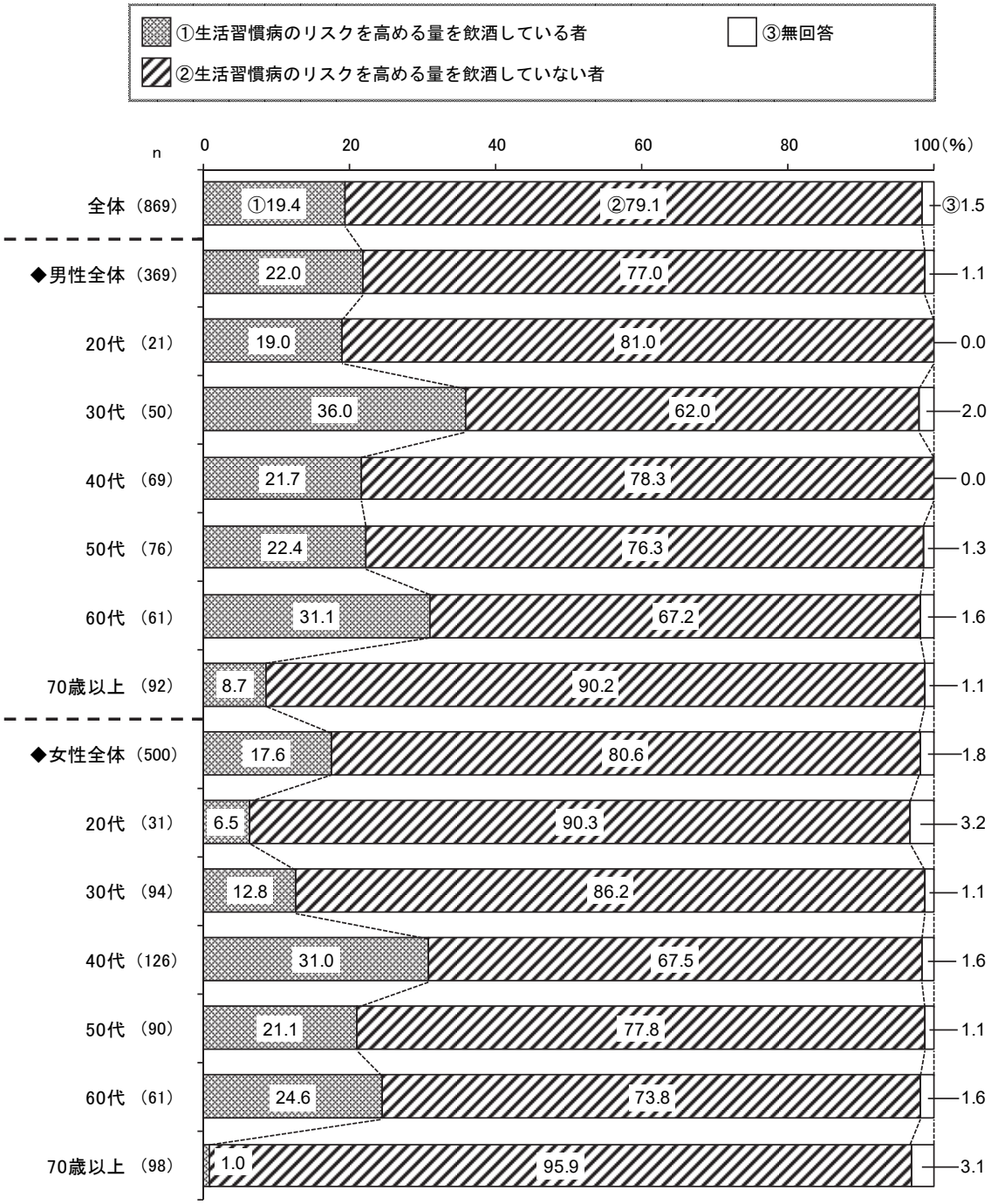
（参考）生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者について（経年推移）



生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者について、「生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者」（19.4%）が２割弱、「生活習慣病のリスクを高める量を飲酒していない者」（79.1%）が８割弱となっている。

前回の調査結果（平成 29 年度区政モニターアンケート調査）と比較すると、割合に大きな変化はみられない。

（参考）生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者について
（性別・性／年代別）



性別でみると、「生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者」は男性（22.0%）が２割強と、女性（17.6%）を 4.4 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者」は男性の 30 代（36.0%）が３割台半ばを超えて最も高く、女性の 70 歳以上（1.0%）が１割未満で最も低くなっている。

（４）喫煙状況

◎たばこを「吸わない」が８割弱

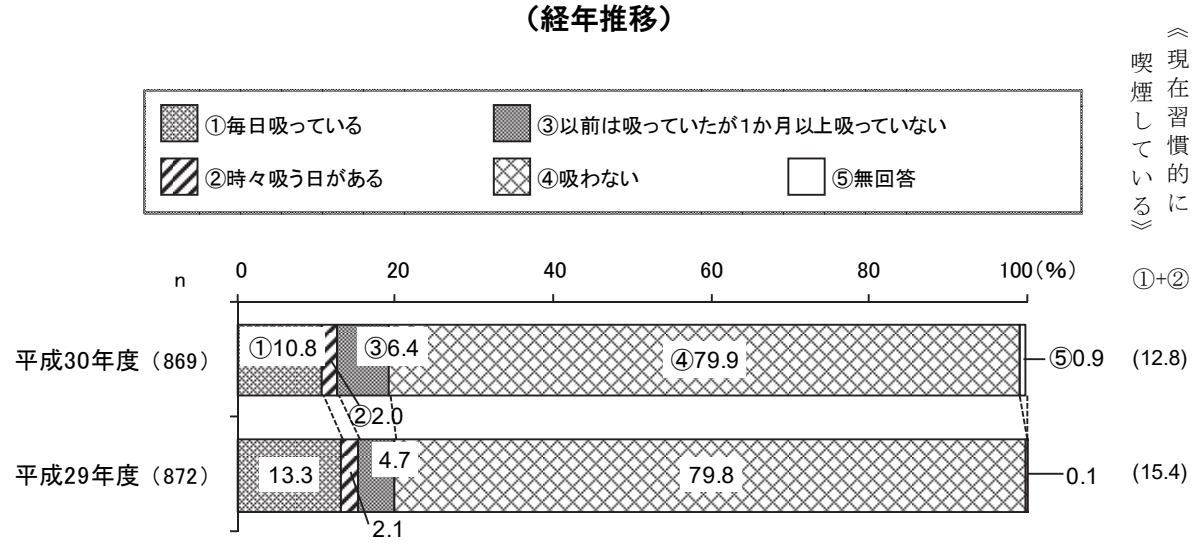
【問ウで、「２　２０～２４歳」～「14　８０歳以上」に○をした方】のみで集計

問３　あなたは、たばこを吸いますか。（○は１つ）

	（n=869）
1　毎日吸っている	10.8%
2　時々吸う日がある	2.0
3　以前は吸っていたが１か月以上吸っていない	6.4
4　吸わない	79.9
無回答	0.9

図１－４－１　喫煙状況

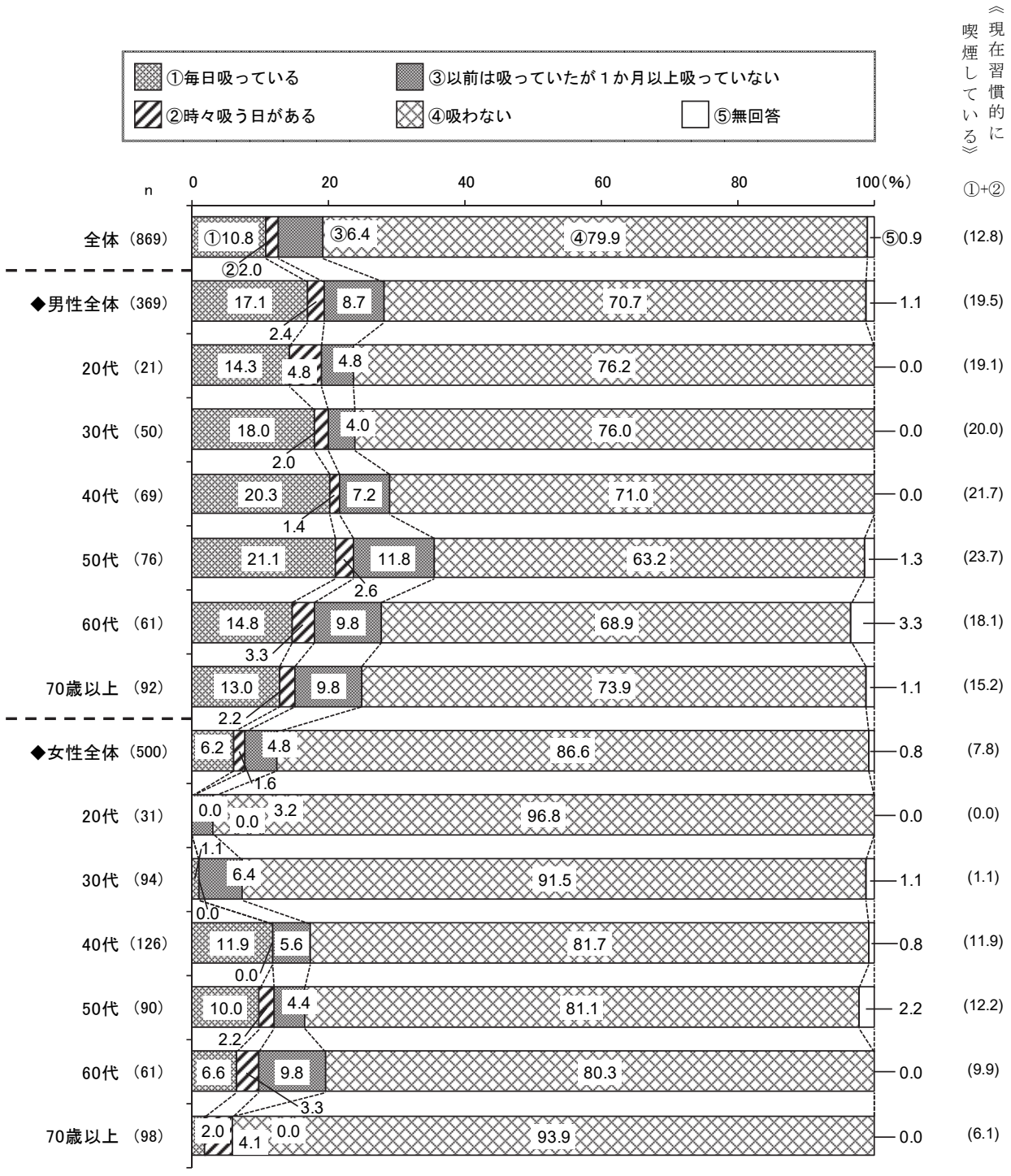
（経年推移）



喫煙状況について、「吸わない」（79.9%）が８割弱となっている。

前回の調査結果（平成 29 年度区政モニターアンケート調査）と比較すると、「毎日吸っている」（10.8%）と「時々吸う日がある」（2.0%）を合わせた《現在習慣的に喫煙している》（12.8%）が前回（15.4%）より 2.6 ポイント低くなっている。（**図１－４－１**）

図１－４－２　喫煙状況
（性別・性／年代別）



性別でみると、「吸わない」は女性（86.6%）が８割台半ばを超えて、男性（70.7%）を 15.9 ポイント上回っている。

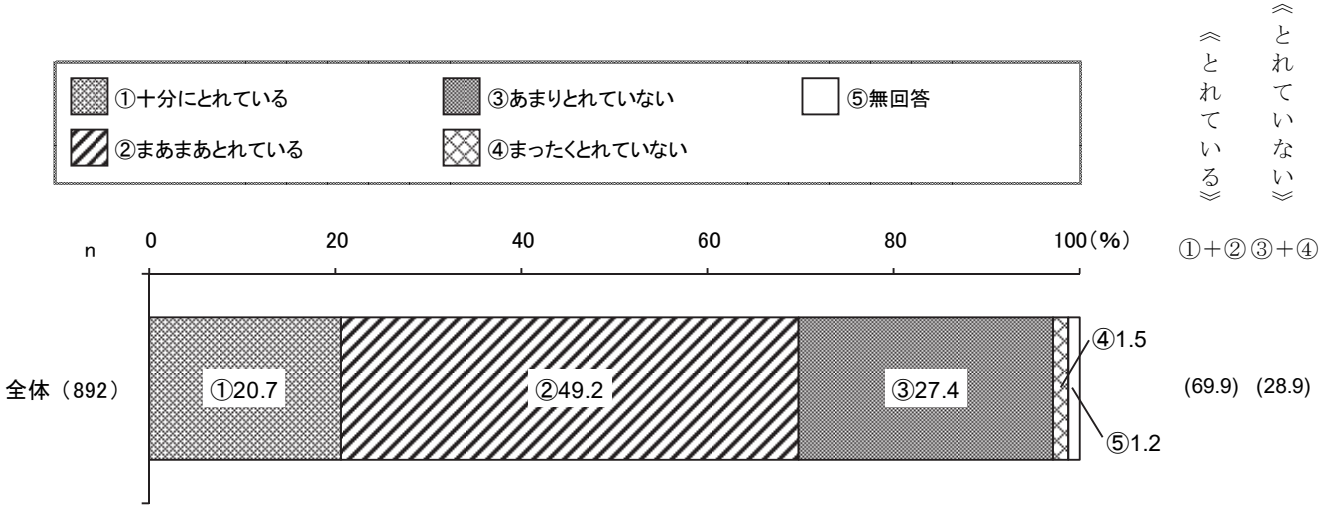
性／年代別でみると、《現在習慣的に喫煙している》は男性の 50 代（23.7%）が２割台半ば近くで最も高くなっている。（**図１－４－２**）

（５）睡眠での十分な休養

◎《とれている》が７割弱

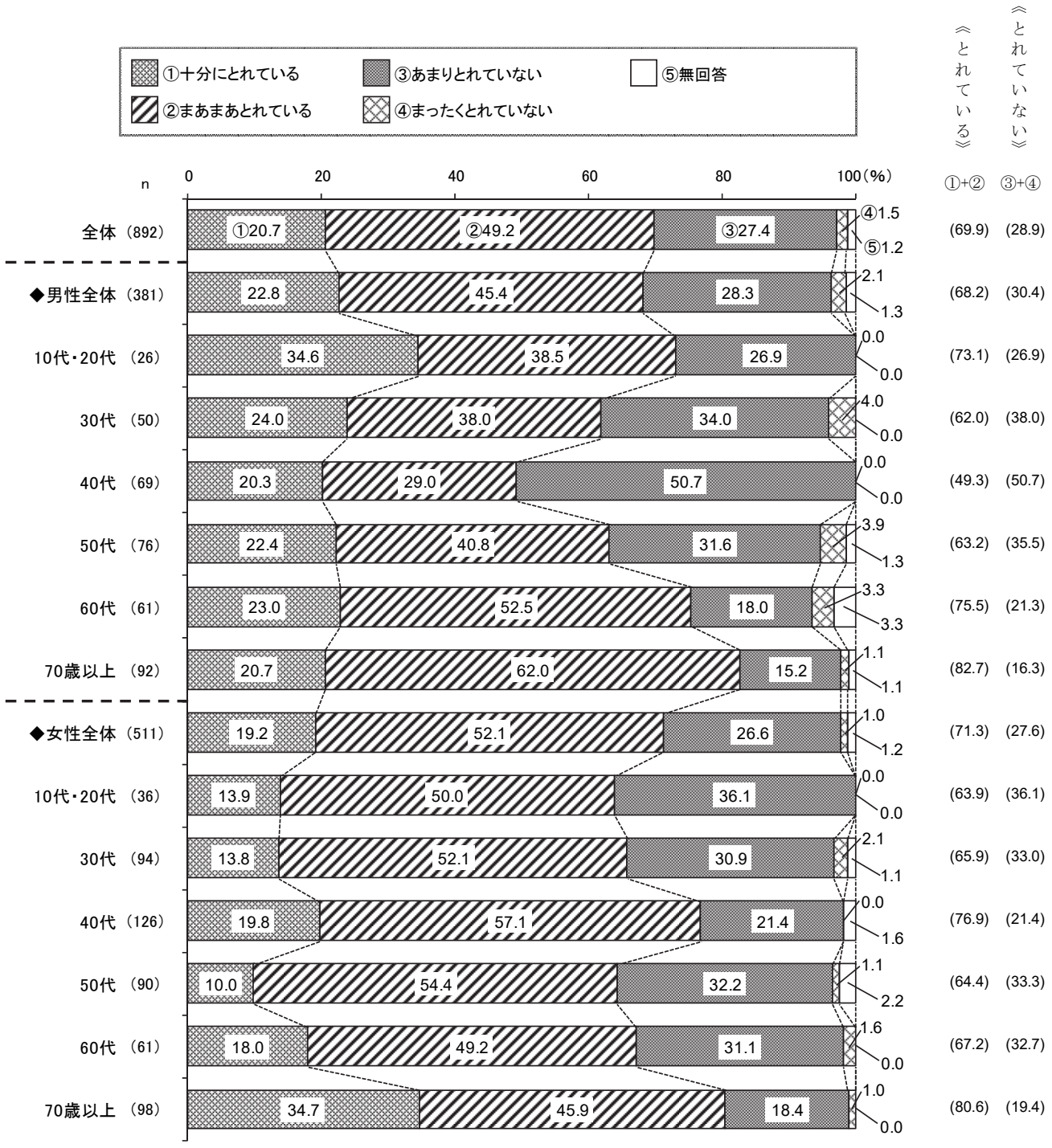
問４　この１か月、あなたは睡眠で休養が十分とれていますか。（○は１つ）	
	（n=892）
1　十分にとれている	20.7%
2　まあまあとれている	49.2
3　あまりとれていない	27.4
4　まったくとれていない	1.5
無回答	1.2

図１－５－１　睡眠での十分な休養



睡眠での十分な休養について、「十分にとれている」(20.7%)と「まあまあとれている」(49.2%)を合わせた《とれている》(69.9%)が７割弱、「あまりとれていない」(27.4%)と「まったくとれていない」(1.5%)を合わせた《とれていない》(28.9%)が３割近くとなっている。
（図１－５－１）

図１－５－２　睡眠での十分な休養
（性別・性／年代別）



性別でみると《とれている》は女性（71.3%）が７割強と、男性（68.2%）を 3.1 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「十分にとれている」は女性の 70 歳以上（34.7%）および男性の 10 代・20 代（34.6%）がともに３割台半ば近くと高くなっている。（**図１－５－２**）

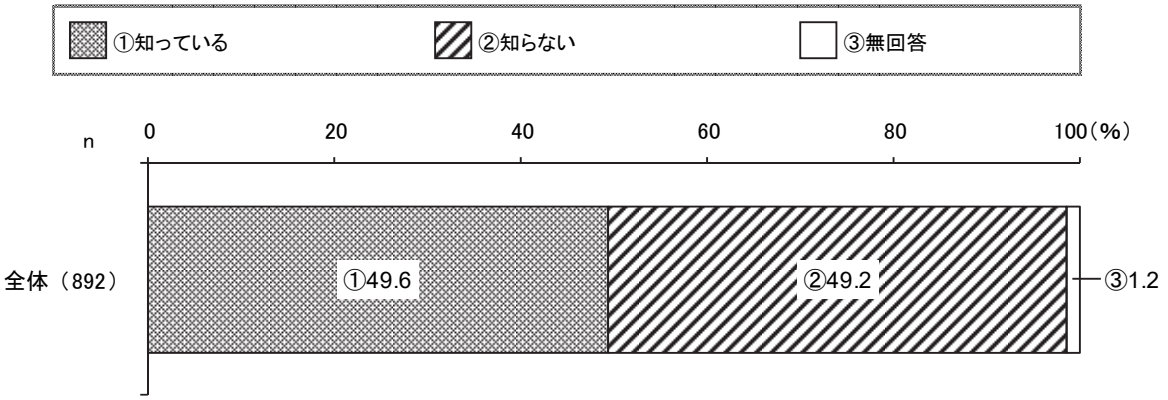
（６）こころの問題を気軽に相談できる場所・窓口について

◎「知っている」および「知らない」がともに５割弱

問５　あなたは、こころの問題（ストレスや病気など）について気軽に相談できる場所・窓口を知っていますか。（○は１つ）

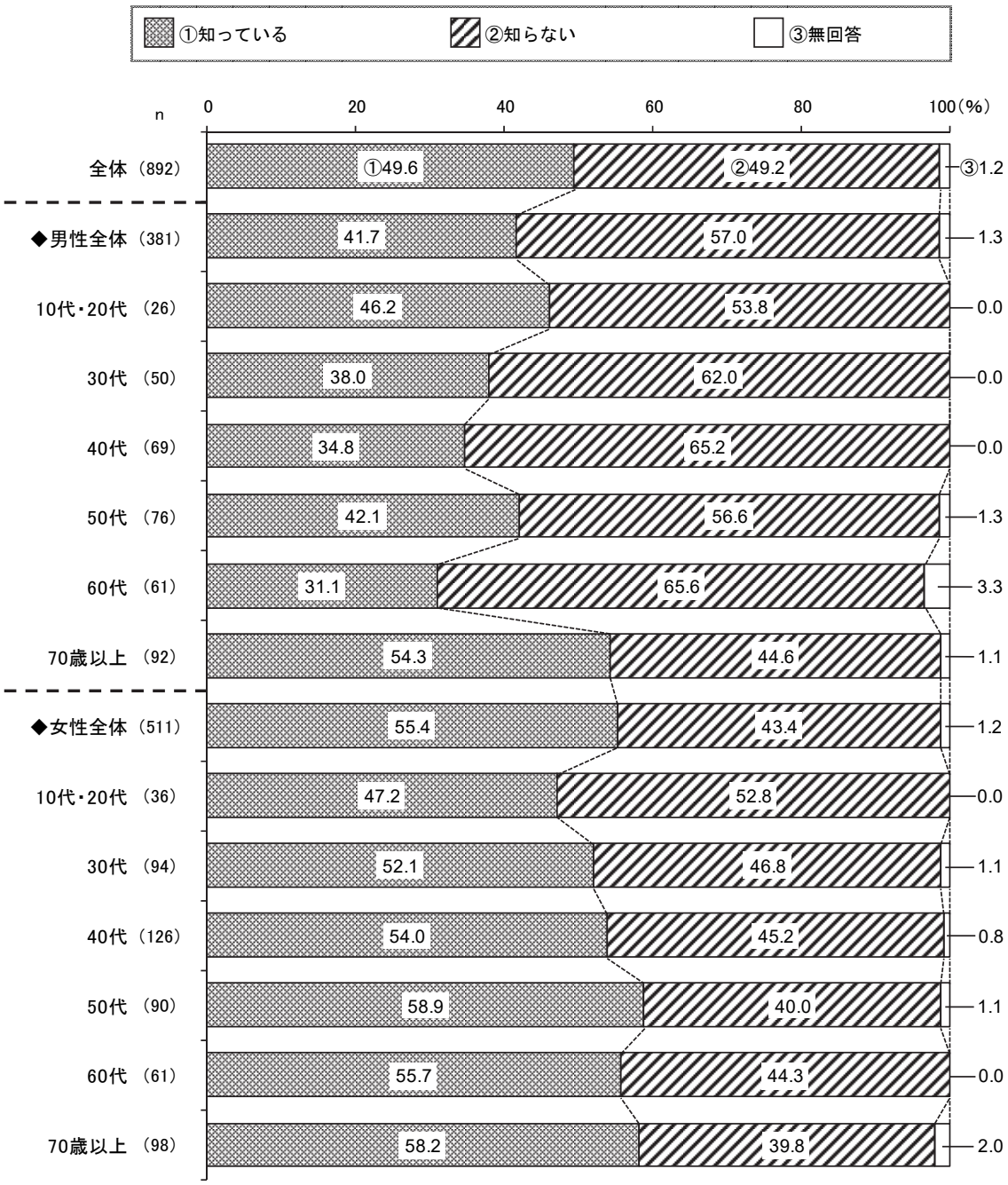
	（n=892）
1　知っている	49.6%
2　知らない	49.2
無回答	1.2

図１－６－１　こころの問題を気軽に相談できる場所・窓口について



こころの問題を気軽に相談できる場所・窓口について、「知っている」（49.6%）および「知らない」（49.2%）がともに５割弱となっている。（**図１－６－１**）

図１－６－２　こころの問題を気軽に相談できる場所・窓口について
（性別・性／年代別）



性別でみると、「知っている」は女性（55.4%）が５割台半ばと、男性（41.7%）を 13.7 ポイント上回っている。

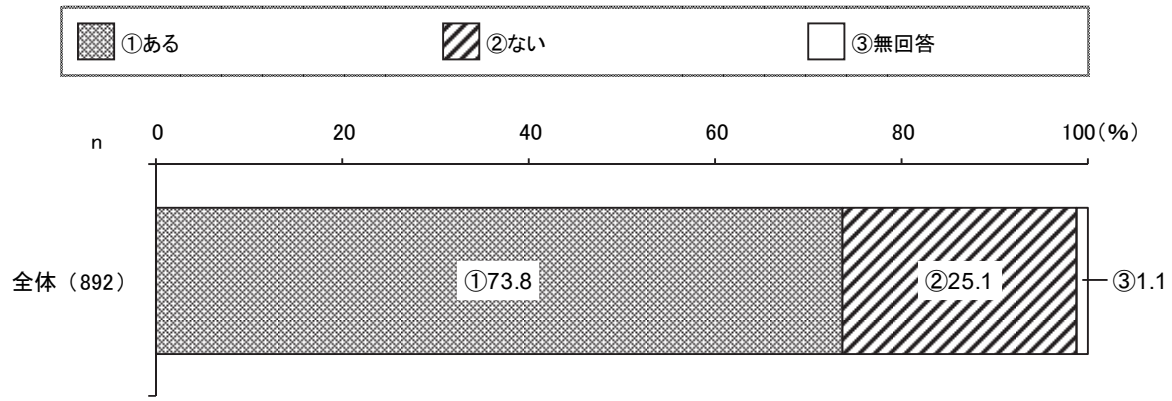
性／年代別でみると、「知らない」は男性の 60 代（65.6%）が６割台半ばと高くなっており、全体（49.2%）を 16.4 ポイント上回っている。（**図１－６－２**）

（７）かかりつけ歯科医の有無

◎「ある」が７割台半ば近く

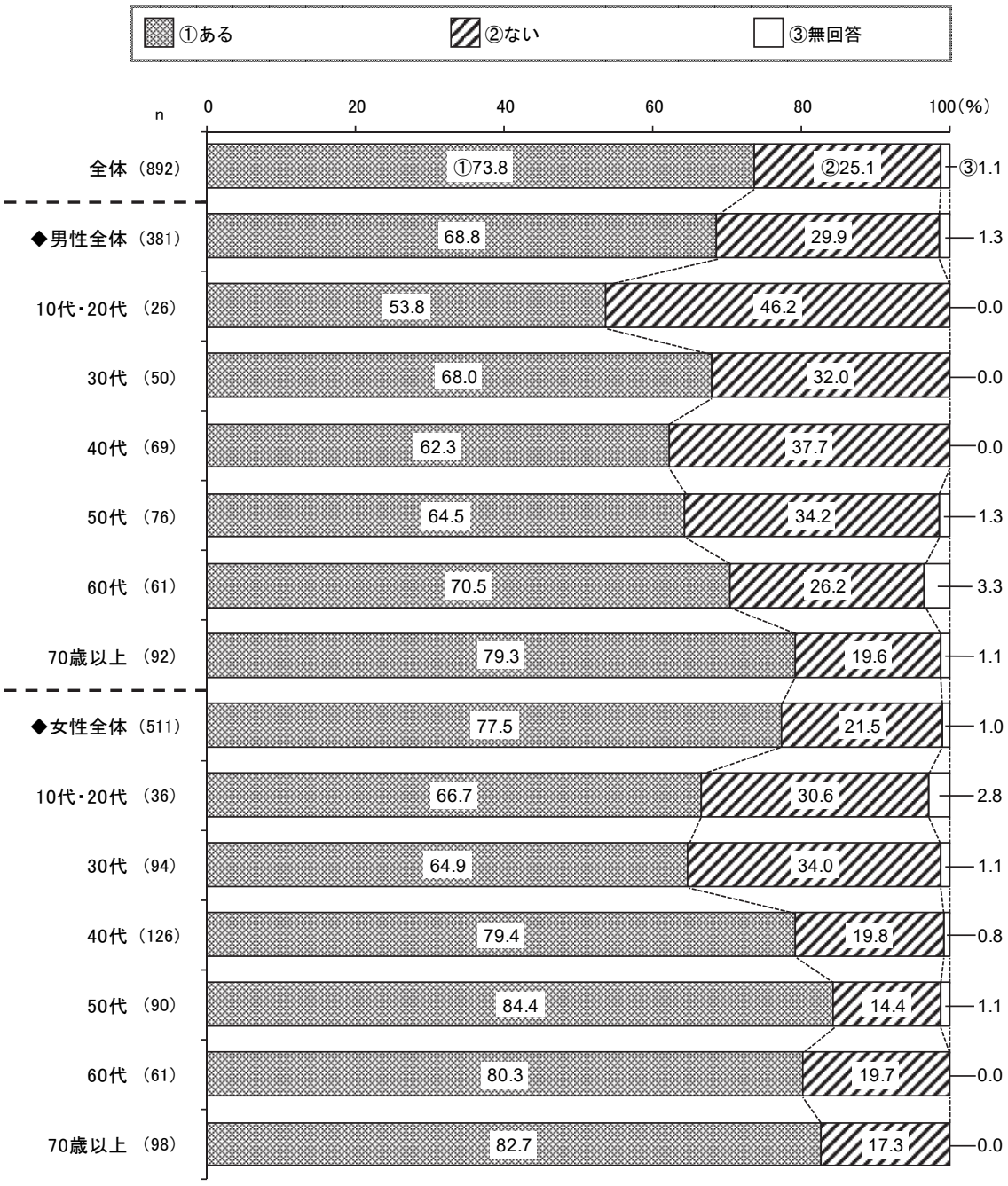
問６　あなたには、かかりつけ歯科医がありますか。（○は１つ）	
	（n=892）
1　ある	73.8%
2　ない	25.1
無回答	1.1

図１－７－１　かかりつけ歯科医の有無



かかりつけ歯科医の有無について、「ある」（73.8%）が７割台半ば近くとなっている。（図１－７－１）

図１－７－２　かかりつけ歯科医の有無
（性別・性／年代別）



性別でみると、「ある」は女性（77.5%）が７割台半ばを超えて、男性（68.8%）を 8.7 ポイント上回っている。

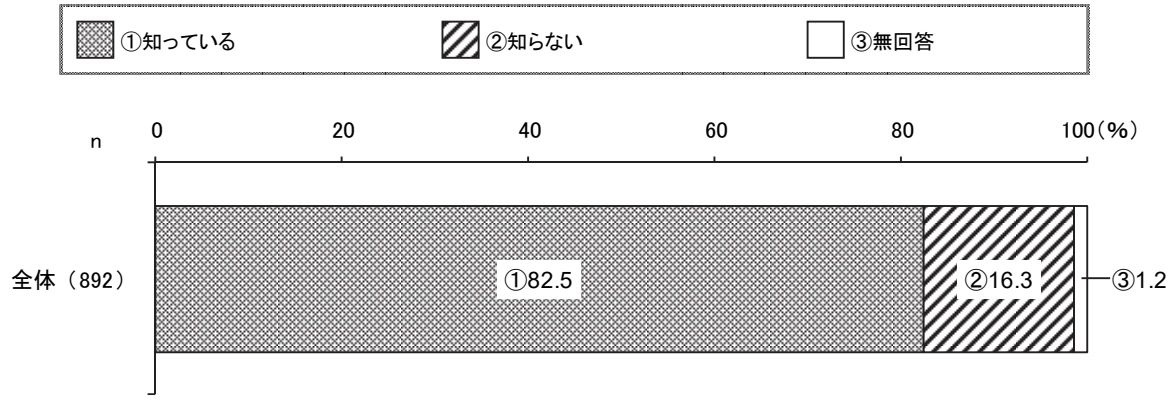
性／年代別でみると、「ない」は男性の 10 代・20 代（46.2%）が４割台半ばを超えて高くなっており、全体（25.1%）を 21.1 ポイント上回っている。（**図１－７－２**）

（８）５つの生活習慣に気をつけるとがんになるリスクが大幅に低下すること

◎「知っている」が８割強

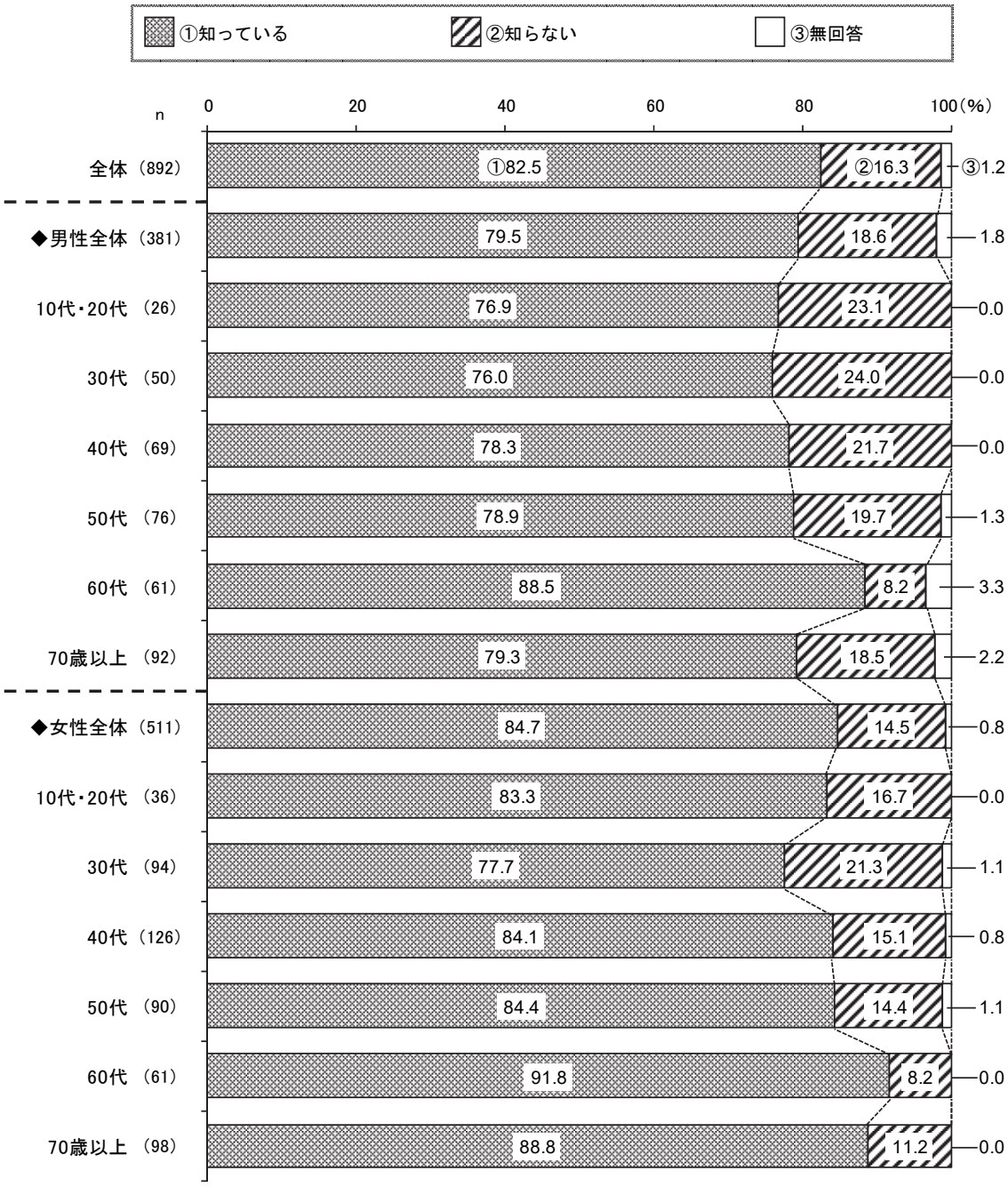
問７　あなたは、「禁煙」「節酒」「食生活」「身体活動」「適正体重の維持」の５つの生活習慣に気をつけて生活するとがんになるリスクが大幅に低下することを知っていますか。（○は１つ）	
	（n=892）
1　知っている	82.5%
2　知らない	16.3
無回答	1.2

図１－８－１　５つの生活習慣に気をつけるとがんになるリスクが大幅に低下すること



５つの生活習慣に気をつけるとがんになるリスクが大幅に低下することについて、「知っている」(82.5%）が８割強となっている。（**図１－８－１**）

図１－８－２　５つの生活習慣に気をつけるとがんになるリスクが大幅に低下すること（性別・性／年代別）



性別でみると、「知っている」は女性（84.7%）が８割台半ば近くと、男性（79.5%）を 5.2 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「知っている」は、女性の 60 代（91.8%）が９割強と高くなっており、全体（82.5%）を 9.3 ポイント上回っている。（**図１－８－２**）

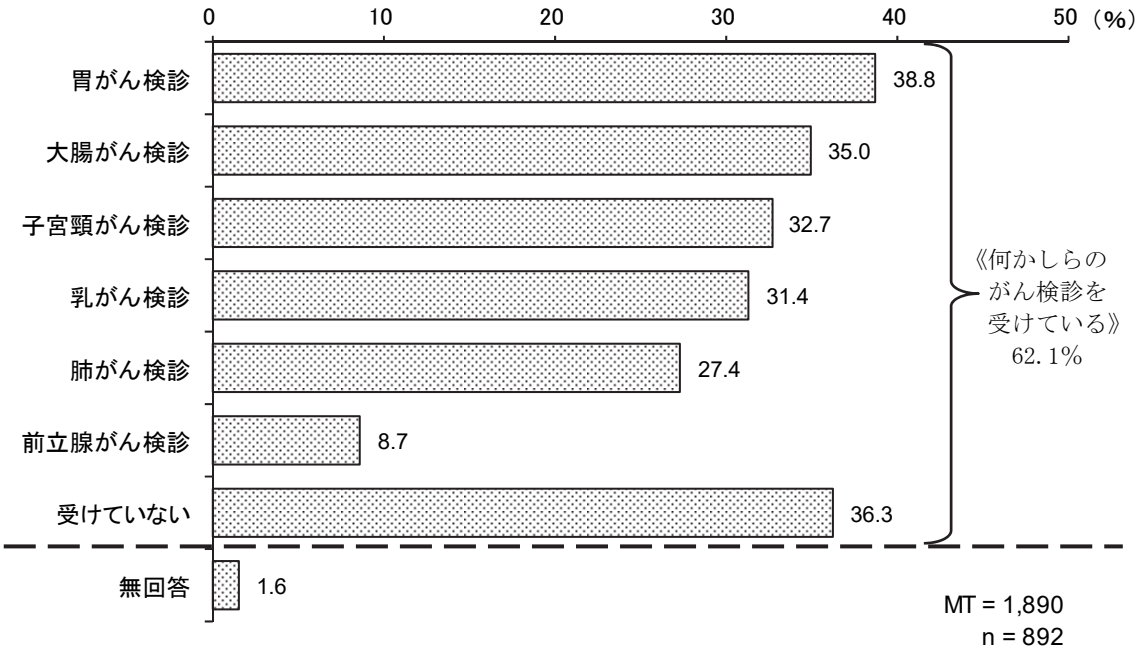
（９）がん検診の受診状況

◎《何かしらのがん検診を受けている》は６割強

問８　あなたは、次のがん検診を受けていますか。受けている検診すべてに○をつけてください。（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

	（n=892）
1　胃がん検診	38.8%
2　大腸がん検診	35.0
3　肺がん検診	27.4
4　子宮頸がん検診　※女性のみ	32.7
5　乳がん検診　※女性のみ	31.4
6　前立腺がん検診　※男性のみ	8.7
7　受けていない	36.3
無回答	1.6

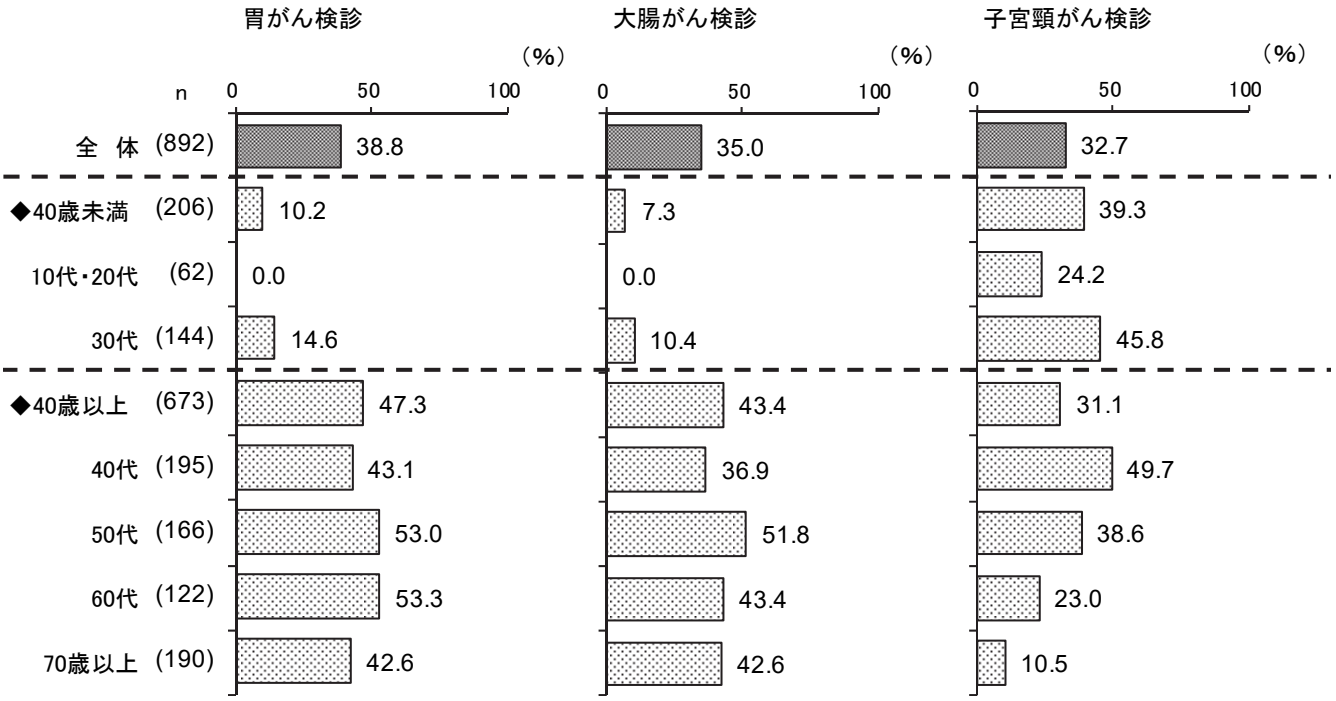
図１－９－１　がん検診の受診状況



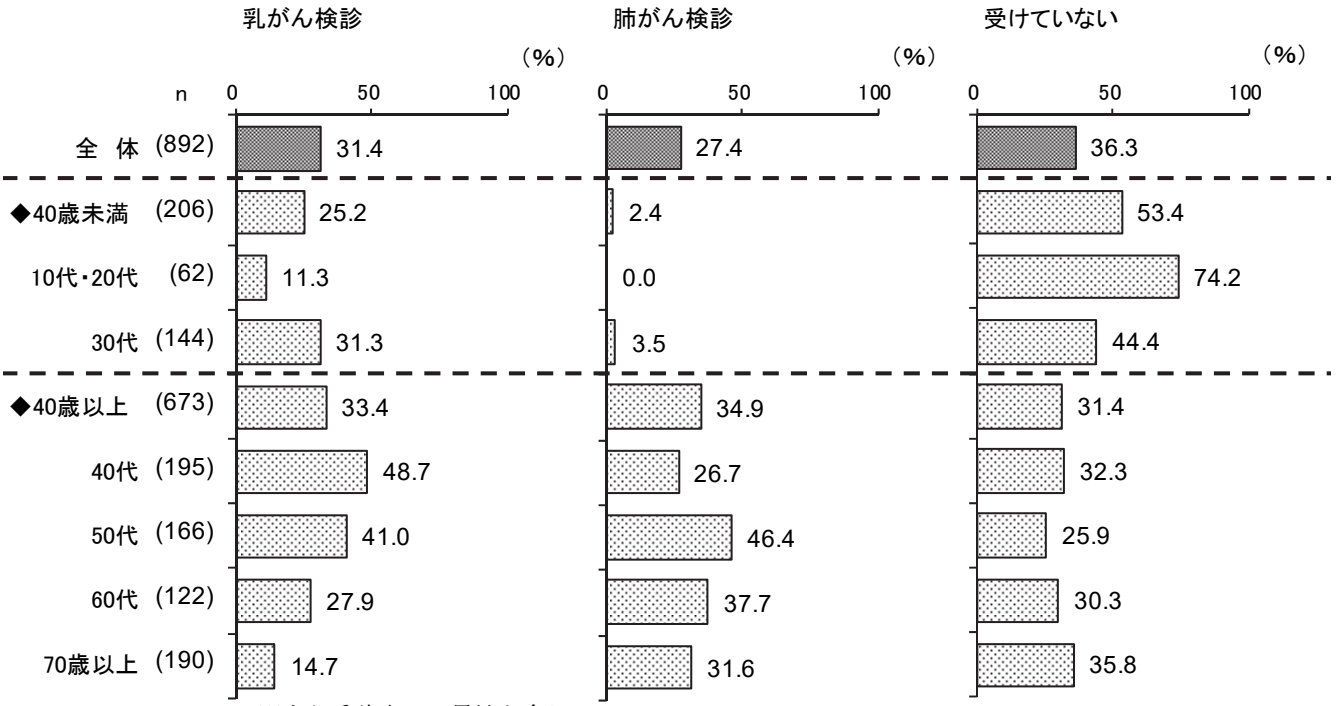
がん検診の受診状況について、「胃がん検診」（38.8%）が４割近くで最も高く、次いで「大腸がん検診」（35.0%）が３割台半ば、「子宮頸がん検診」（32.7%）と「乳がん検診」（31.4%）がともに３割強と続いている。

全体から「受けていない」（36.3%）と「無回答」（1.6%）を除いた《何かしらのがん検診を受けている》（62.1%）は６割強となっている。（**図１－９－１**）

図１－９－２　がん検診の受診状況
（年代別）
上位５項目＋「受けていない」



※上記受診率は、男性を含む回答数全体における割合。
20 歳以上（女性）における受診率は 57.8%



※上記受診率は、男性を含む回答数全体における割合。
40 歳以上（女性）における受診率は 60.0%

年代別でみると、「肺がん検診」は 50 代（46.4%）が４割台半ばを超えて、全体（27.4%）を 19.0 ポイント上回っている。一方、「受けていない」は 10 代・20 代（74.2%）が７割台半ば近くと、全体（36.3%）を 37.9 ポイント上回っている。

なお、厚生労働省の定める「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」（厚生労働省健康局長通知）における、がん検診対象者※についてみると、40 歳以上が対象のがんでは、胃がん検診（47.3%）が４割台半ばを超え、大腸がん検診（43.4%）が４割台半ば近く、肺がん検診（34.9%）が３割台半ば近くとなっている。

また、女性のがんについては、40 歳以上が対象の乳がん検診（60.0%）が６割、20 歳以上が対象の子宮頸がん検診（57.8%）が５割台半ばを超えている。（**図１－９－２**）

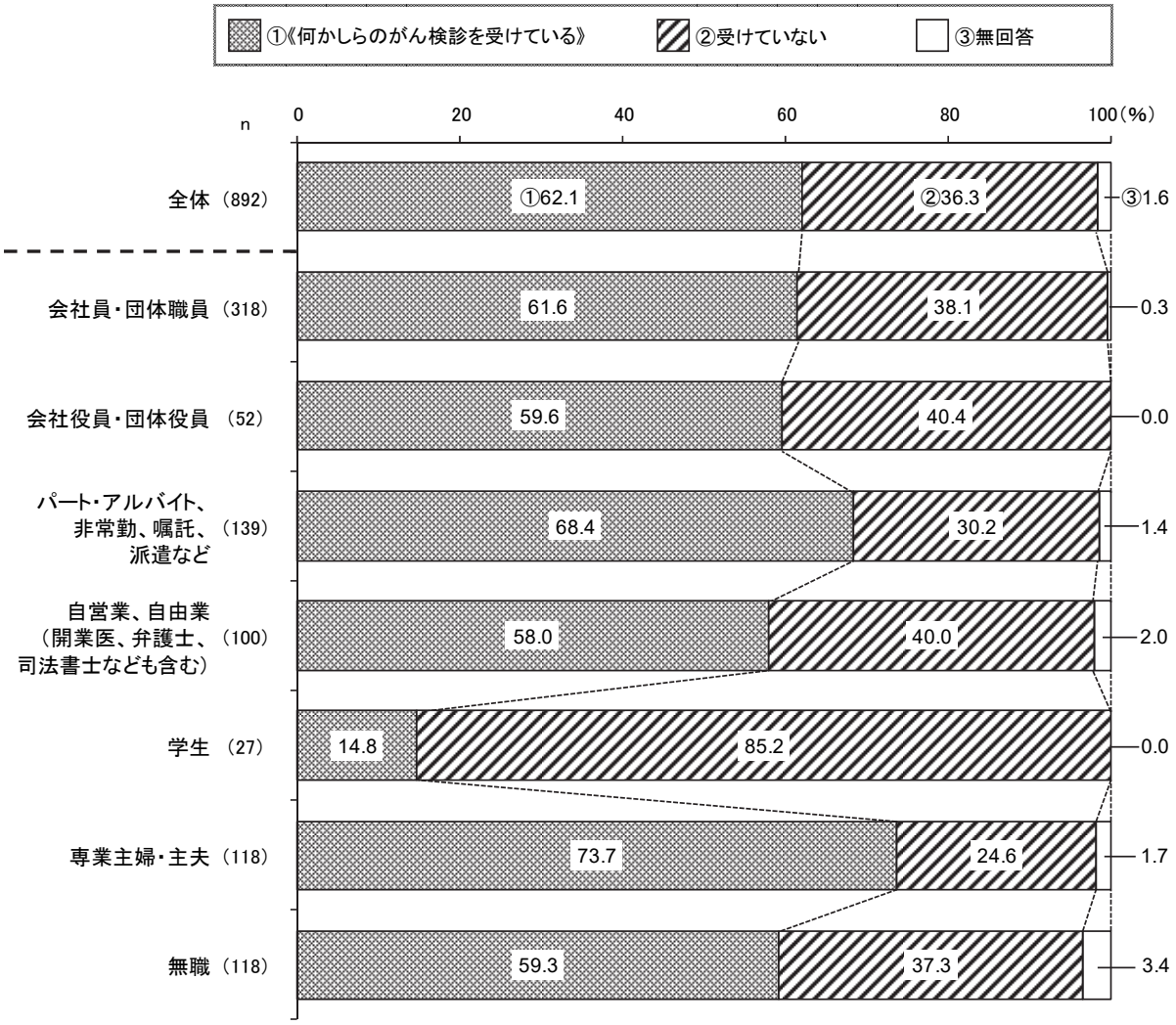
※厚生労働省が定めるがん検診対象者

胃がん検診、肺がん検診及び大腸がん検診：40 歳以上の者

乳がん検診：40 歳以上の女性

子宮頸がん検診：20 歳以上の女性

図１－９－３　がん検診の受診状況
受診の有無
（職業別）



がん検診の受診の有無（《何かしらのがん検診を受けている》か否か）を職業別にみると、《受けている》では、専業主婦・主夫（73.7%）が７割台半ば近くと高くなっており、全体（62.1%）を 11.6 ポイント上回っている。（**図１－９－３**）

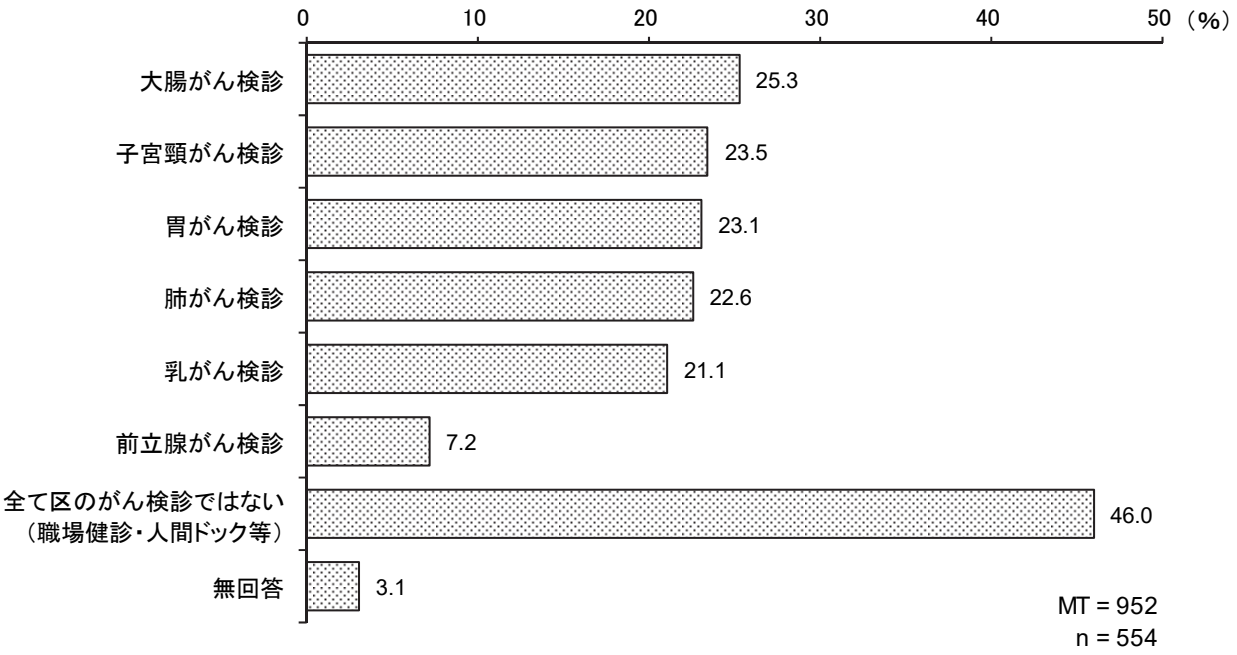
（10）区が実施するがん検診の受診状況

◎「大腸がん検診」が２割台半ば

問８－１　問８で、「１」～「６」に○をした方にお伺いします。
問８のうち、新宿区のがん検診を受診されたのは、次のうちどの検診ですか。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

	（n=554）
1　胃がん検診	23.1%
2　大腸がん検診	25.3
3　肺がん検診	22.6
4　子宮頸がん検診　※女性のみ	23.5
5　乳がん検診　※女性のみ	21.1
6　前立腺がん検診　※男性のみ	7.2
7　全て区のがん検診ではない（職場健診・人間ドック等）	46.0
無回答	3.1

図１－10　区が実施するがん検診の受診状況



問８で《何かしらのがん検診を受けている》とする回答者における、区が実施するがん検診の受診状況について、「大腸がん検診」（25.3%）が２割台半ばで最も高く、次いで「子宮頸がん検診」（23.5%）及び「胃がん検診」（23.1%）がともに２割台半ば近くと続いている。

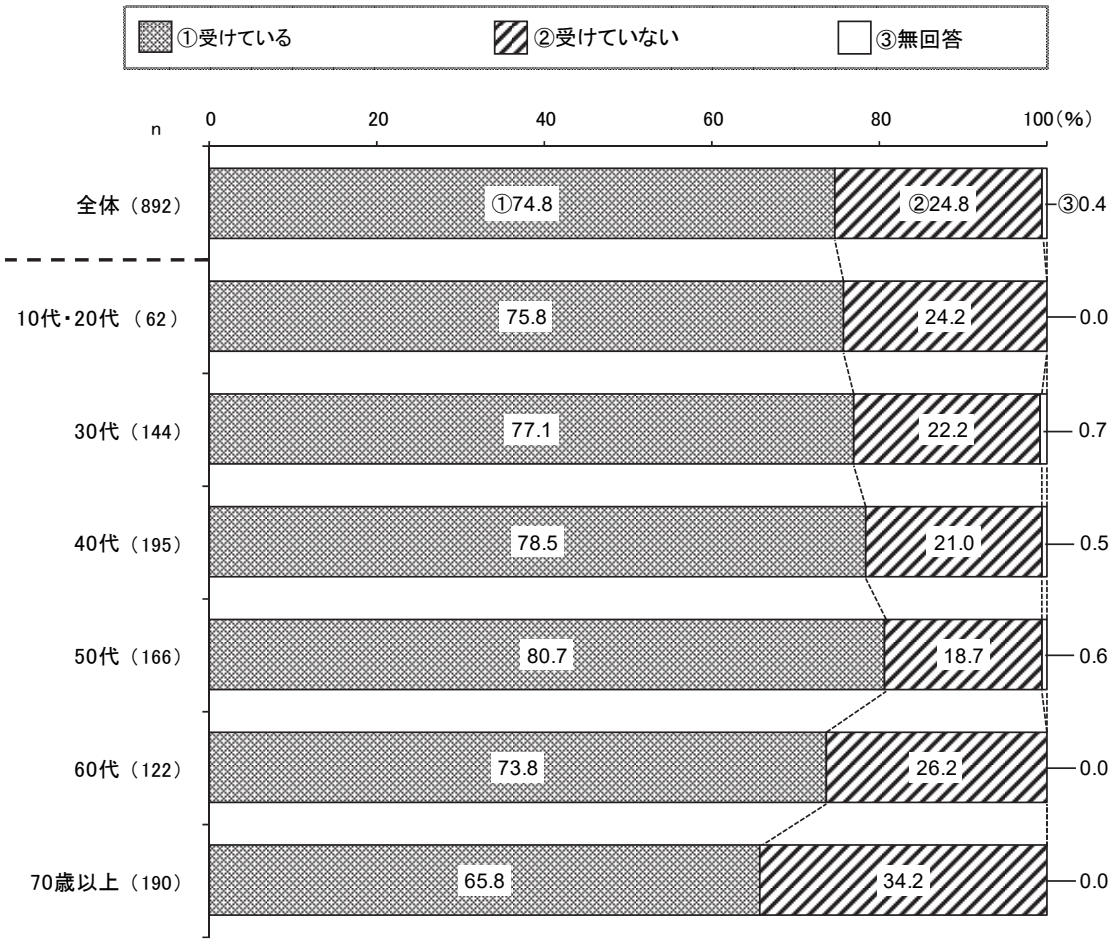
一方、「全て区のがん検診ではない（職場健診・人間ドック等）」（46.0%）が４割台半ばを超えている。（**図１－10**）

（11）健康診査の受診状況

◎「受けている」が７割台半ば近く

問９　あなたは、毎年、一般の健康診査を受けていますか。（○は１つ）	
	（n=892）
1　受けている	74.8%
2　受けていない	24.8
無回答	0.4

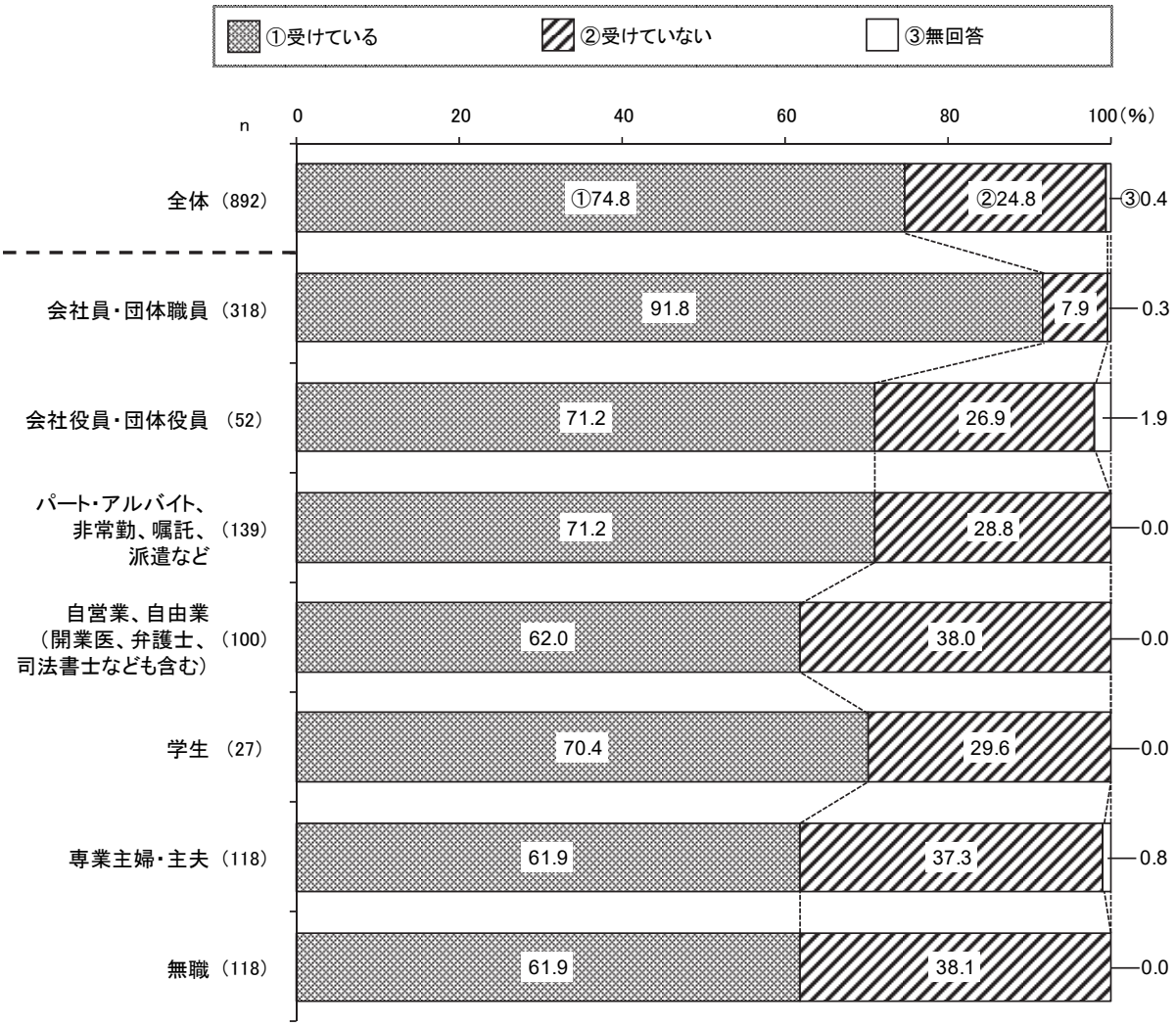
図１－11－１　健康診査の受診状況
（年代別）



健康診査の受診状況について、「受けている」（74.8%）が７割台半ば近く、「受けていない」（24.8%）が２割台半ば近くとなっている。

年代別でみると、「受けていない」は 70 歳以上（34.2%）が３割台半ば近くと、全体（24.8%）を 9.4 ポイント上回っている。（**図１－11－１**）

図１－11－２　健康診査の受診状況
（職業別）



職業別でみると、「受けている」では、会社員・団体職員（91.8%）が９割強と高くなっており、全体（74.8%）を 17.0 ポイント上回っている。（**図１－11－２**）

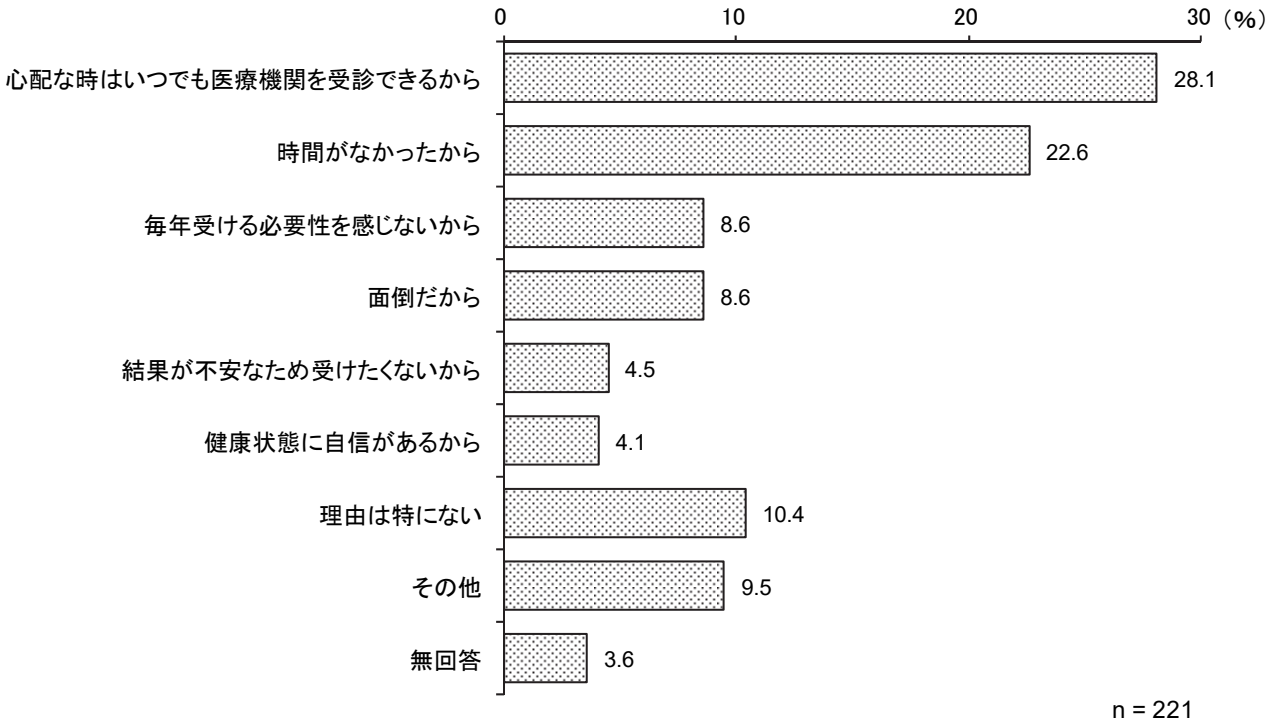
（12）健康診査を受けていない理由

◎「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」が３割近く

問９－１　問９で、「２」に○をした方にお伺いします。
受けていない理由でもっともあてはまるものは何ですか。（○は１つ）

		（n=221）
1	時間がなかったから	22.6%
2	毎年受ける必要性を感じないから	8.6
3	健康状態に自信があるから	4.1
4	心配な時はいつでも医療機関を受診できるから	28.1
5	結果が不安なため受けたくないから	4.5
6	面倒だから	8.6
7	理由は特にない	10.4
8	その他	9.5
	無回答	3.6

図１－12　健康診査を受けていない理由



健康診査を受けていない理由としては、「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」（28.1%）が３割近くで最も高く、次いで「時間がなかったから」（22.6%）が２割強となっている。（図１－12）

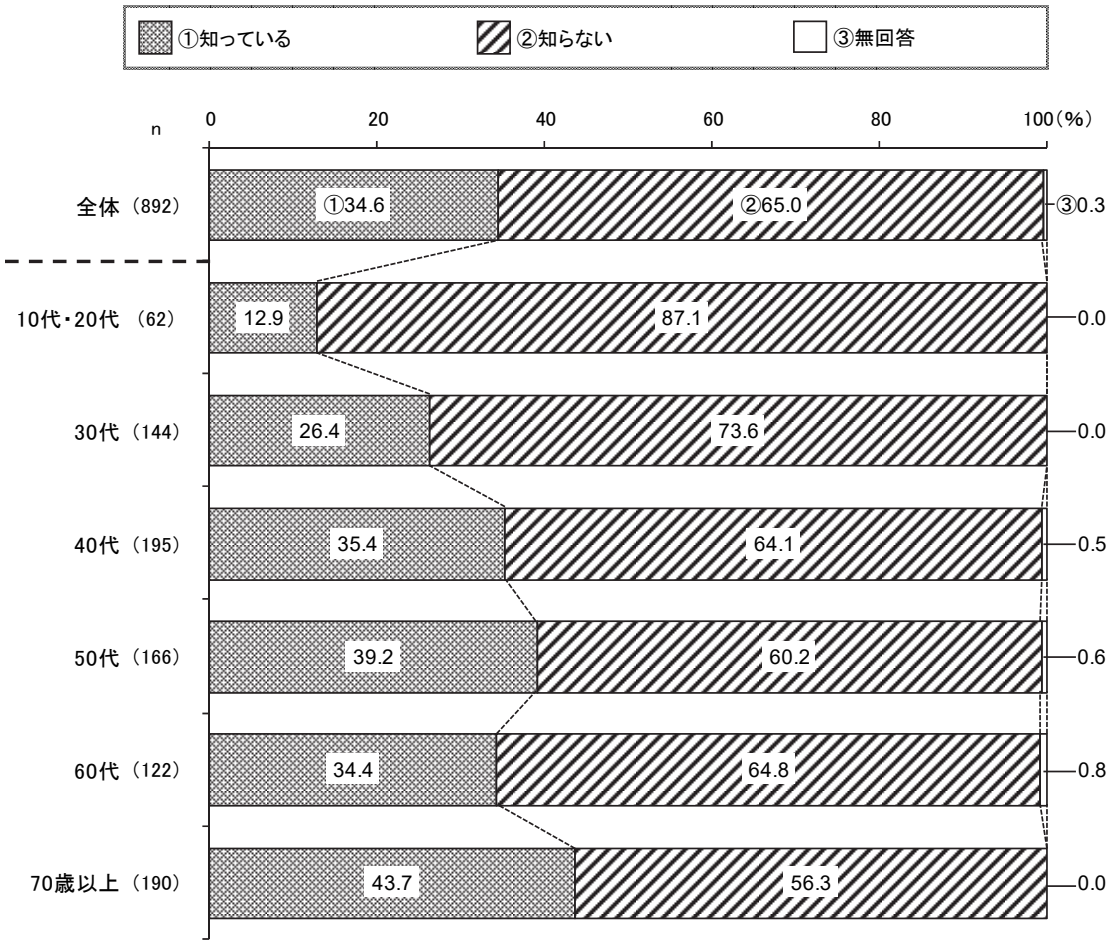
テーマ２　新宿応援セールについて

（１）「新宿応援セール」の認知状況

◎新宿応援セールを「知っている」が３割台半ば近く

問１０　あなたは、「新宿応援セール」を知っていますか。（○は１つ）	
	（n=892）
1　知っている	34.6%
2　知らない	65.0
無回答	0.3

図２－１　「新宿応援セール」の認知状況
（年代別）



「新宿応援セール」の認知状況について、「知っている」（34.6%）が３割台半ば近く、「知らない」（65.0%）が６割台半ばとなっている。

年代別でみると、おおむね年齢が高くなるほど「知っている」の割合は高くなり、70 歳以上（43.7%）が４割台半ば近くで最も高くなっている。一方、「知らない」は 10 代・20 代（87.1%）が８割台半ばを超えて最も高くなっている。（**図２－１**）

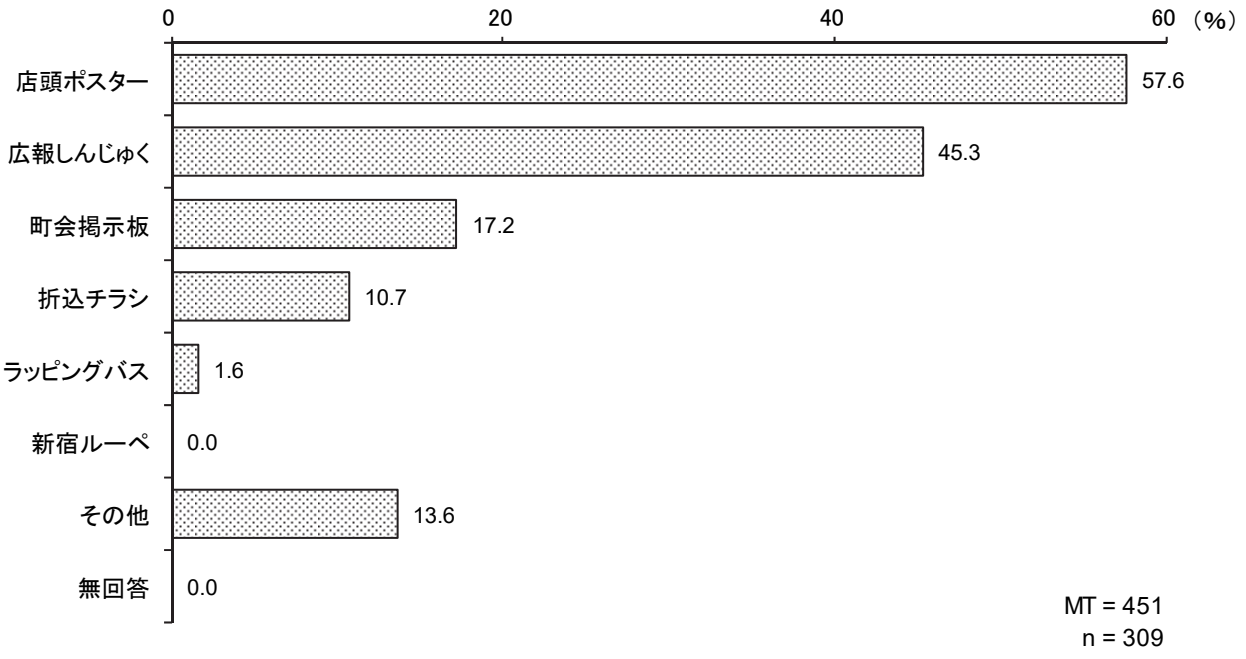
（２）「新宿応援セール」の認知経路

◎セールの認知経路は「店頭ポスター」が５割台半ばを超え

問１０－１　問１０で、「１」に○をした方にお伺いします。
あなたは、「新宿応援セール」を何で知りましたか。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

	（n=309）
1　広報しんじゅく	45.3%
2　折込チラシ	10.7
3　新宿ルーペ	0.0
4　店頭ポスター	57.6
5　町会掲示板	17.2
6　ラッピングバス	1.6
7　その他	13.6
無回答	0.0

図２－２　「新宿応援セール」の認知経路



「新宿応援セール」の認知経路は、「店頭ポスター」（57.6%）が５割台半ばを超えて最も高く、次いで「広報しんじゅく」（45.3%）が４割台半ばと続いている。（**図２－２**）

（３）「新宿応援セール」中の商店会での買い物の有無・頻度

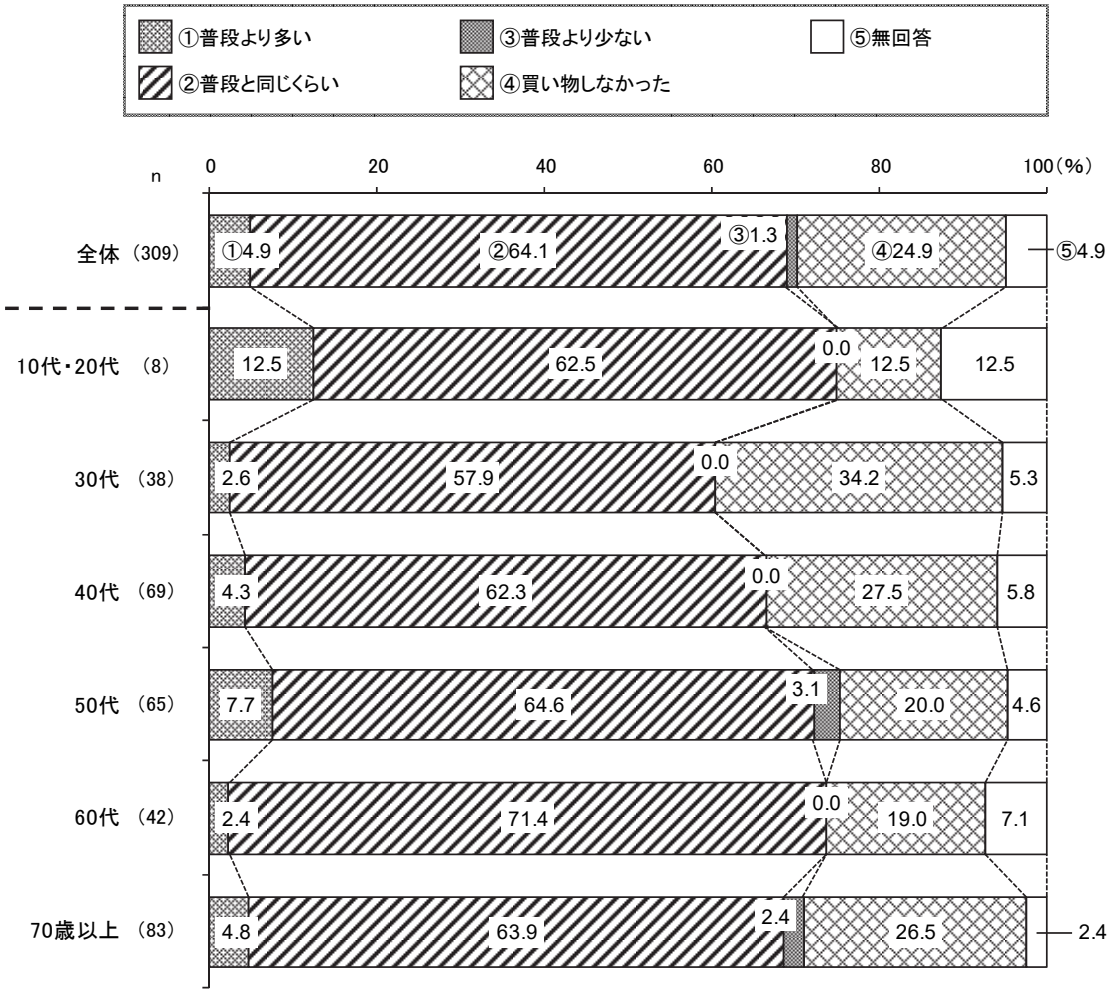
◎商店会での買い物の有無・頻度は「普段と同じくらい」が６割台半ば近く

問１０－２　問１０で、「１」に○をした方にお伺いします。
あなたは、「新宿応援セール」中に、どのくらいの頻度で、商店会で買い物をしましたか。（○は１つ）

（n=309）

1　普段より多い	4.9%
2　普段と同じくらい	64.1
3　普段より少ない	1.3
4　買い物しなかった	24.9
無回答	4.9

図２－３　「新宿応援セール」中の商店会での買い物の有無・頻度（年代別）



「新宿応援セール」中の商店会での買い物の有無・頻度は、「普段と同じくらい」（64.1%）が６割台半ば近く、「買い物しなかった」（24.9%）が２割台半ば近くとなっている。

年代別でみると「買い物しなかった」は 30 代（34.2%）が３割台半ば近くと高くなっており、全体（24.9%）を 9.3 ポイント上回っている。（**図２－３**）

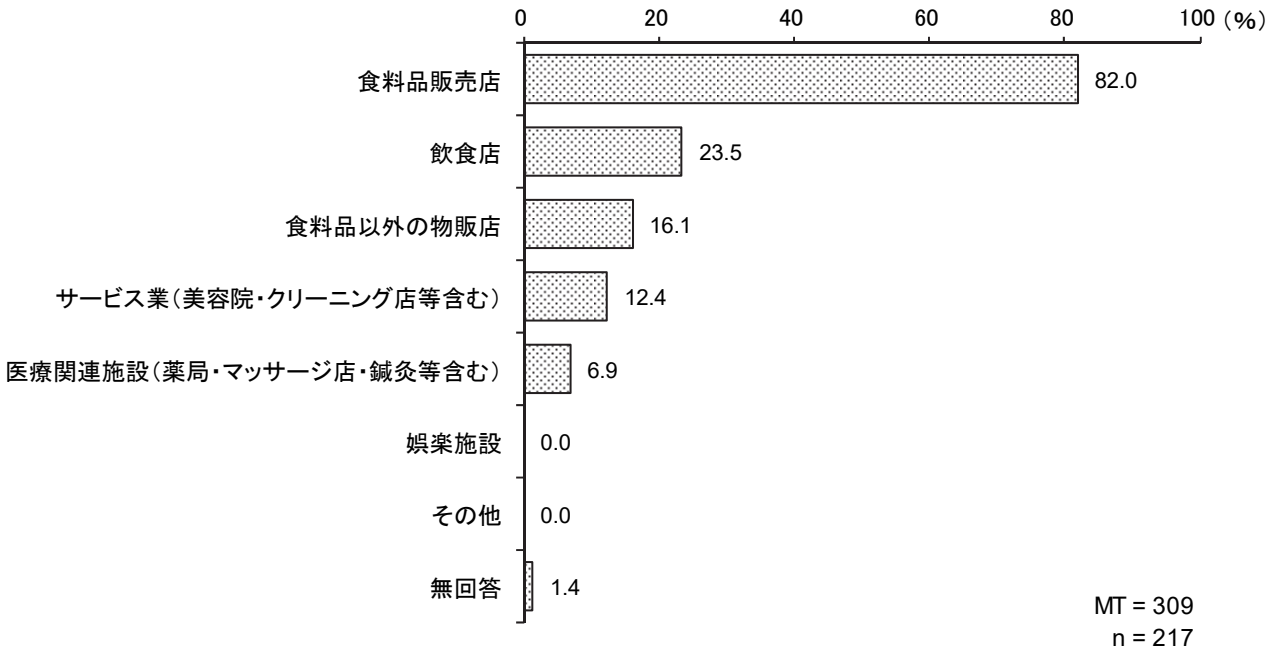
（４）「新宿応援セール」中に買い物をした店舗

◎セール中に買い物をした店舗は「食料品販売店」が８割強

問１０－３　問１０－２で、「１」～「３」に○をした方にお伺いします。
あなたは、「新宿応援セール」中に商店会のどちらの店舗で買い物をしましたか。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

		（n=217）
1	食料品販売店	82.0%
2	食料品以外の物販店	16.1
3	飲食店	23.5
4	サービス業（美容院・クリーニング店等含む）	12.4
5	医療関連施設（薬局・マッサージ店・鍼灸等含む）	6.9
6	娯楽施設	0.0
7	その他	0.0
	無回答	1.4

図２－４　「新宿応援セール」中に買い物をした店舗



「新宿応援セール」中に買い物をした店舗は、「食料品販売店」（82.0%）が８割強で最も高くなっている。（**図２－４**）

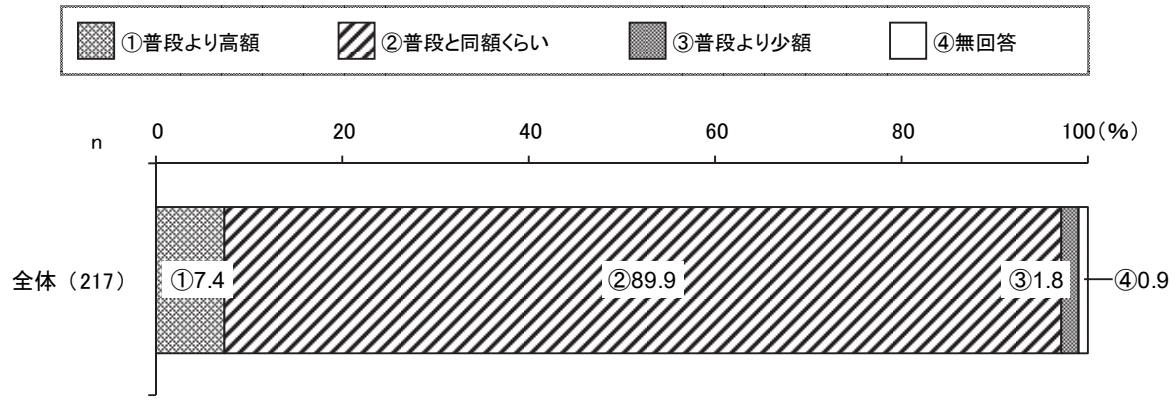
（５）「新宿応援セール」中の購入額

◎セール中の購入額は「普段と同額くらい」が９割弱

問１０－４　問１０－２で、「１」～「３」に○をした方にお伺いします。
あなたは、「新宿応援セール」中に、いくらくらい商店会で買い物をしましたか。
（○は１つ）

	（n=217）
1　普段より高額	7.4%
2　普段と同額くらい	89.9
3　普段より少額	1.8
無回答	0.9

図２－５　「新宿応援セール」中の購入額



「新宿応援セール」中の購入額について、「普段と同額くらい」（89.9%）が９割弱となっている。（**図２－５**）

（６）「新宿応援セール」中の１回あたりの購入金額

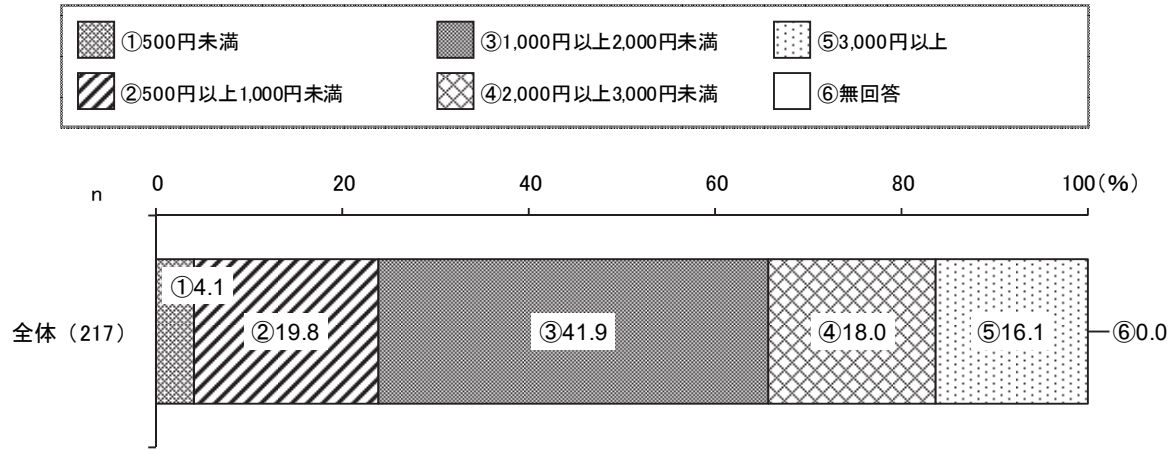
◎セール中の１回あたりの購入金額は「1,000 円以上 2,000 円未満」が４割強

問１０－５　問１０－２で、「１」～「３」に○をした方にお伺いします。
あなたが「新宿応援セール」中に商店会で買い物をした１回あたりの平均金額を教えてください。（○は１つ）

（n=217）

1	500 円未満	4.1%
2	500 円以上 1,000 円未満	19.8
3	1,000 円以上 2,000 円未満	41.9
4	2,000 円以上 3,000 円未満	18.0
5	3,000 円以上	16.1
	無回答	0.0

図２－６　「新宿応援セール」中の１回あたりの購入金額



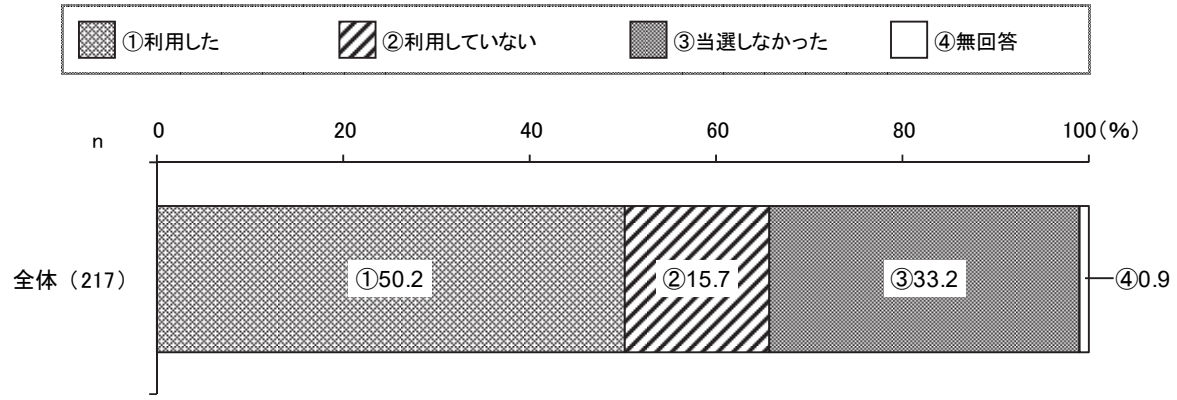
「新宿応援セール」中の１回あたりの購入金額は、「1,000 円以上 2,000 円未満」（41.9%）が４割強で最も高く、次いで「500 円以上 1,000 円未満」（19.8%）が２割弱、「2,000 円以上 3,000 円未満」（18.0%）が２割近くとなっている。（**図２－６**）

（７）「新宿応援セール」の当選券の利用

◎当選券を「利用した」が約５割

問１０－６　問１０－２で、「１」～「３」に○をした方にお伺いします。 あなたは、「新宿応援セール」の当選券を利用しましたか。（○は１つ）	
	（n=217）
1　利用した	50.2%
2　利用していない	15.7
3　当選しなかった	33.2
無回答	0.9

図２－７　「新宿応援セール」の当選券の利用



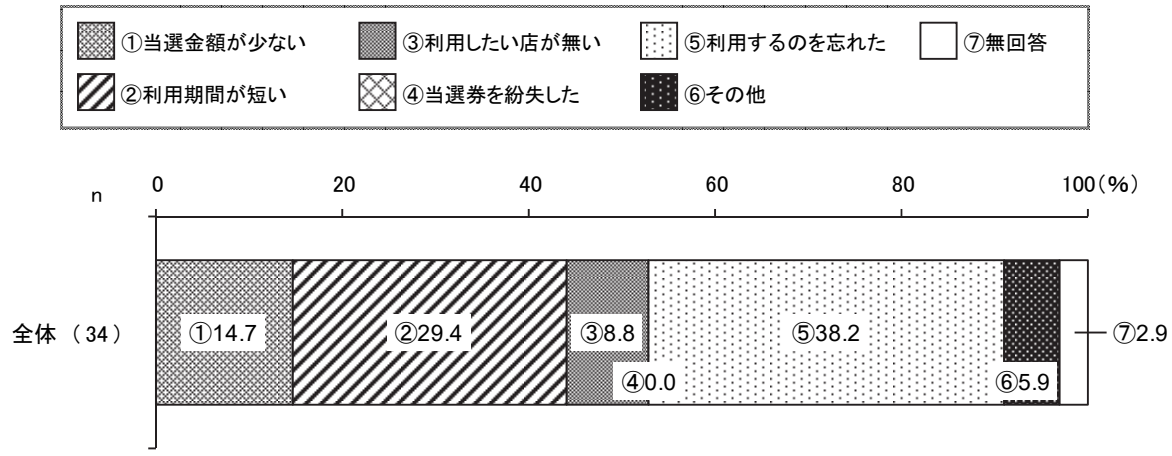
「新宿応援セール」の当選券の利用は、「利用した」（50.2%）が約５割、「利用していない」（15.7%）が１割台半ば、「当選しなかった」（33.2%）が３割台半ば近くとなっている。（**図２－７**）

（８）「新宿応援セール」の当選券を利用しなかった理由

問１０－７　問１０－６で、「２」に○をした方にお伺いします。
あなたが「新宿応援セール」の当選券を利用しなかった理由は何ですか。
（○は１つ）

		（n=34）
1	当選金額が少ない	14.7%
2	利用期間が短い	29.4
3	利用したい店が無い	8.8
4	当選券を紛失した	0.0
5	利用するのを忘れた	38.2
6	その他	5.9
	無回答	2.9

図２－８　「新宿応援セール」の当選券を利用しなかった理由



※この設問の回答者は 34 人と少なく、極端な結果になりやすいため参考値とする。

（９）「新宿応援セール」への意見・要望

問１１　「新宿応援セール」についてご意見がありましたらご記入ください。
（ご自由にお書きください）

★ご意見・ご提案（一部抜粋）★

○商店街を活気づける企画で開催しているようだがあまり知られていない。大々的に開催時期がわかる様に、参加店も魅力的なセール品を提供しないと商店街に人は戻ってこないと思う。
○商店街で買い物することがほとんど無いので存在を知らなかった。商店街にあるチェーン店でも利用ができると、今まで足を運んだことのない地元のお店にも行く機会が生まれると思う。
○たまたまお店に入ったら‥と知る感じなので、開催時期・店舗がわかるように周知していただきたい。
○新宿はお店の入れ変わりが激しく、気に入って利用していたレストランも店主が高齢になって閉店したり、道路工事による立ち退きで店がなくなったりしている。新しいお店もどんどん参加してほしい。
○参加店が増えて町ぐるみの行事になったらいいと思う。
○知っていたらぜひ参加をしたかった！もっと告知をしてほしい。参加店を増やして欲しい。
○応援セールに新宿区がそんなに力を入れている事を知らなかった。次回からは注意して広報等を読むようにしたいと思う。
○続けることに意味がある、とは言うが、お店も客もどちらにとっても、ちょっと嬉しいな、と思える改善は必要と思う。現状よりもう「ちょっと」、良くなって欲しい。（主に使い勝手）
○ぜひ、続けてほしい。楽しいから。
○好感がもてる。地域性が高いから。
○スクラッチの用紙が厚く、財布に入れづらい。スクラッチという用語は、わくわく感があり親しみも感じられて良いが、コインで削るのがやや手間かも。削りカスが気になる。２つ折りタイプはどうか？（コンビニなどで良くあるタイプ）
○昔は、我が家の周辺にもたくさん商店街（商店）があったが、ほとんど消滅したため、少し足を伸ばさないとその様なセールをやっている所がなくなってしまい、非常に残念な思いだ。
○私はほぼ毎日外出しているのにこのキャンペーンに気付かないということは、やはり宣伝方法に改善の余地があるのではないか。とても良いキャンペーンでこれを機に今まで入ったことのなかったお店に入ろうと、もし思えたら良いと思うのでぜひ続けてほしい。
○期間が１ヶ月で買い物も週１くらいのペースでスーパーなので「新宿応援セール」を知らなかったと思う。目的が消費拡大もあるなら、対象店舗を増やして頂ければいいなと思う。商店街活性化がメインであるなら、現方法で良いのかもしれない。それでも、わかりやすい掲示をしてほしい。
○徒歩通勤のため、店舗掲示ポスターは、店自体が開店時間外で中々気付けない。駅もあまり使用しないので、可能であれば、新宿区のサイトやＳＮＳの新宿区アカウントをフォローしやすくして発信に気付きやすくなれば良いと思った。

Ⅱ　調査の結果（テーマ２　新宿応援セールについて）

○抽選券を貰った事はある。（新宿応援セール）と、言う呼び名は知らなかった。「応援」と言う部分をもう少し、アピールしても良いのかと思う。
○店で買い物をして、券をもらい、そうか「新宿応援セール」期間中なんだと気付く事が多い。ポスター等、もっと大々的に、わかる様に貼ってほしい。
○当選カードをもう少し小さいサイズにしてほしい。財布でかさばるのが面倒。
○千葉県から転居した為に、知らない事が沢山ある。上記応援セールは今回のアンケートにて初めて知った。参加店の明細掲示ポスターを見る事もなかったので、わかりやすく見やすい場所に掲示してほしい。
○住み良い区、安心して楽しい町の為に応援セールの拡大を期待する。
○現状のままつづけてほしい。子供と楽しみにしている。
○新宿応援セール単独でのＤＭ（ハガキでＯＫ）をして欲しい。
○ポスターの字（期間）を大きく表示して欲しい。店舗提示ポスターを見える場所に貼って欲しい。利用期間を延ばして欲しい。
○知らなかったので、周知してほしい。身近に行く店は対象なのか知りたいし、参加店は多い方が良い。
○近所に参加店が無いため利用出来ない。食品は普段通り宅配や近所のスーパーを利用している。セール期間中だけでも個人店を使ってみたいが、どこへ行けば加盟店があるのかもわからない。
○当選確率は低くなるが、当選金額をあげた方が価値があがるのではないか。
○当選確率を高くしてほしい。

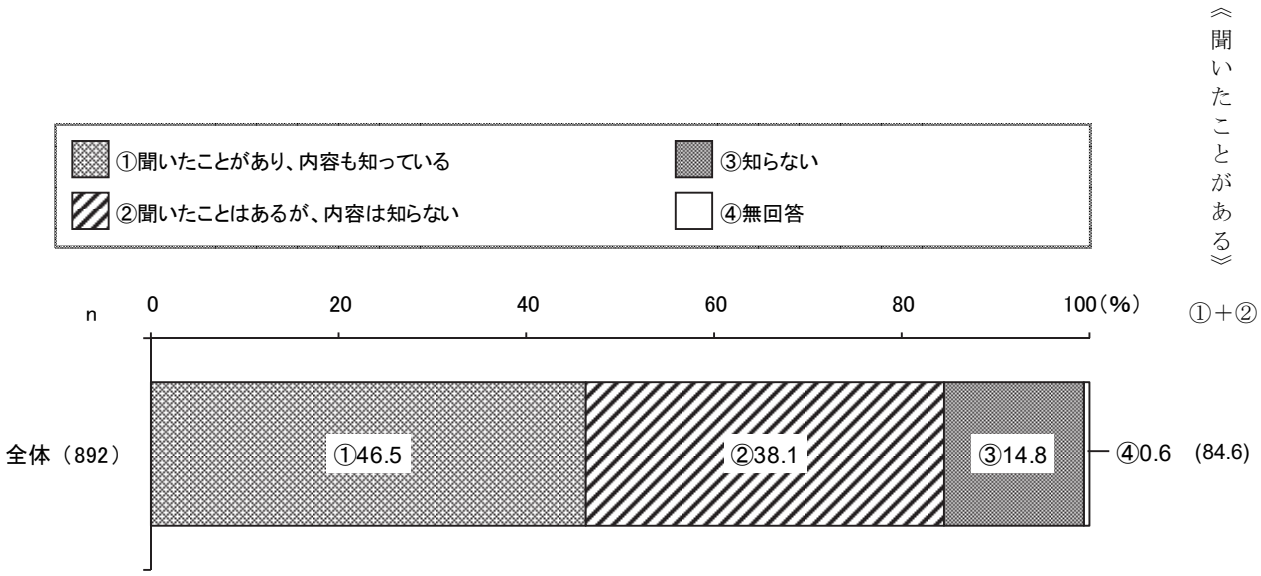
テーマ３　成年後見制度について

（１）成年後見制度の認知度

◎「聞いたことがあり、内容も知っている」が４割台半ばを超え

問１２　あなたは、成年後見制度を知っていますか。（○は１つ）	
	（n=892）
1　聞いたことがあり、内容も知っている	46.5%
2　聞いたことはあるが、内容は知らない	38.1
3　知らない	14.8
無回答	0.6

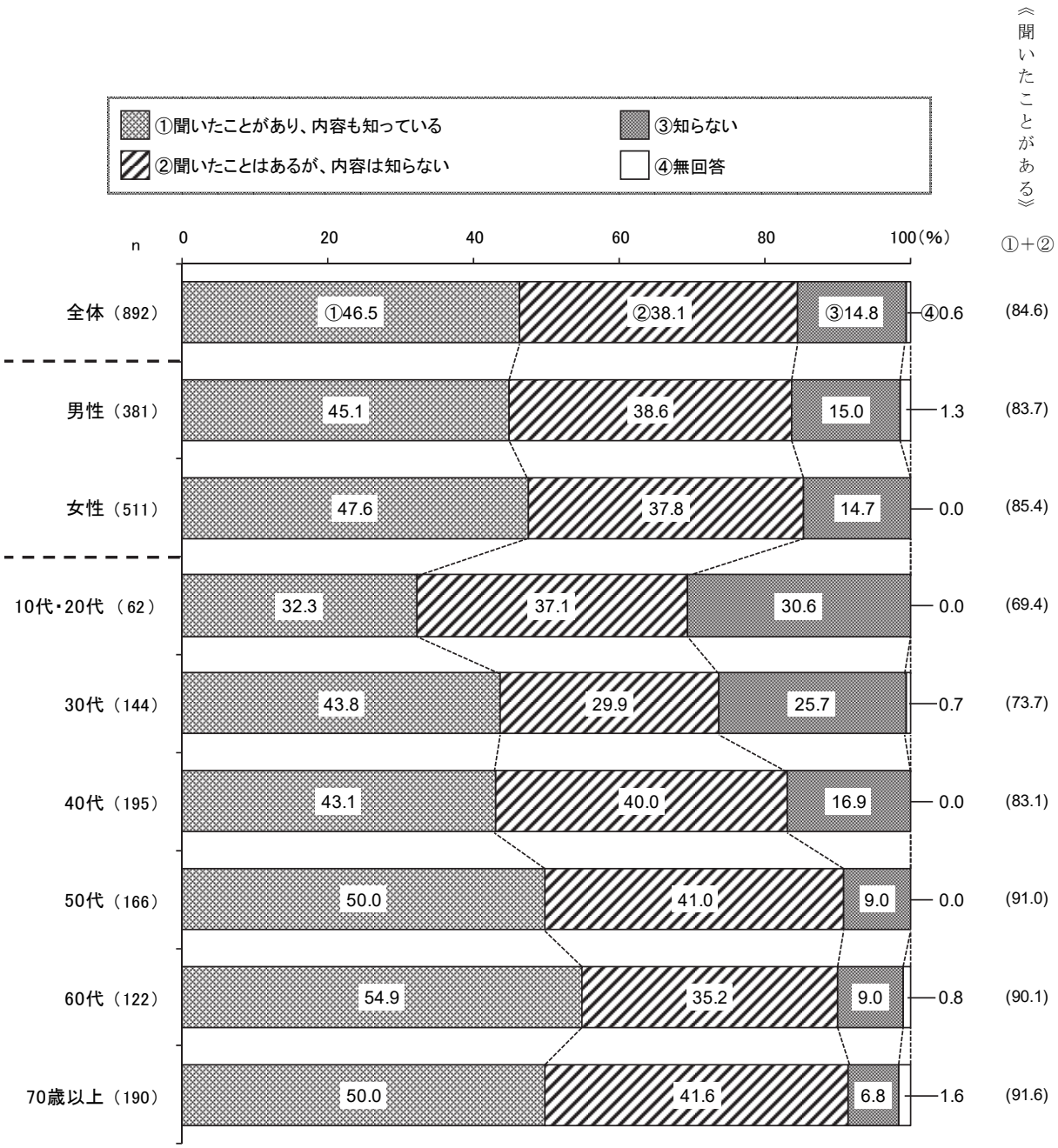
図３－１－１　成年後見制度の認知度



成年後見制度の認知度について、「聞いたことがあり、内容も知っている」（46.5%）が４割台半ばを超え、「聞いたことはあるが、内容は知らない」（38.1%）が４割近く、「知らない」（14.8%）が１割台半ば近くとなっている。

「聞いたことがあり、内容も知っている」と「聞いたことはあるが、内容は知らない」を合わせた《聞いたことがある》（84.6%）は８割台半ば近くとなっている。（**図３－１－１**）

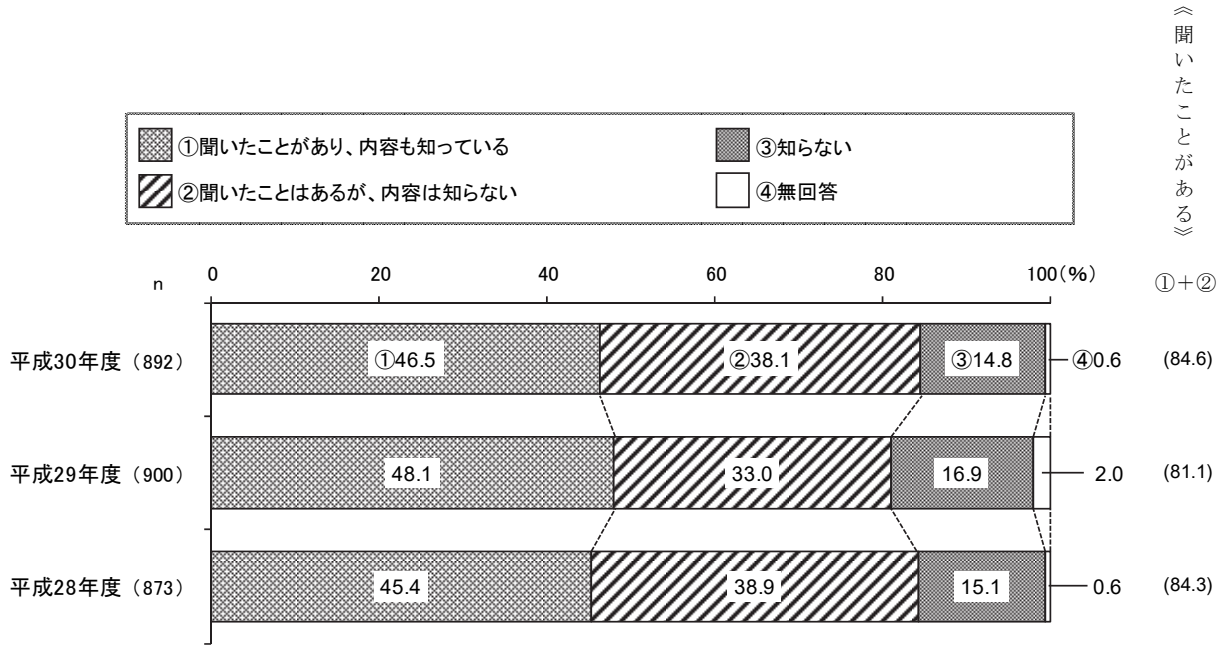
図３－１－２　成年後見制度の認知度
（性別・年代別）



性別でみると、男女の割合に大きな差はみられない。

年代別でみると、《聞いたことがある》は 50 代以上が９割以上となっている。（**図３－１－２**）

図３－１－３　成年後見制度の認知度
（経年推移）



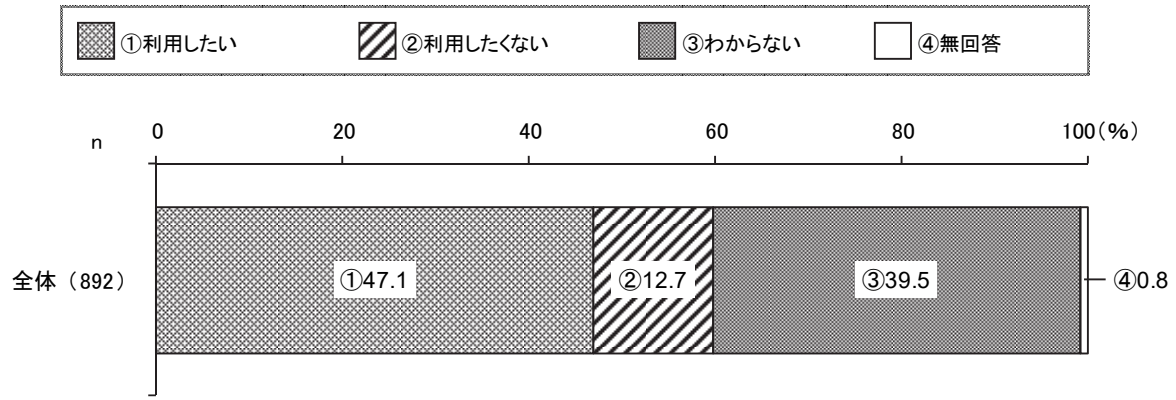
過去３年間の経年推移をみると、《聞いたことがある》は、平成29年度（81.1%）から平成30年度（84.6%）にかけて3.5ポイント高く、平成28年度（84.3%）と同程度となっている。
（図３－１－３）

（２）成年後見制度の利用意向

◎成年後見制度を「利用したい」が４割台半ばを超え

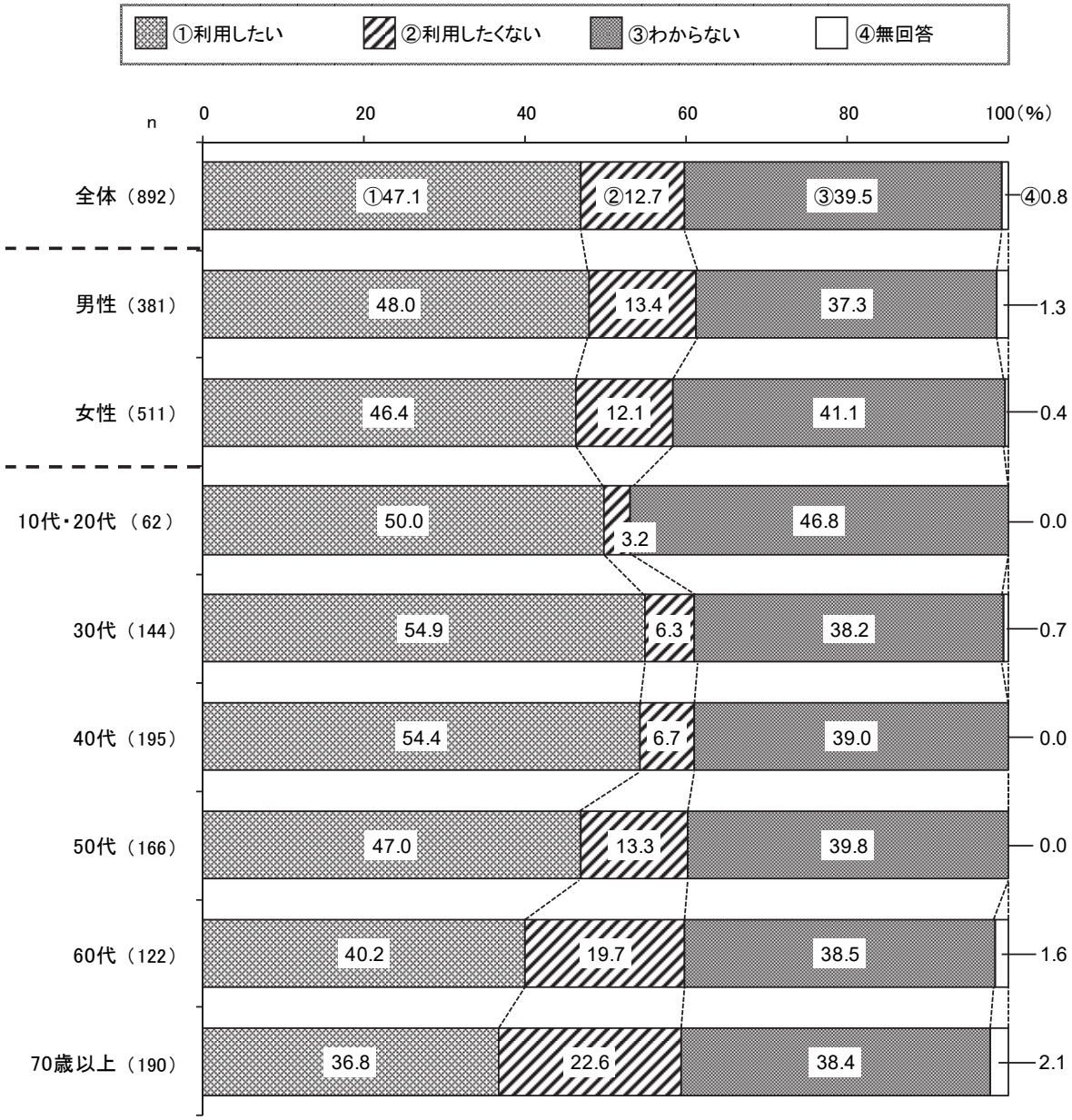
問１３　あなたは、あなた自身や家族・親族が、認知症等により判断能力が十分でなくなったとき、成年後見制度を利用したいと思いますか。（○は１つ）	
	（n=892）
1　利用したい	47.1%
2　利用したくない	12.7
3　わからない	39.5
無回答	0.8

図３－２－１　成年後見制度の利用意向



成年後見制度の利用意向について、「利用したい」（47.1%）が４割台半ばを超え、「利用したくない」（12.7%）が１割強、「わからない」（39.5%）が４割弱となっている。（**図３－２－１**）

図３－２－２　成年後見制度の利用意向
（性別・年代別）



性別でみると、男女の割合に大きな差はみられない。

年代別でみると、「利用したい」は 30 代（54.9%）および 40 代（54.4%）がともに５割台半ば近くで高くなっている。（**図３－２－２**）

（３）後見人になってほしい人

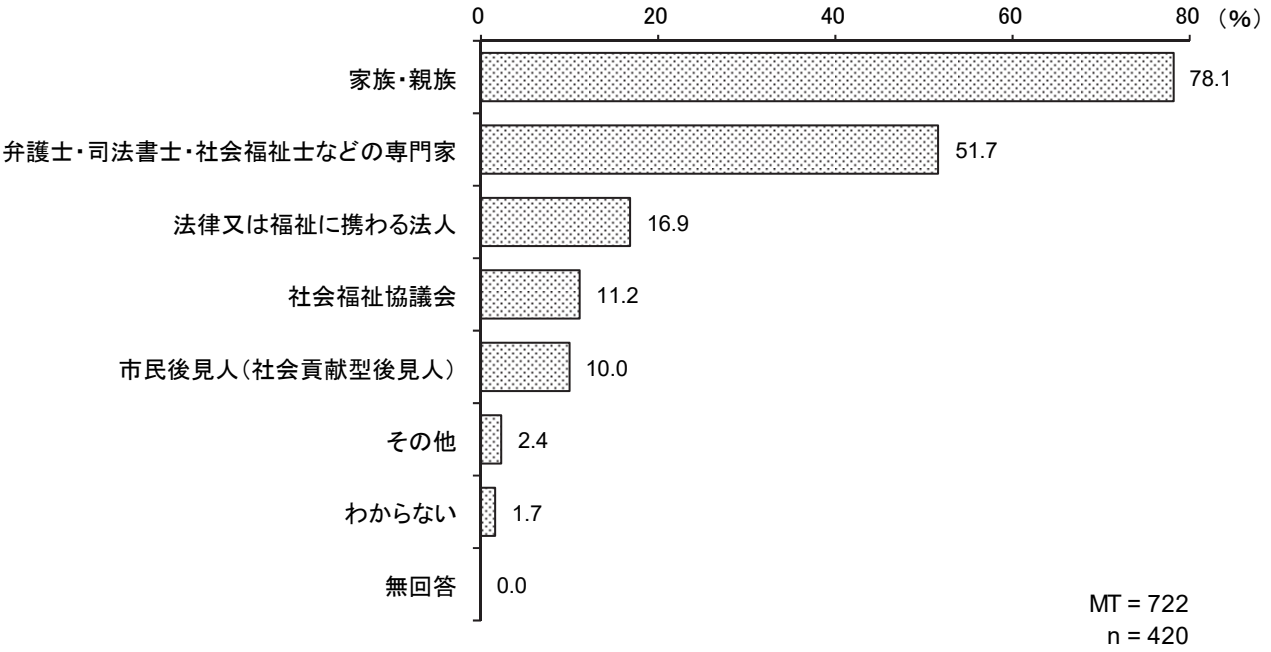
◎後見人になってほしい人は「家族・親族」が８割近く

問１３－１　問１３で、「１」に○をした方にお伺いします。
成年後見制度を利用する際、どのような人に成年後見人等になってほしいと思いますか。すでに利用している人もお答えください。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

（n=420）

1	家族・親族	78.1%
2	弁護士・司法書士・社会福祉士などの専門家	51.7
3	市民後見人（社会貢献型後見人）	10.0
4	社会福祉協議会	11.2
5	法律又は福祉に携わる法人	16.9
6	その他	2.4
7	わからない	1.7
	無回答	0.0

図３－３　後見人になってほしい人



後見人になってほしい人について、「家族・親族」（78.1%）が８割近くで最も高く、次いで「弁護士・司法書士・社会福祉士などの専門家」（51.7%）が５割強と続いている。（**図３－３**）

（４）成年後見制度が利用されるために必要なこと

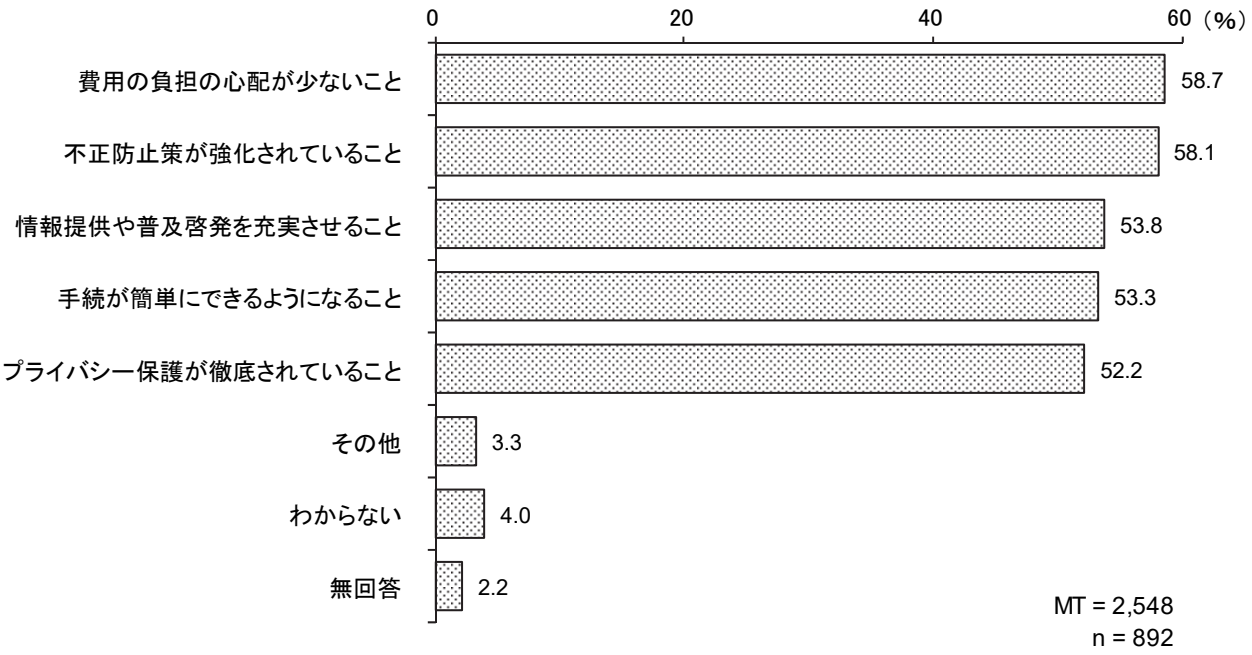
◎「費用の負担の心配が少ないこと」及び「不正防止策が強化されていること」がともに６割近く

問１４　あなたは、成年後見制度がより多くの人に利用されるために、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

（n=892）

1	情報提供や普及啓発を充実させること	53.8%
2	費用の負担の心配が少ないこと	58.7
3	プライバシー保護が徹底されていること	52.2
4	手続が簡単にできるようになること	53.3
5	不正防止策が強化されていること	58.1
6	その他	3.3
7	わからない	4.0
	無回答	2.2

図３－４　成年後見制度が利用されるために必要なこと



成年後見制度が利用されるために必要なことは、「費用の負担の心配が少ないこと」（58.7%）および「不正防止策が強化されていること」（58.1%）が６割近くとなっている。以下、「情報提供や普及啓発を充実させること」（53.8%）、「手続が簡単にできるようになること」（53.3%）および「プライバシー保護が徹底されていること」（52.2%）と上位５項目が５割～６割となっている。（**図３－４**）

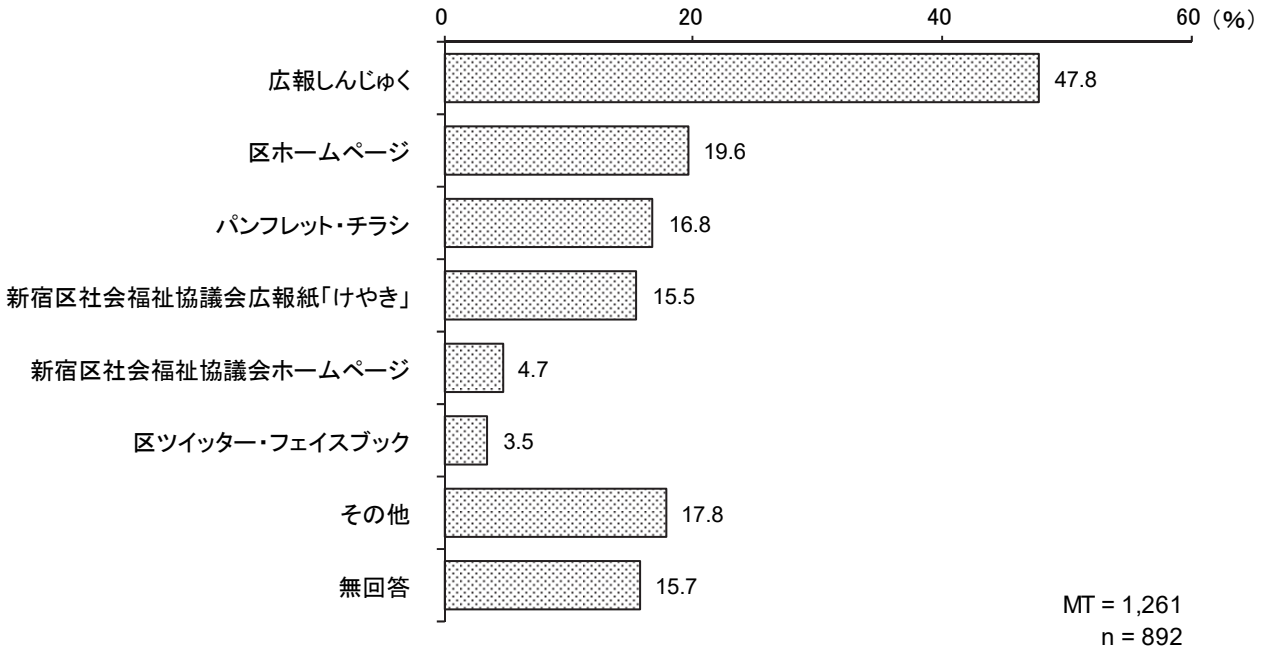
（５）成年後見制度に関する周知方法

◎「広報しんじゅく」が４割台半ばを超え

問１５　現在、成年後見制度に関する周知方法として、知っているものは何ですか。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

		（n=892）
1	広報しんじゅく	47.8%
2	パンフレット・チラシ	16.8
3	新宿区社会福祉協議会広報紙「けやき」	15.5
4	区ホームページ	19.6
5	新宿区社会福祉協議会ホームページ	4.7
6	区ツイッター・フェイスブック	3.5
7	その他	17.8
	無回答	15.7

図３－５　成年後見制度に関する周知方法



成年後見制度に関する周知方法について、「広報しんじゅく」（47.8%）が４割台半ばを超えて最も高く、次いで「区ホームページ」（19.6%）が２割弱、「パンフレット・チラシ」（16.8%）が１割台半ばを超え、「新宿区社会福祉協議会広報紙「けやき」」（15.5%）が１割台半ばと続いている。（**図３－５**）

テーマ４　男女共同参画に関する意識について

（１）さまざまな分野での男女平等意識について

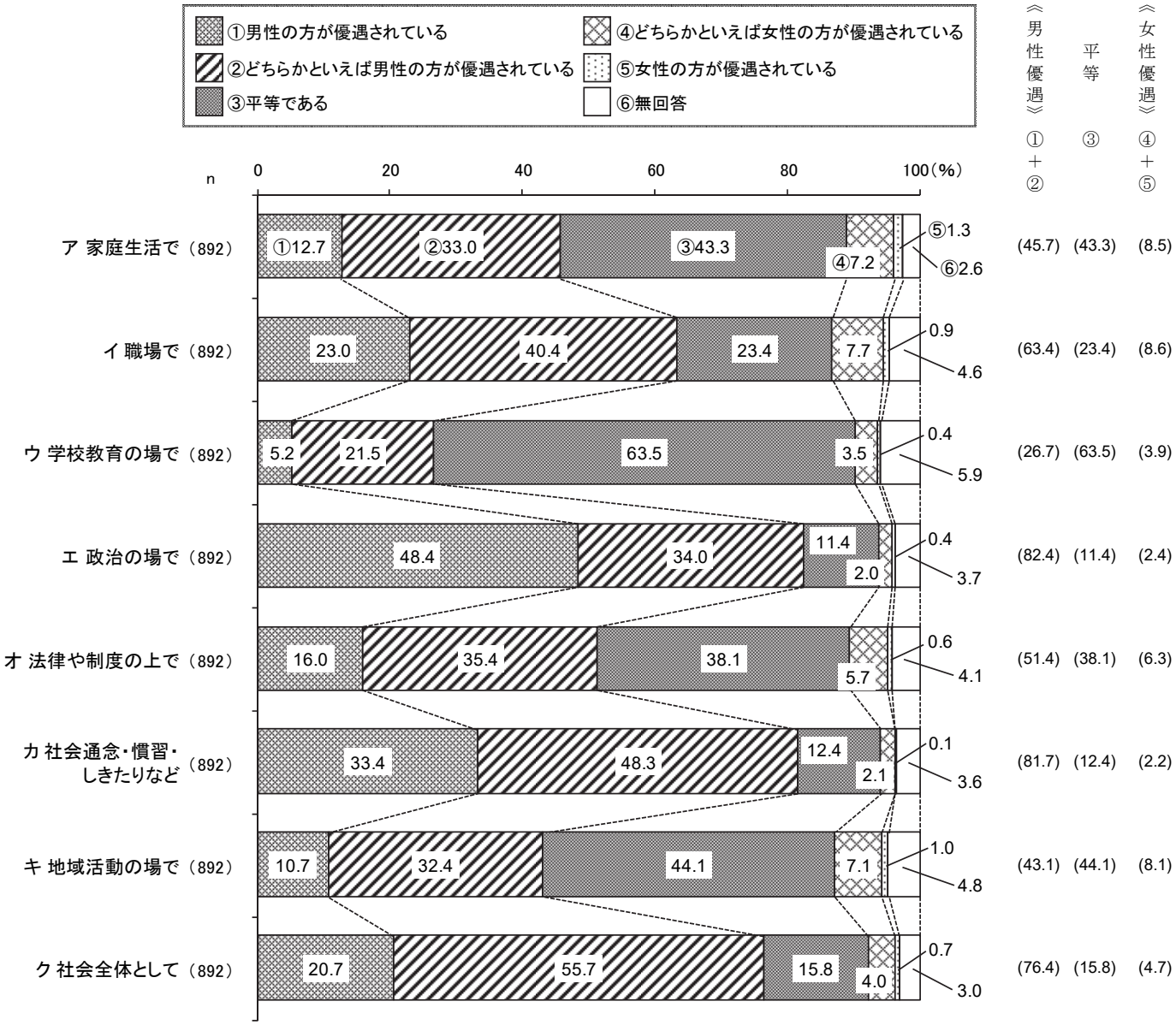
◎「平等である」と思う方が多いのは『学校教育の場で』で６割台半ば近く

問１６　あなたは、次のような分野において男女平等だと思いますか。
（ア～クそれぞれで、１～５に１つだけ○をつけてください）

（n=892）

	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	無回答
ア　家庭生活で	12.7%	33.0%	43.3%	7.2%	1.3%	2.6%
イ　職場で	23.0	40.4	23.4	7.7	0.9	4.6
ウ　学校教育の場で	5.2	21.5	63.5	3.5	0.4	5.9
エ　政治の場で	48.4	34.0	11.4	2.0	0.4	3.7
オ　法律や制度の上で	16.0	35.4	38.1	5.7	0.6	4.1
カ　社会通念・慣習・しきたりなど	33.4	48.3	12.4	2.1	0.1	3.6
キ　地域活動の場で	10.7	32.4	44.1	7.1	1.0	4.8
ク　社会全体として	20.7	55.7	15.8	4.0	0.7	3.0

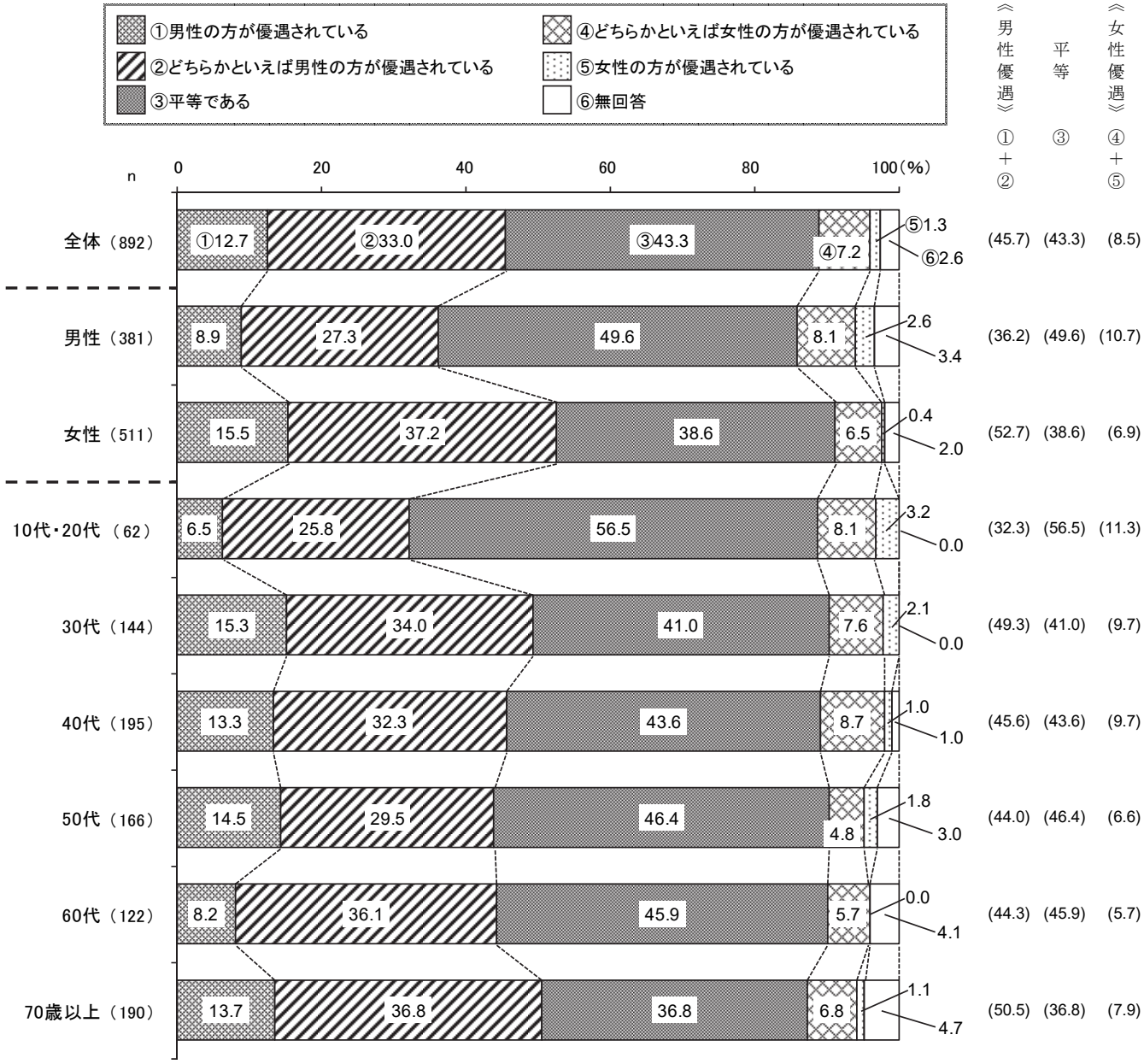
図４－１－１　さまざまな分野での男女平等意識について



さまざまな分野での男女平等意識について、「平等である」は『学校教育の場で』（63.5%）が６割台半ば近くなっている。

「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた《男性優遇》は、『政治の場で』（82.4%）および『社会通念・慣習・しきたりなど』（81.7%）がともに８割強となっている。（**図４－１－１**）

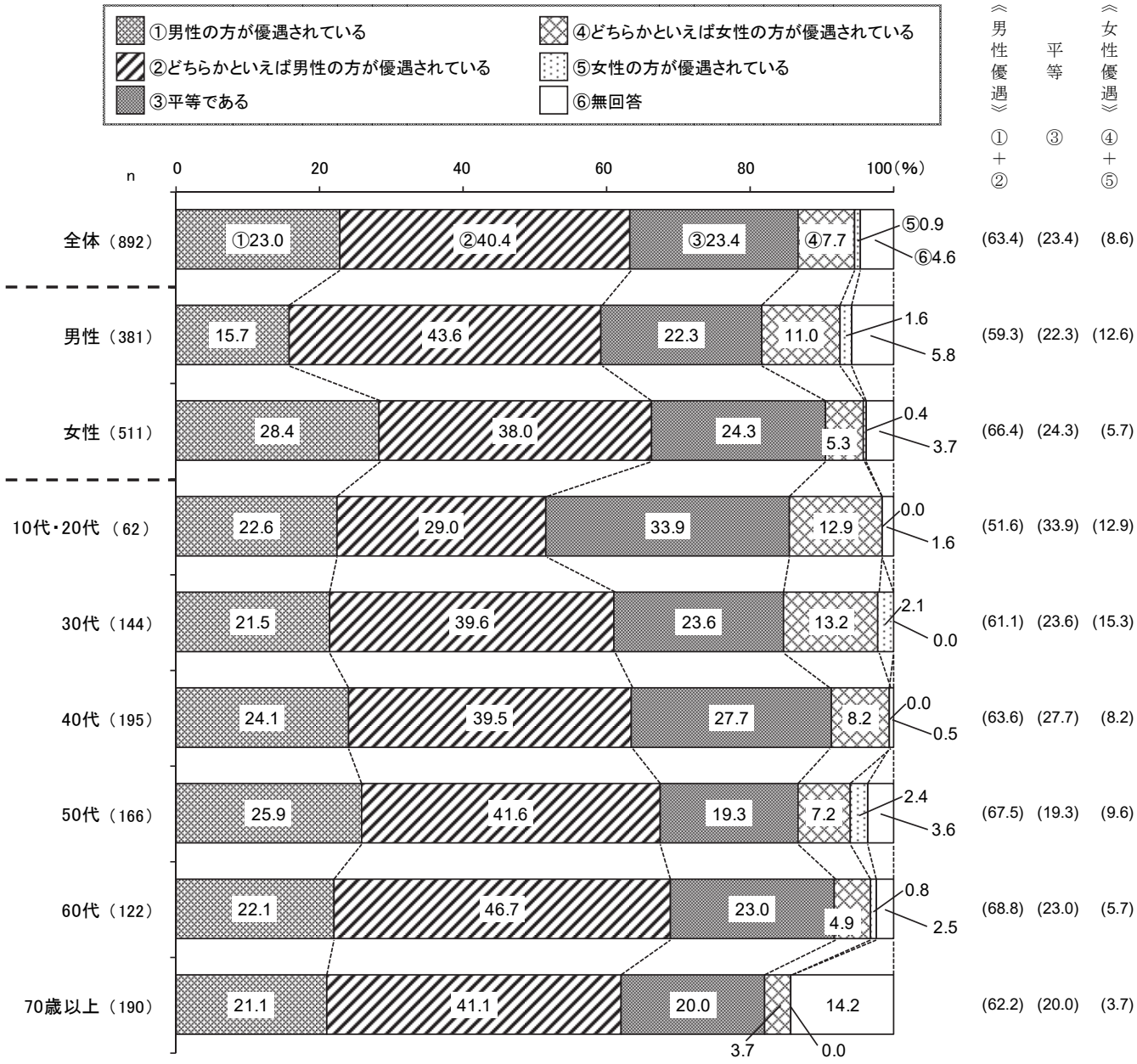
図４－１－２　さまざまな分野での男女平等意識について
（性別・年代別）
『ア　家庭生活で』



『家庭生活で』について、性別でみると、《男性優遇》は女性（52.7%）が５割強と、男性（36.2%）を 16.5 ポイント上回っている。

年代別でみると、「平等である」は 10 代・20 代（56.5%）が５割台半ばを超えて高くなっており、全体（43.3%）を 13.2 ポイント上回っている。（**図４－１－２**）

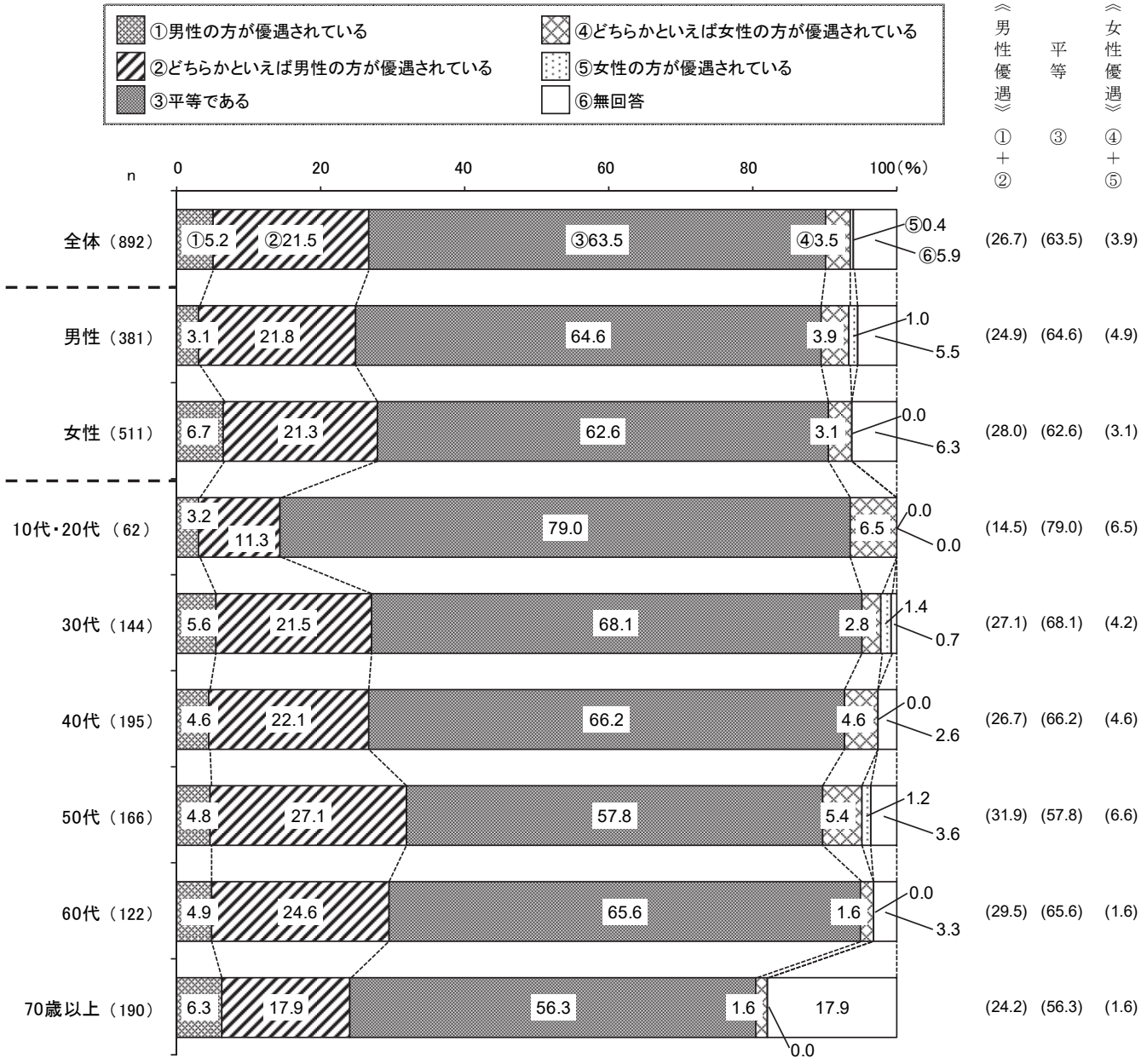
図４－１－３　さまざまな分野での男女平等意識について
（性別・年代別）
『イ　職場で』



『職場で』について、性別でみると、「男性の方が優遇されている」は女性（28.4%）が３割近くと、男性（15.7%）を 12.7 ポイント上回っている。

年代別でみると、「平等である」は 10 代・20 代（33.9%）が３割台半ば近くと高くなっており、全体（23.4%）を 10.5 ポイント上回っている。（**図４－１－３**）

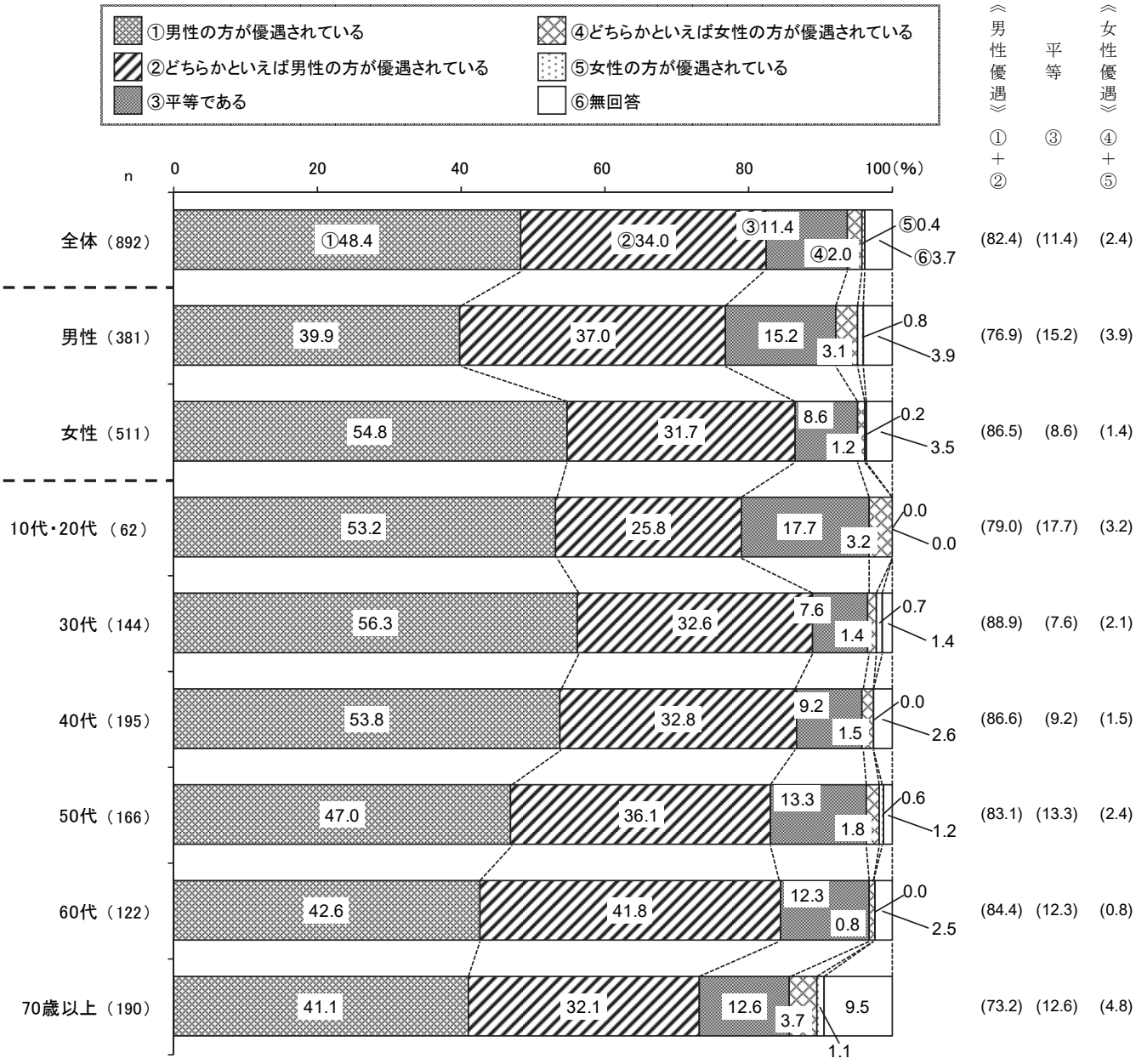
図４－１－４　さまざまな分野での男女平等意識について
（性別・年代別）
『ウ　学校教育の場で』



『学校教育の場で』について、男女の割合に大きな差はみられない。

年代別でみると、「平等である」は 10 代・20 代(79.0%)が８割弱と高くなっており、全体(63.5%)を 15.5 ポイント上回っている。（**図４－１－４**）

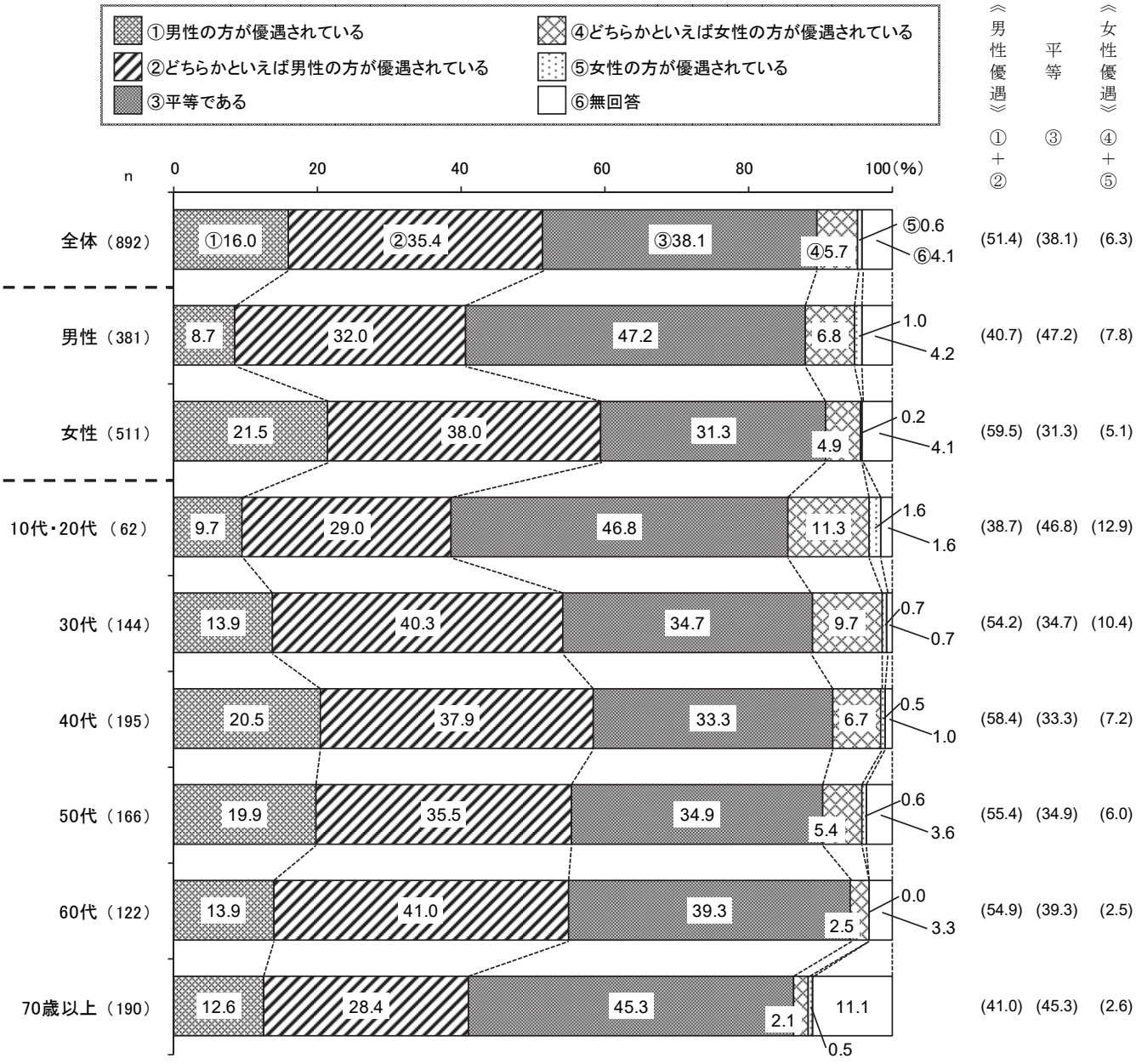
図４－１－５　さまざまな分野での男女平等意識について
（性別・年代別）
『エ　政治の場で』



『政治の場で』について、性別でみると、「男性の方が優遇されている」は女性（54.8%）が５割台半ば近くと、男性（39.9%）を 14.9 ポイント上回っている。

年代別でみると、「男性の方が優遇されている」は 30 代（56.3%）が５割台半ばを超えて高くなっており、全体（48.4%）を 7.9 ポイント上回っている。（**図４－１－５**）

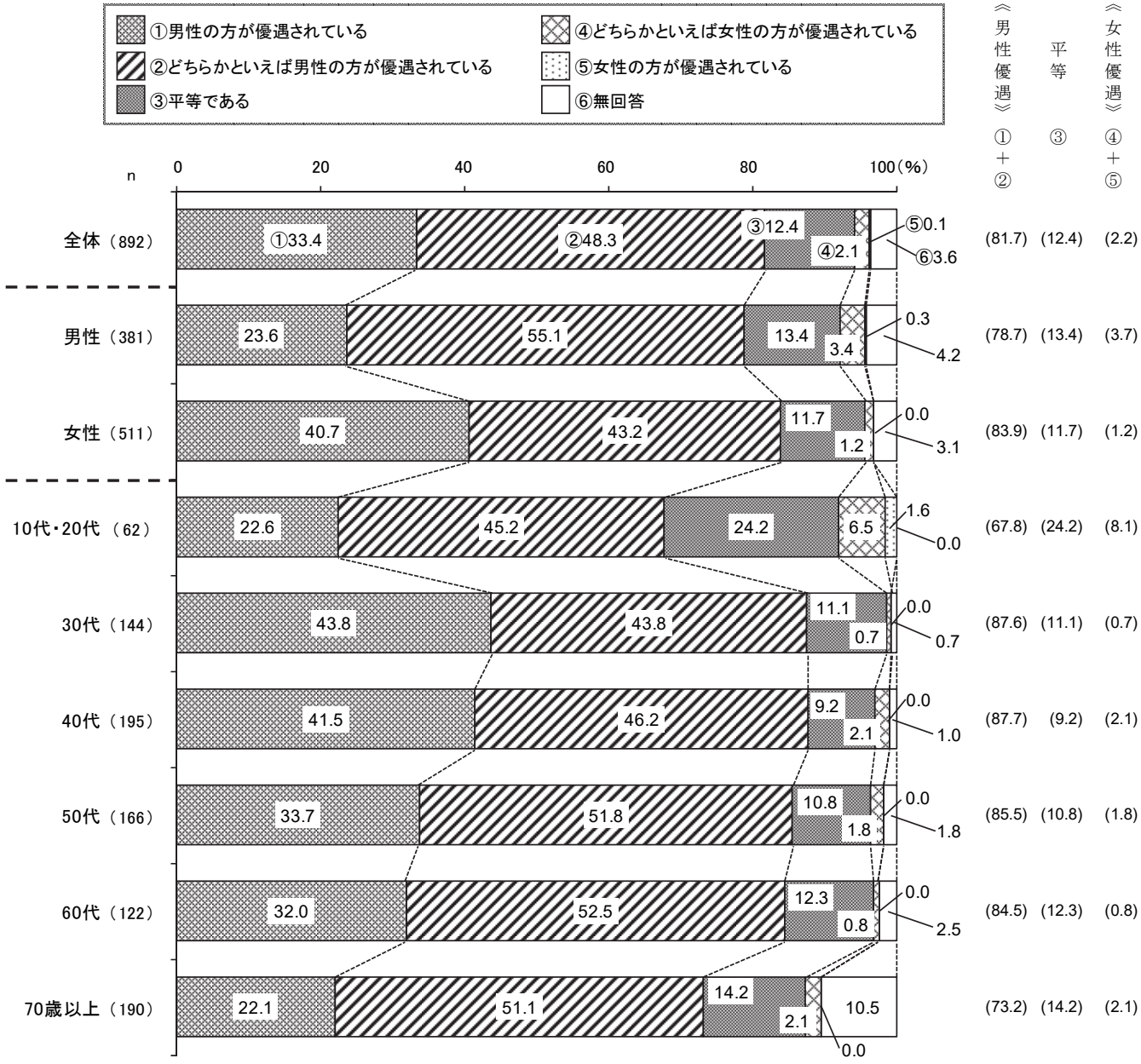
図４－１－６　さまざまな分野での男女平等意識について
（性別・年代別）
『オ　法律や制度の上で』



『法律や制度の上で』について、性別でみると、《男性優遇》は女性（59.5%）が６割弱と、男性（40.7%）を 18.8 ポイント上回っている。一方、「平等である」は男性（47.2%）が４割台半ばを超えて、女性（31.3%）を 15.9 ポイント上回っている。

年代別でみると、「平等である」は 10 代・20 代（46.8%）が４割台半ばを超えて高くなっており、全体（38.1%）を 8.7 ポイント上回っている。（**図４－１－６**）

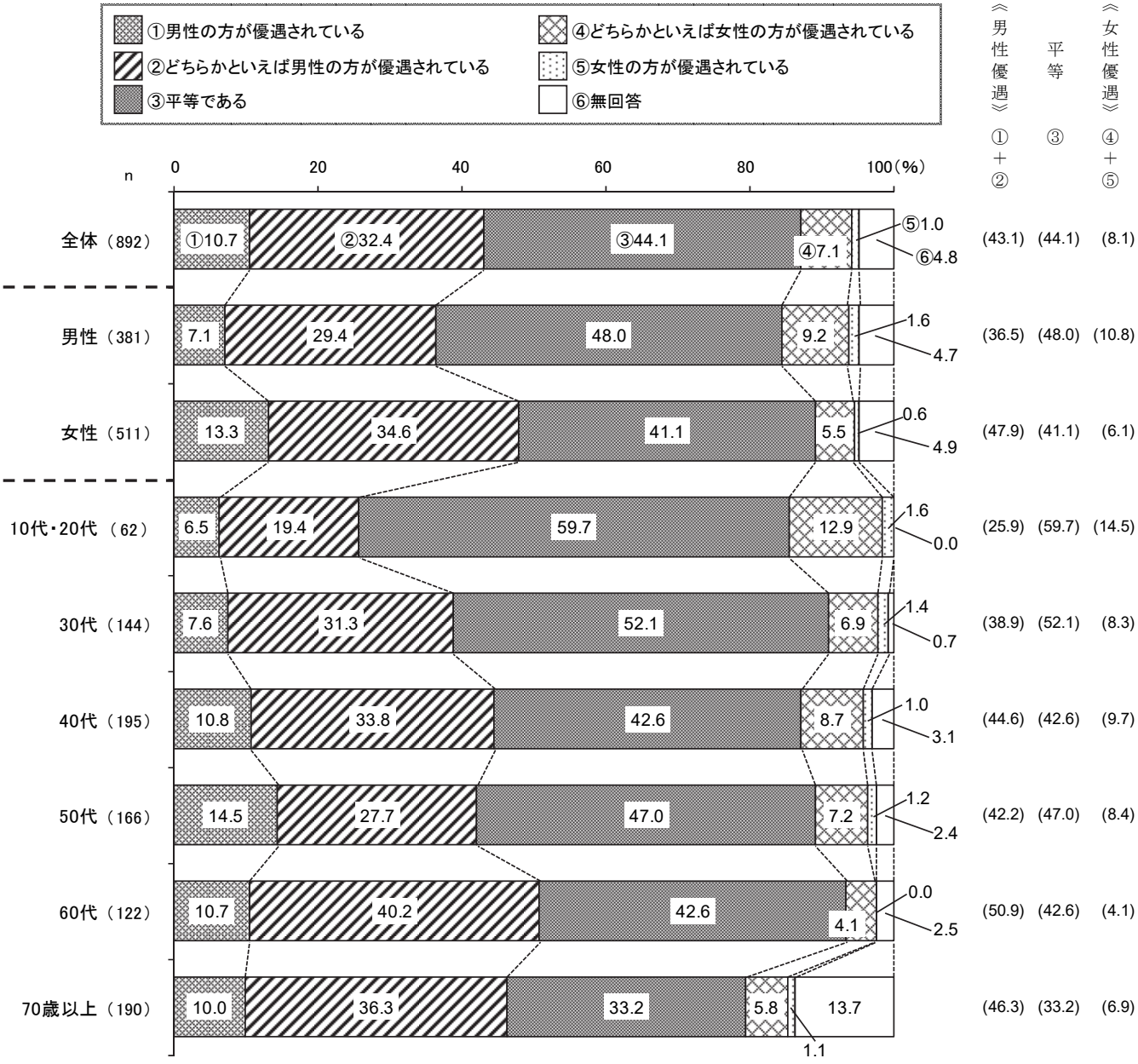
図４－１－７　さまざまな分野での男女平等意識について
（性別・年代別）
『カ　社会通念・慣習・しきたりなど』



『社会通念・慣習・しきたりなど』について、性別でみると、「男性の方が優遇されている」は女性（40.7%）が約４割と、男性（23.6%）を 17.1 ポイント上回っている。

年代別でみると、「平等である」は 10 代・20 代（24.2%）が２割台半ば近くと高くなっており、全体（12.4%）を 11.8 ポイント上回っている。（**図４－１－７**）

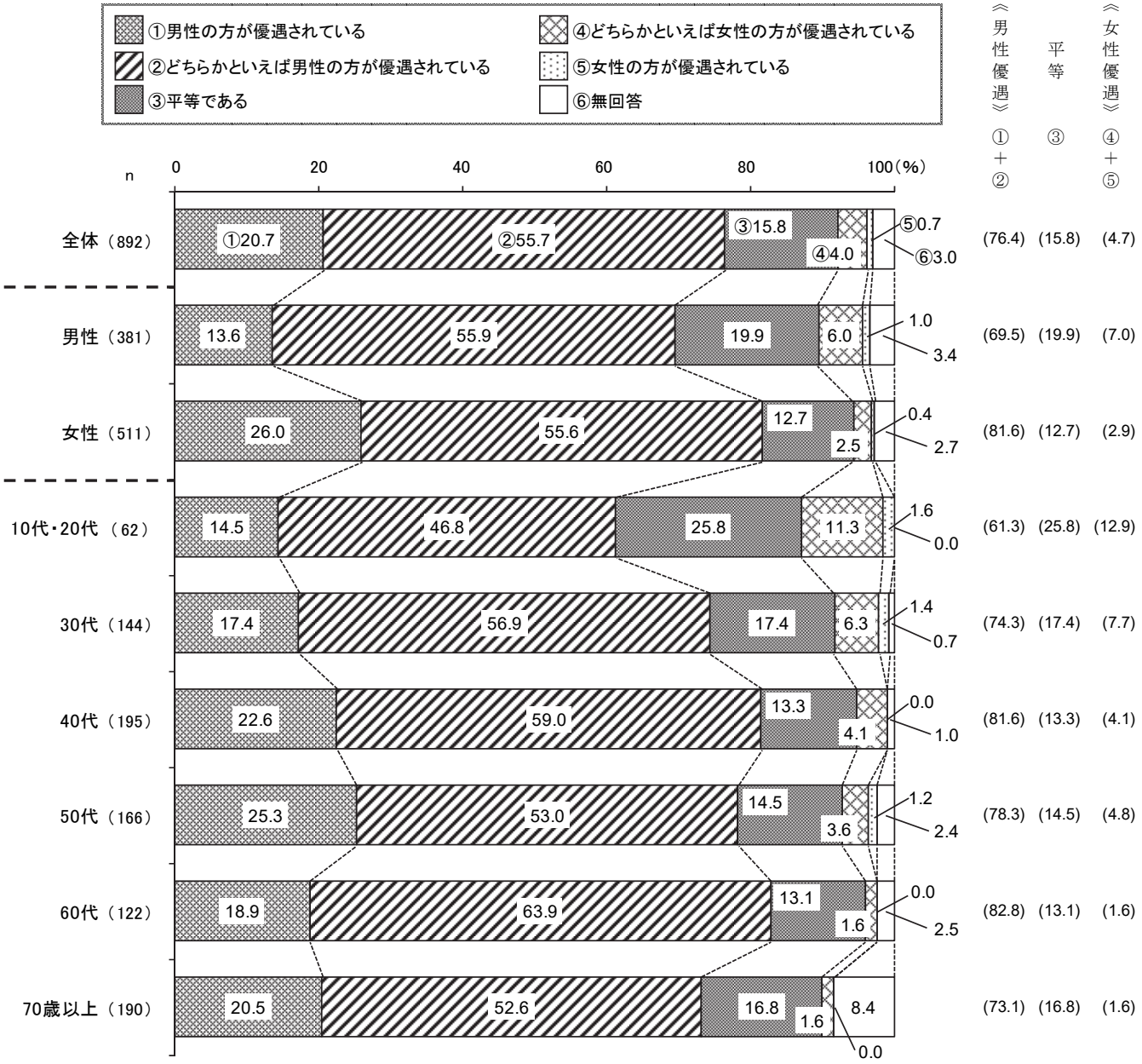
図４－１－８　さまざまな分野での男女平等意識について
（性別・年代別）
『キ　地域活動の場で』



『地域活動の場で』について、性別でみると、《男性優遇》は女性（47.9%）が４割台半ばを超えて、男性（36.5%）を 11.4 ポイント上回っている。

年代別でみると、「平等である」は 10 代・20 代(59.7%)が６割弱と高くなっており、全体(44.1%)を 15.6 ポイント上回っている。（**図４－１－８**）

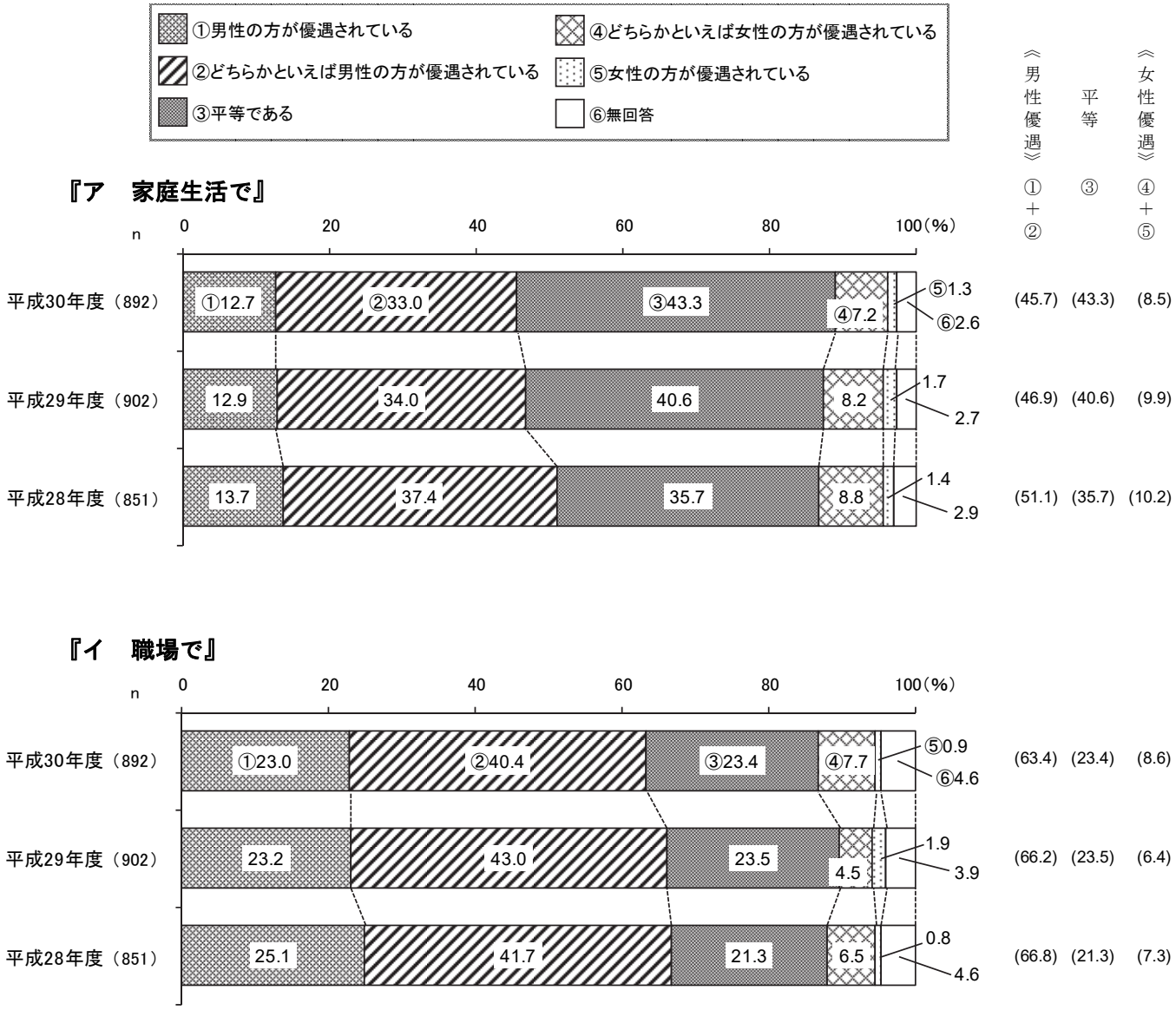
図４－１－９　さまざまな分野での男女平等意識について
（性別・年代別）
『ク　社会全体として』



『社会全体として』について、性別でみると、《男性優遇》は女性（81.6%）が８割強と、男性（69.5%）を 12.1 ポイント上回っている。

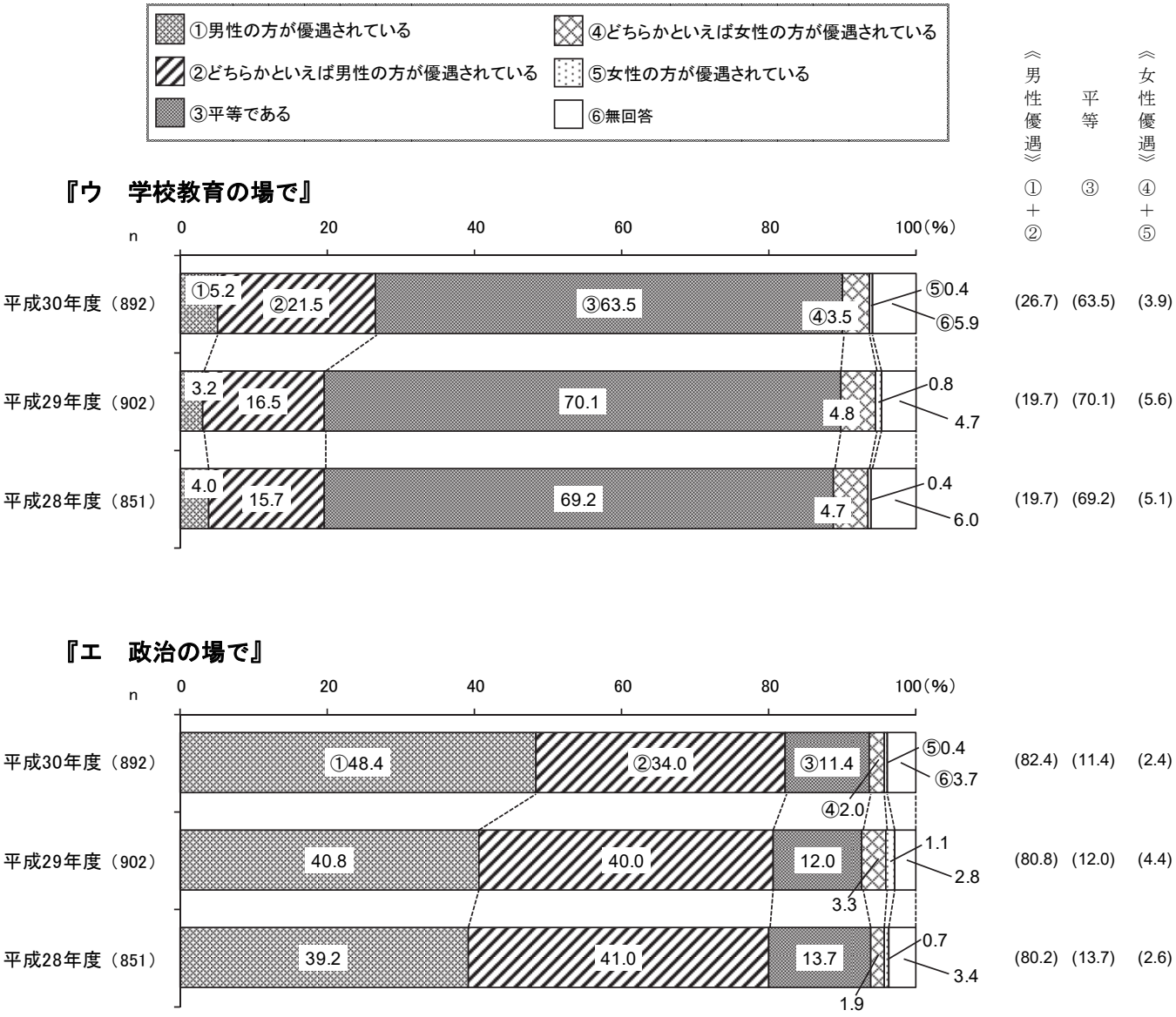
年代別でみると、《男性優遇》は 10 代・20 代（61.3%）が６割強と低くなっており、全体（76.4%）を 15.1 ポイント下回っている。（**図４－１－９**）

図４－１－10　さまざまな分野での男女平等意識について
（経年推移）
『ア　家庭生活で』・『イ　職場で』



過去３年間の経年推移をみると、『家庭生活で』、『職場で』ともに《男性優遇》の割合が低くなっている。（**図４－１－10**）

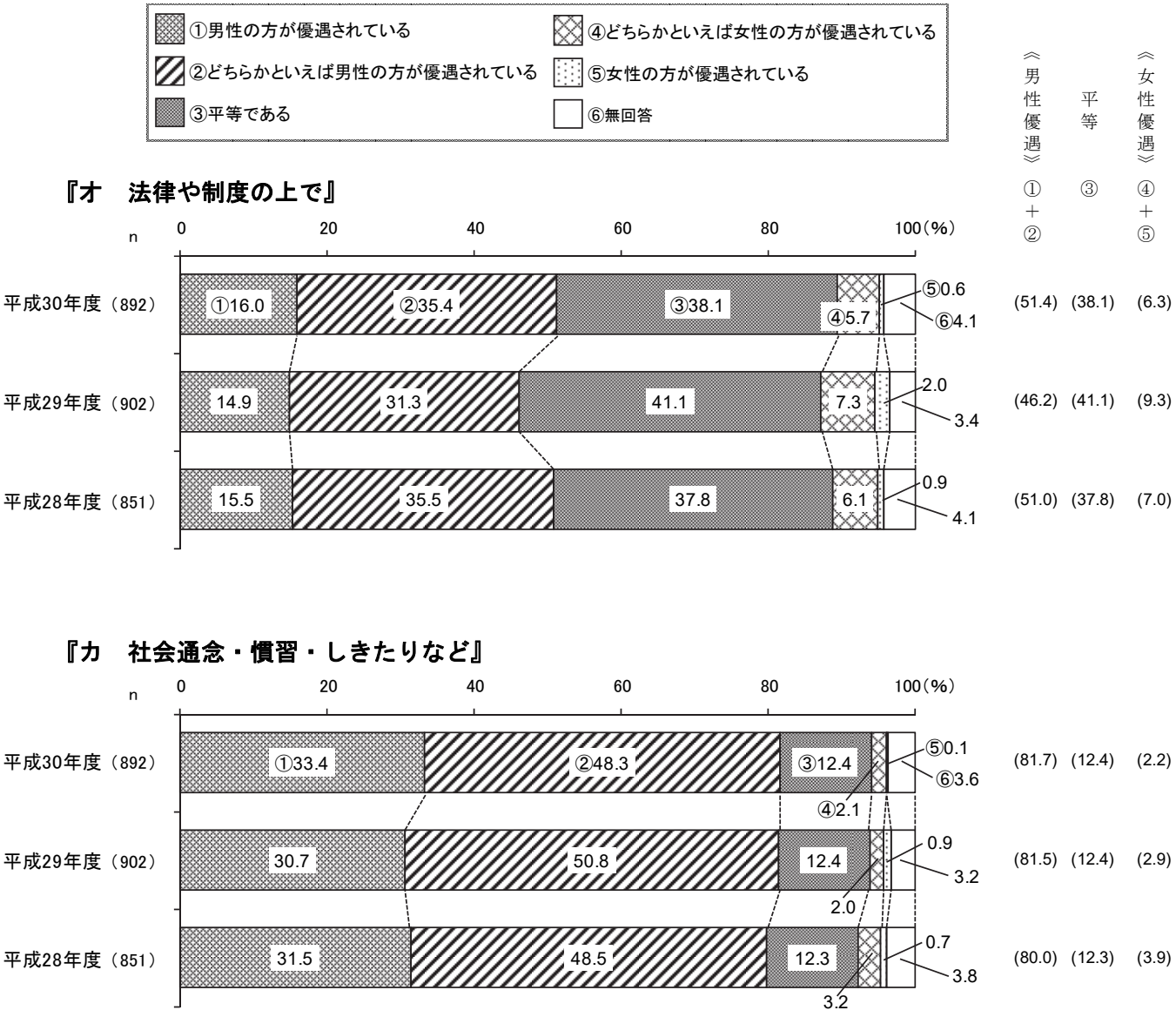
図４－１－11　さまざまな分野での男女平等意識について
（経年推移）
『ウ　学校教育の場で』・『エ　政治の場で』



過去３年間の経年推移をみると、『学校教育の場で』では《男性優遇》について、平成 28 年度（19.7%）から平成 30 年度（26.7%）にかけて 7.0 ポイント高くなっている。

『政治の場で』では《男性優遇》の割合が年々高くなっている。（**図４－１－11**）

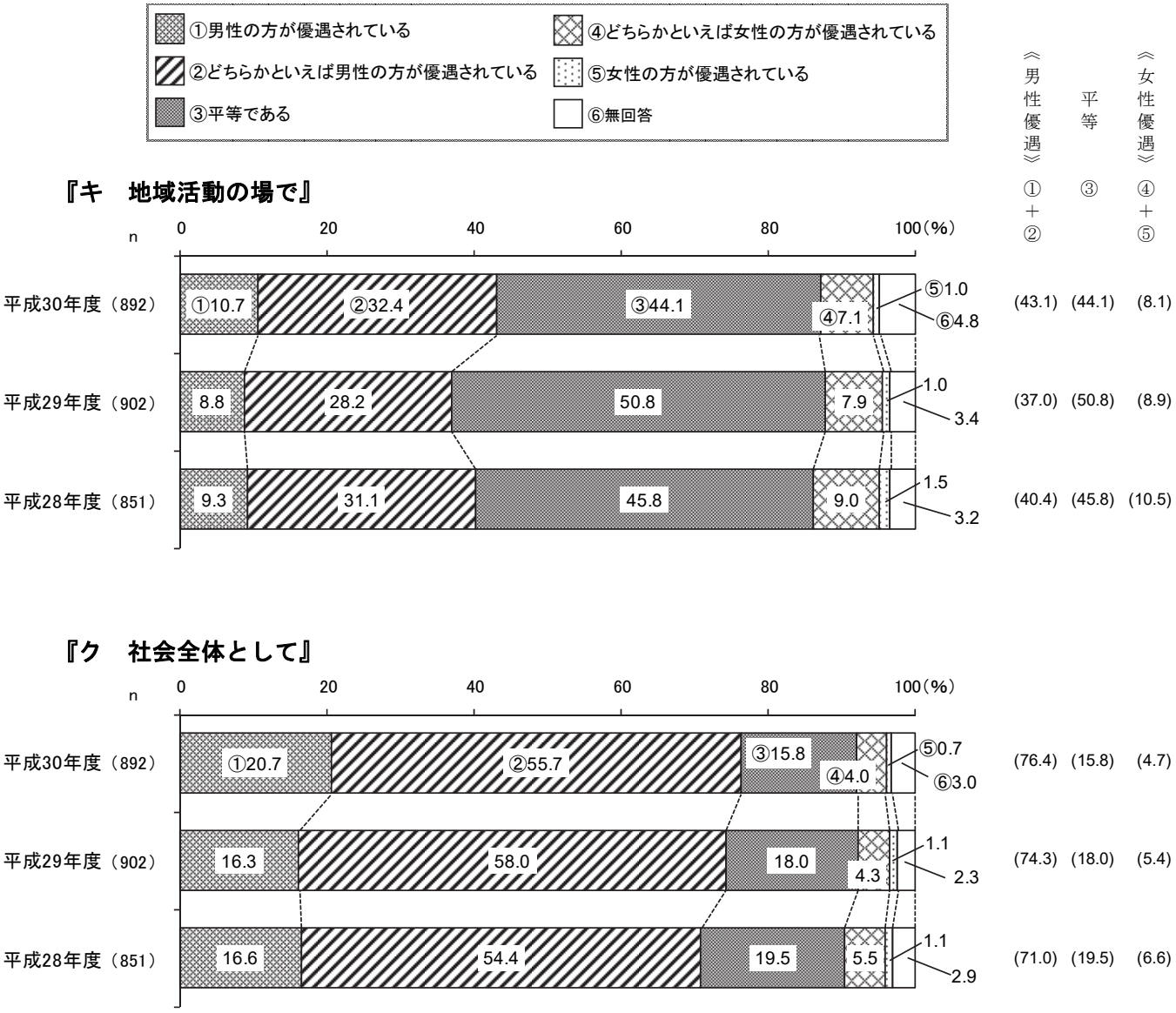
図４－１－12　さまざまな分野での男女平等意識について
（経年推移）
『オ　法律や制度の上で』・『カ　社会通念・慣習・しきたりなど』



過去３年間の経年推移をみると、『法律や制度の上で』では《男性優遇》について、平成 28 年度（51.0%）から平成 29 年度（46.2%）にかけて 4.8 ポイント低くなり、平成 30 年度（51.4%）は平成 28 年度と同程度になっている。

『社会通念・慣習・しきたりなど』では割合に大きな変化はみられない。（**図４－１－12**）

図４－１－13　さまざまな分野での男女平等意識について
（経年推移）
『キ　地域活動の場で』・『ク　社会全体として』



過去３年間の経年推移をみると、『地域活動の場で』では《男性優遇》について、平成 29 年度（37.0%）から平成 30 年度（43.1%）にかけて 6.1 ポイント高くなっている。

『社会全体として』では《男性優遇》の割合が年々高くなっている。（**図４－１－13**）

（２）男女共同参画に関する言葉について

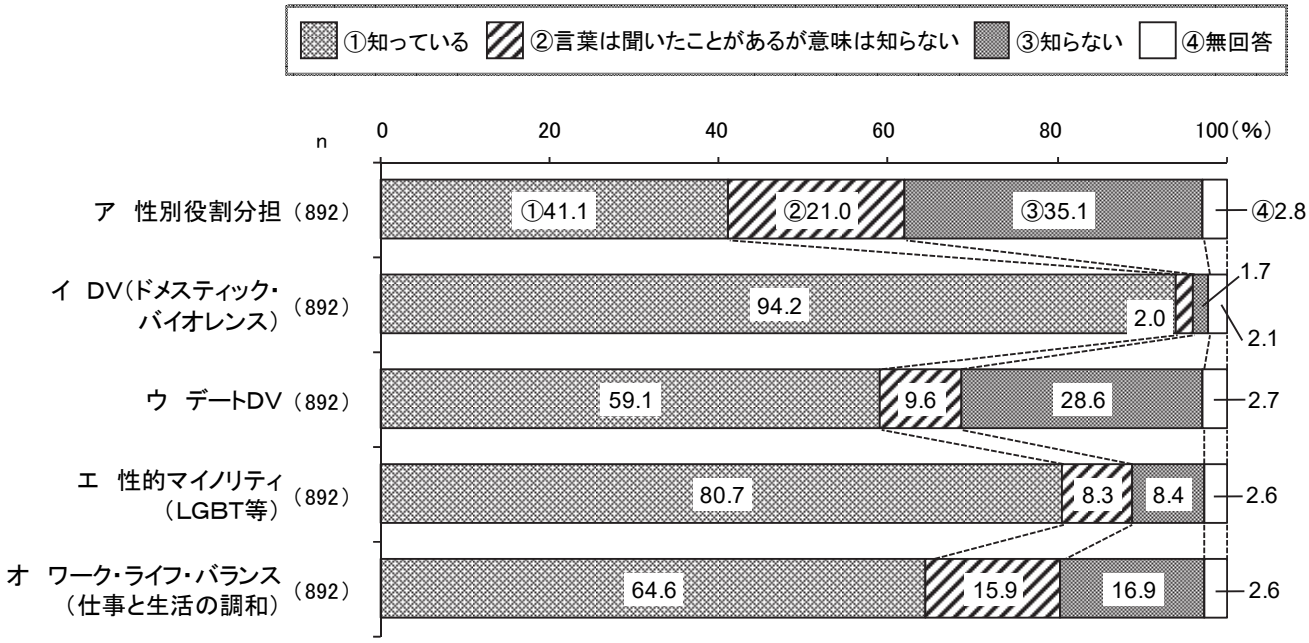
◎「知っている」と思う方が多いのは『ＤＶ（ドメスティック・バイオレンス)』で９割台半ば近く、『性的マイノリティ（ＬＧＢＴ等)』が約８割

問１７　男女共同参画に関する以下の言葉についてご存じですか。
（ア～オそれぞれで、１～３に１つだけ○をつけてください）

（n=892）

	知っている	言葉は聞いたことがあるが意味は知らない	知らない	無回答
ア　性別役割分担	41.1%	21.0%	35.1%	2.8%
イ　ＤＶ（ドメスティック・バイオレンス）	94.2	2.0	1.7	2.1
ウ　デートＤＶ	59.1	9.6	28.6	2.7
エ　性的マイノリティ（ＬＧＢＴ等）	80.7	8.3	8.4	2.6
オ　ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	64.6	15.9	16.9	2.6

図４－２　男女共同参画に関する言葉について



男女共同参画に関する言葉について、「知っている」は『ＤＶ（ドメスティック・バイオレンス)』（94.2%）が９割台半ば近くで最も高く、次いで『性的マイノリティ（ＬＧＢＴ等)』（80.7%）が約８割となっている。一方、「知らない」は『性別役割分担』（35.1%）が３割台半ばと高くなっている。（図４－２）

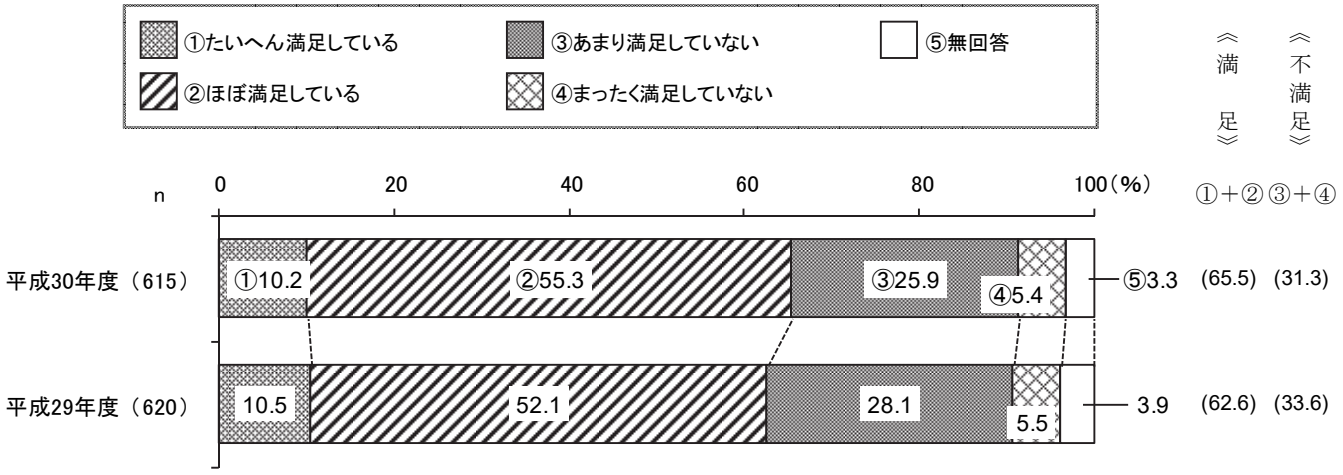
（３）仕事と生活のバランスの満足度

◎現在の仕事と生活のバランスに《満足》が６割台半ば

問１８　働いているすべての方にお伺いします。
あなたは、現在の仕事と生活のバランスに満足していますか。（○は１つ）

	（n=615）
1　たいへん満足している	10.2%
2　ほぼ満足している	55.3
3　あまり満足していない	25.9
4　まったく満足していない	5.4
無回答	3.3

図４－３　仕事と生活のバランスの満足度
（経年推移）



仕事と生活のバランスの満足度について、《満足》（「たいへん満足している」＋「ほぼ満足している」）（65.5%）が６割台半ば、《不満足》（「あまり満足していない」＋「まったく満足していない」）（31.3%）が３割強となっている。

前回の調査結果（平成 29 年度区政モニターアンケート調査）と比較すると、《満足》（65.5%）が前回（62.6%）より 2.9 ポイント高くなっている。（**図４－３**）

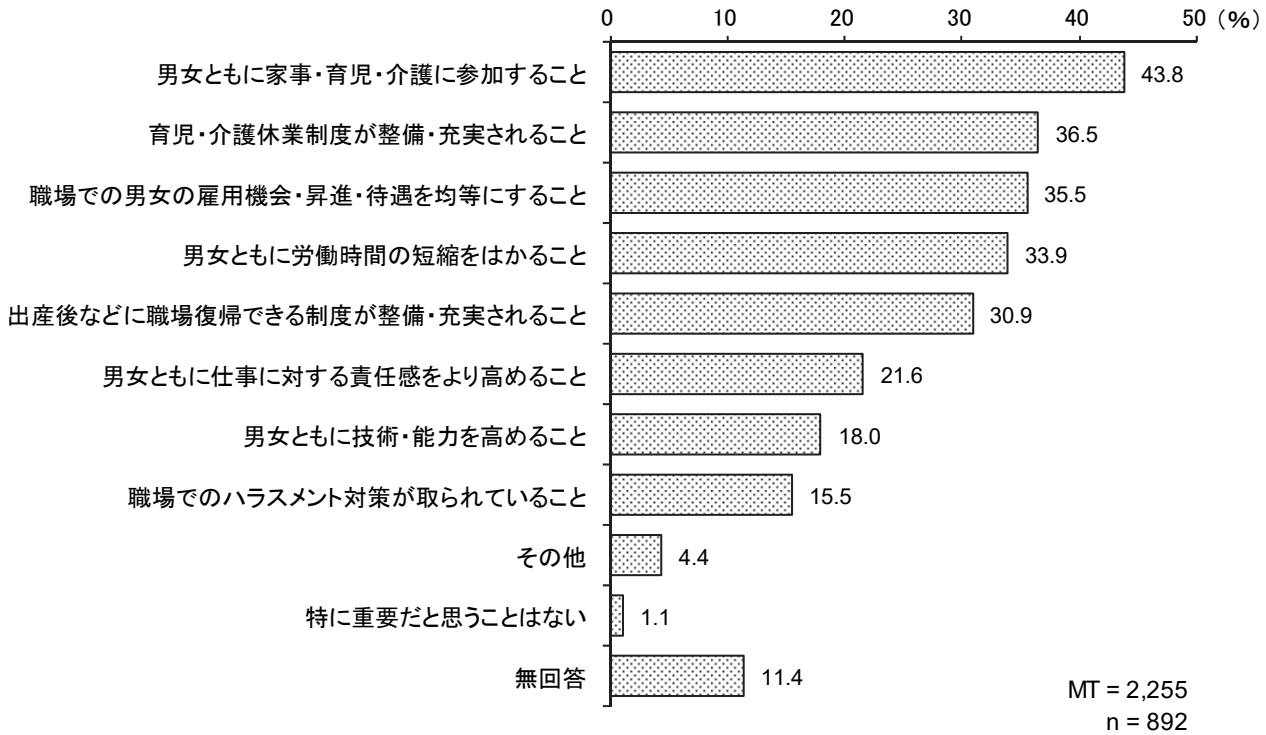
（４）男女とも働きやすい環境づくりについて

◎「男女ともに家事・育児・介護に参加すること」が４割台半ば近く

問１９　男女とも働きやすい環境をつくるためには、どのようなことが重要だと思いますか。
（あてはまるものに３つまで○をつけてください）

		（n=892）
1	男女ともに労働時間の短縮をはかること	33.9%
2	男女ともに家事・育児・介護に参加すること	43.8
3	男女ともに仕事に対する責任感をより高めること	21.6
4	男女ともに技術・能力を高めること	18.0
5	職場での男女の雇用機会・昇進・待遇を均等にすること	35.5
6	職場でのハラスメント対策が取られていること	15.5
7	出産後などに職場復帰できる制度が整備・充実されること	30.9
8	育児・介護休業制度が整備・充実されること	36.5
9	その他	4.4
10	特に重要だと思うことはない	1.1
	無回答	11.4

図４－４　男女とも働きやすい環境づくりについて



男女とも働きやすい環境づくりについて、「男女ともに家事・育児・介護に参加すること」(43.8%)が４割台半ば近くで最も高く、次いで「育児・介護休業制度が整備・充実されること」(36.5%)が３割台半ばを超え、「職場での男女の雇用機会・昇進・待遇を均等にすること」(35.5%)が３割台半ばと続いている。(**図４－４**)

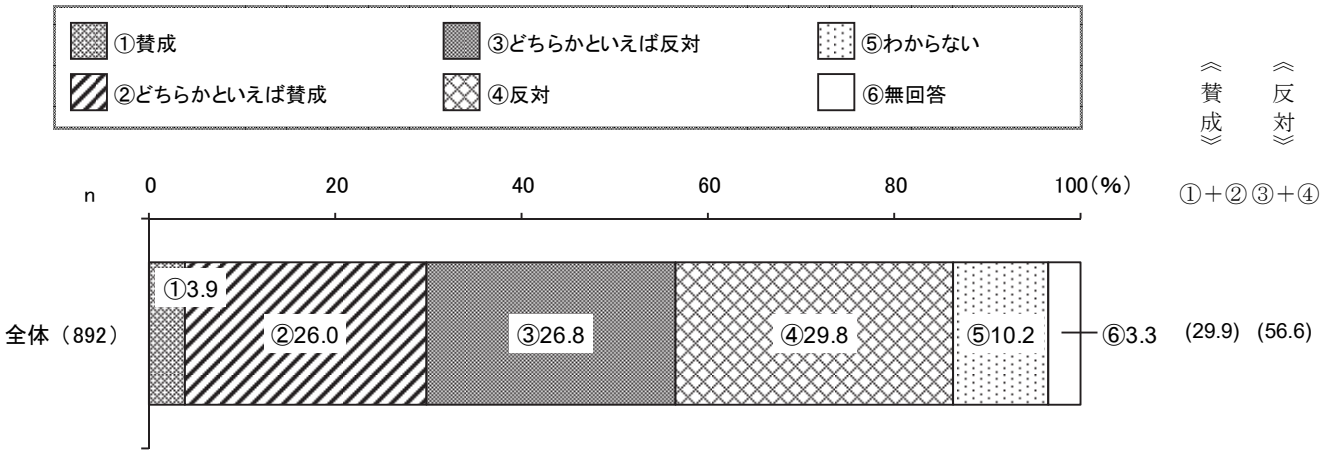
（５）「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について

◎≪反対≫が５割台半ばを超え

問２０　「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という固定的な性別役割分担の考え方について、あなたの考えに近いものは、次のうちどれですか。（○は１つ）

	（n=892）
1　賛成	3.9%
2　どちらかといえば賛成	26.0
3　どちらかといえば反対	26.8
4　反対	29.8
5　わからない	10.2
無回答	3.3

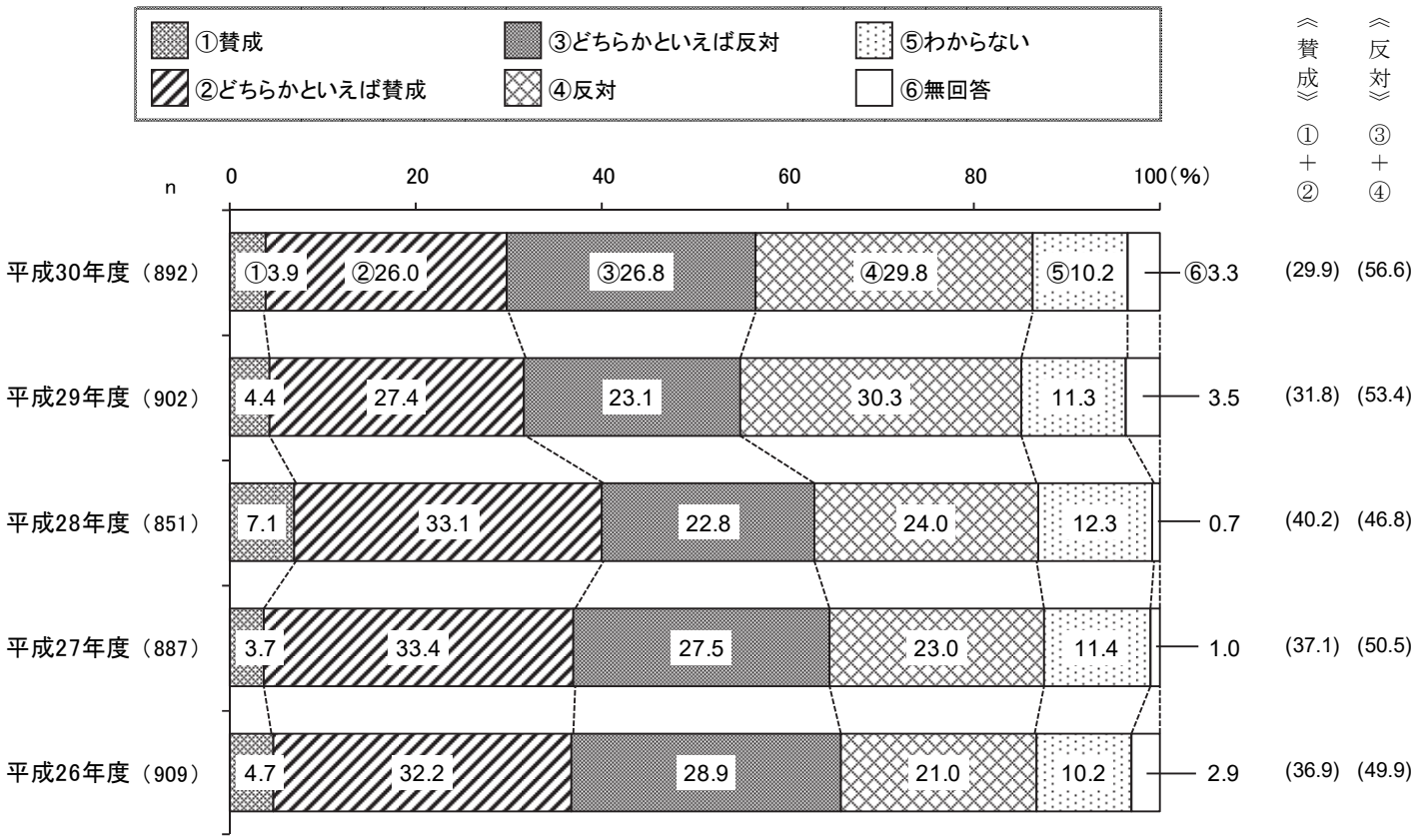
図４－５－１　「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について



「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、「反対」（29.8%）が３割弱で最も高く、次いで「どちらかといえば反対」(26.8%)および「どちらかといえば賛成」(26.0%)がともに２割台半ばを超えている。

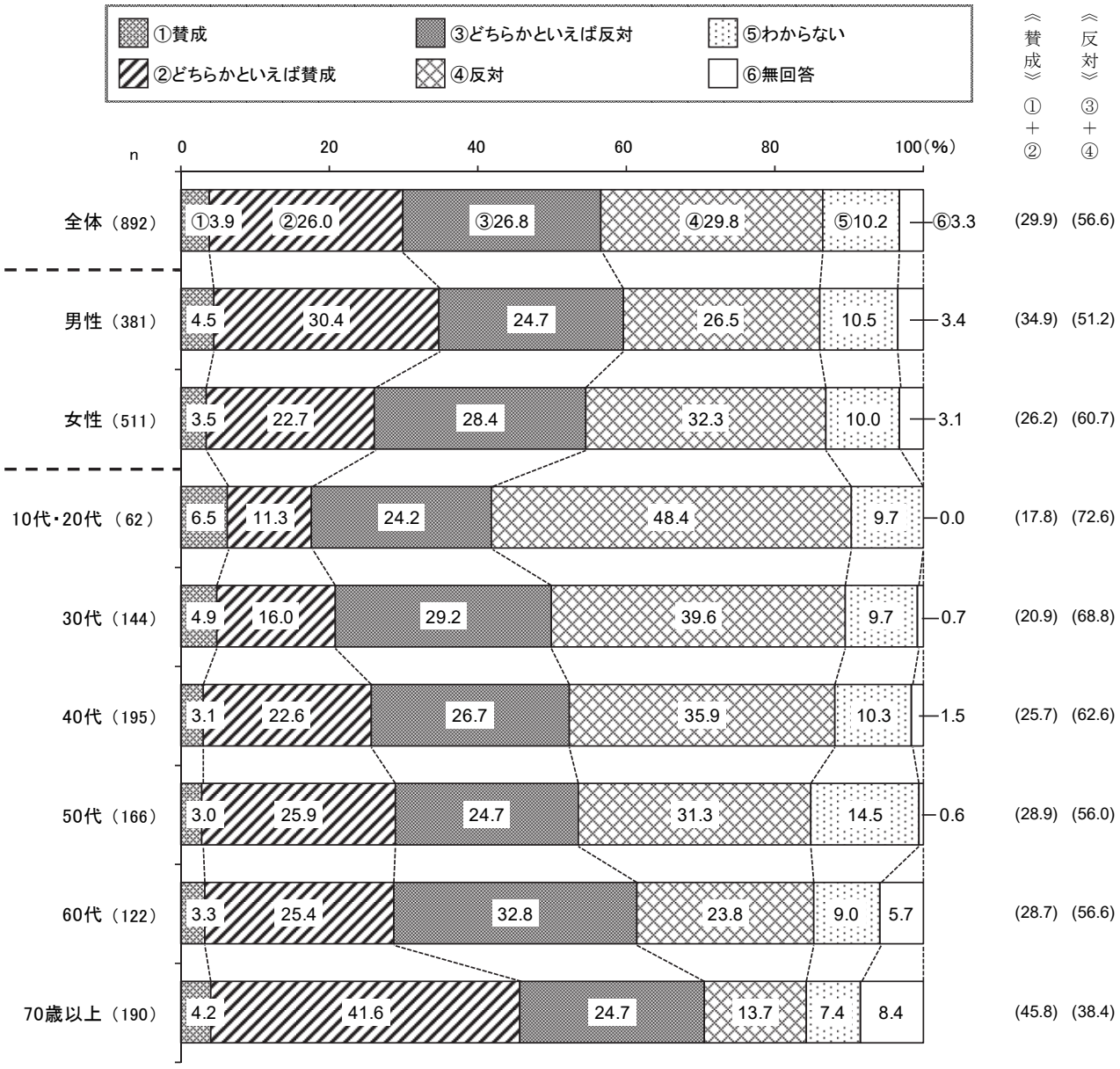
「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に、《賛成》（「賛成」＋「どちらかといえば賛成」）（29.9%）が３割弱、《反対》（「反対」＋「どちらかといえば反対」）（56.6%）が５割台半ばを超えている。（**図４－５－１**）

図４－５－２　「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について（経年推移）



過去５年間の経年推移をみると、《反対》では、平成 26 年度（49.9%）から平成 30 年度（56.6%）へ平成 28 年度（46.8%）を除き年々増加している。（**図４－５－２**）

図４－５－３　「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について（性別・年代別）



性別でみると、《反対》は、女性（60.7%）が約６割と、男性（51.2%）を 9.5 ポイント上回っている。

年代別でみると、《賛成》は 70 歳以上（45.8%）が４割台半ばで最も高く、おおむね年代が高くなるほどその割合が高くなっている。（**図４－５－３**）

（６）ＤＶだと思う行為について

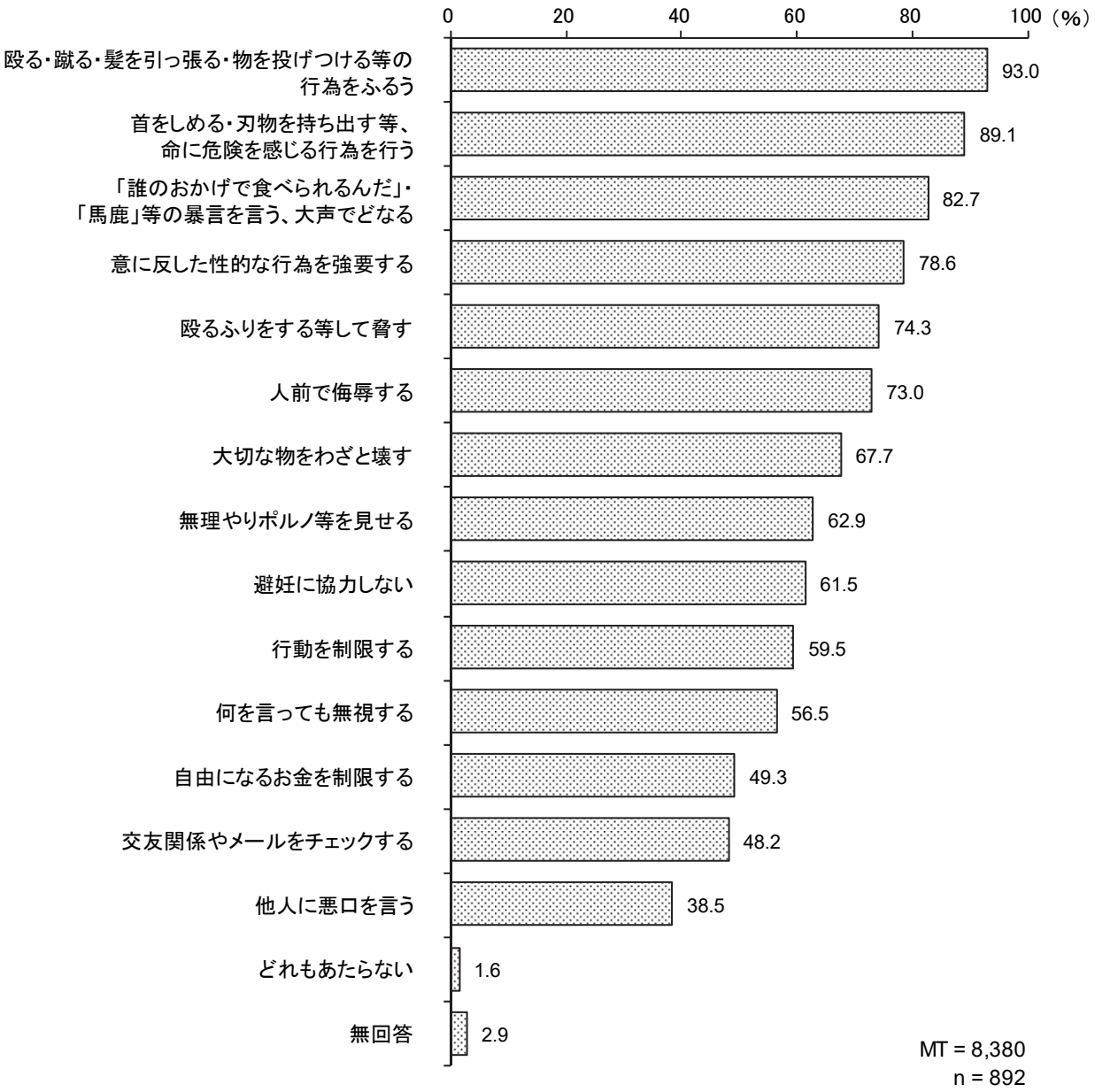
◎「殴る・蹴る・髪を引っ張る・物を投げつける等の行為をふるう」が９割台半ば近く

問２１　ドメスティック・バイオレンス（配偶者等からの暴力。以下、「ＤＶ」という）について、ＤＶだと思う行為は次のうちどれですか。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

（n=892）

1	何を言っても無視する	56.5%
2	行動を制限する	59.5
3	交友関係やメールをチェックする	48.2
4	「誰のおかげで食べられるんだ」・「馬鹿」等の暴言を言う、大声でどなる	82.7
5	人前で侮辱する	73.0
6	他人に悪口を言う	38.5
7	大切な物をわざと壊す	67.7
8	殴るふりをする等して脅す	74.3
9	殴る・蹴る・髪を引っ張る・物を投げつける等の行為をふるう	93.0
10	首をしめる・刃物を持ち出す等、命に危険を感じる行為を行う	89.1
11	自由になるお金を制限する	49.3
12	意に反した性的な行為を強要する	78.6
13	無理やりポルノ等を見せる	62.9
14	避妊に協力しない	61.5
15	どれもあたらない	1.6
	無回答	2.9

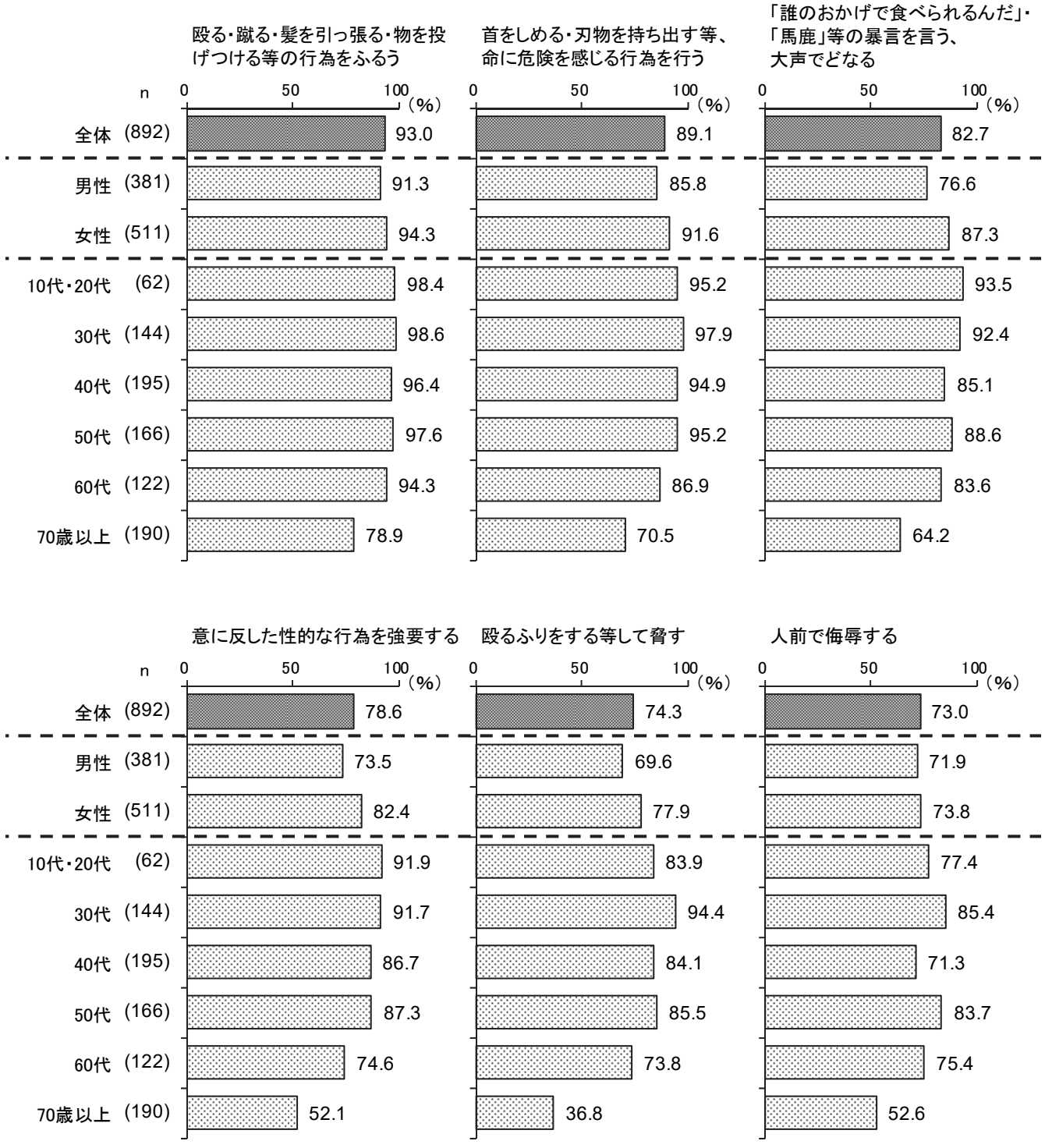
図４－６－１　ＤＶだと思う行為について



ドメスティック・バイオレンスにあたる行為としては、「殴る・蹴る・髪を引っ張る・物を投げつける等の行為をふるう」（93.0%）が９割台半ば近くで最も高く、次いで「首をしめる・刃物を持ち出す等、命に危険を感じる行為を行う」（89.1%）が９割弱、「「誰のおかげで食べられるんだ」・「馬鹿」等の暴言を言う、大声でどなる」（82.7%）が８割強と続いている。

全体で最も低い「他人に悪口を言う」（38.5%）は４割近くとなっている。（**図４－６－１**）

図４－６－２　ＤＶだと思う行為について
（性別・年代別）
上位６項目



上位６項目について、性別でみると、女性が男性に比べ割合が高く、特に「「誰のおかげで食べられるんだ」・「馬鹿」等の暴言を言う、大声でどなる」は女性（87.3%）が８割台半ばを超えて、男性（76.6%）を 10.7 ポイント上回っている。

年代別でみると、すべての項目で 70 歳以上が最も低い割合となっている。特に「殴るふりをする等して脅す」は 70 歳以上（36.8%）が４割未満と低くなっている。（**図４－６－２**）

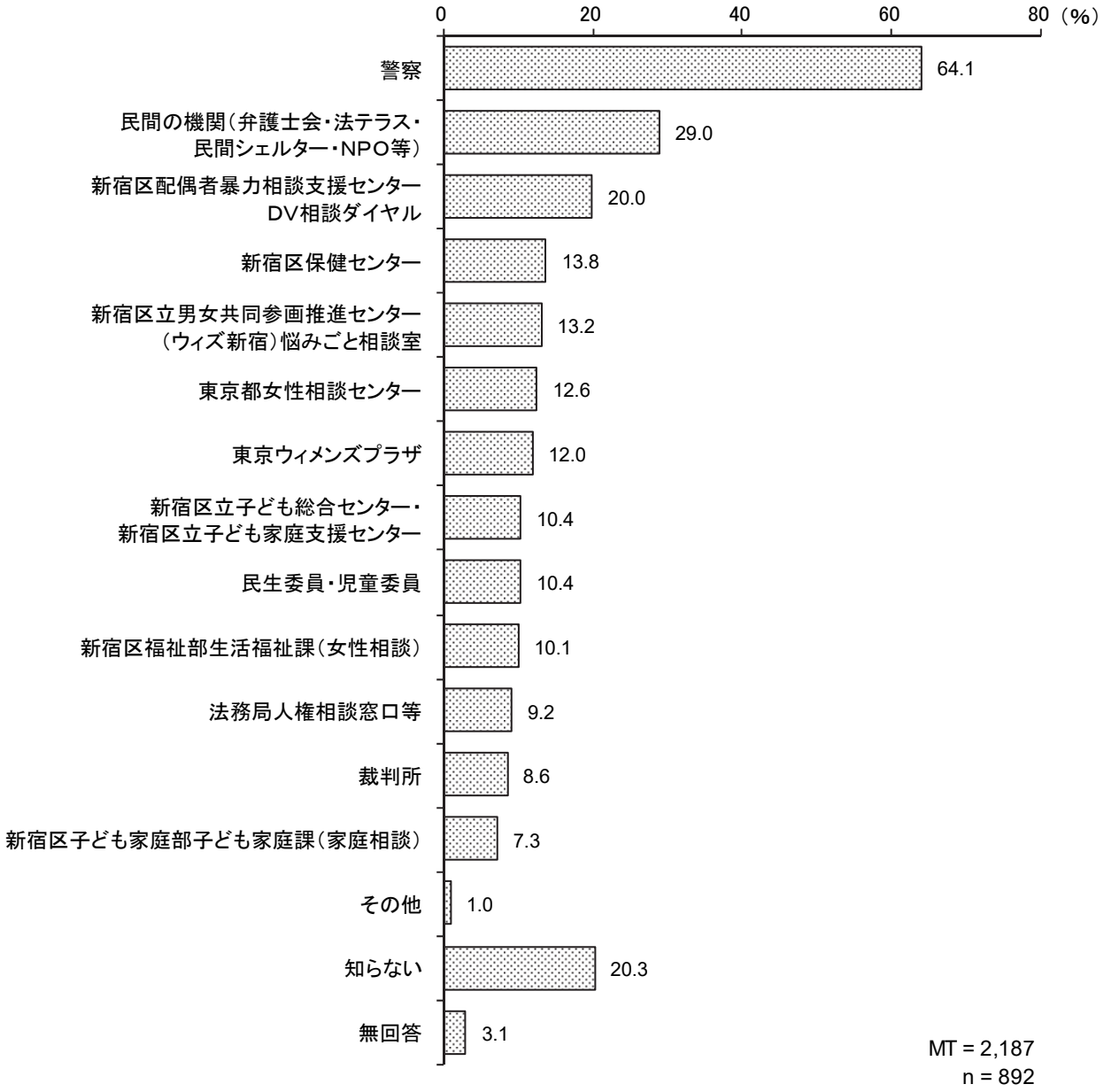
（７）ＤＶについての相談機関の窓口について

◎「警察」が６割台半ば近く

問２２　ＤＶについての相談機関の窓口をご存じですか。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

		（n=892）
1	新宿区配偶者暴力相談支援センターＤＶ相談ダイヤル	20.0%
2	新宿区立男女共同参画推進センター（ウィズ新宿）悩みごと相談室	13.2
3	新宿区福祉部生活福祉課（女性相談）	10.1
4	新宿区子ども家庭部子ども家庭課（家庭相談）	7.3
5	新宿区立子ども総合センター・新宿区立子ども家庭支援センター	10.4
6	新宿区保健センター	13.8
7	東京都女性相談センター	12.6
8	東京ウィメンズプラザ	12.0
9	警察	64.1
10	法務局人権相談窓口等	9.2
11	裁判所	8.6
12	民間の機関（弁護士会・法テラス・民間シェルター・ＮＰＯ等）	29.0
13	民生委員・児童委員	10.4
14	その他	1.0
15	知らない	20.3
	無回答	3.1

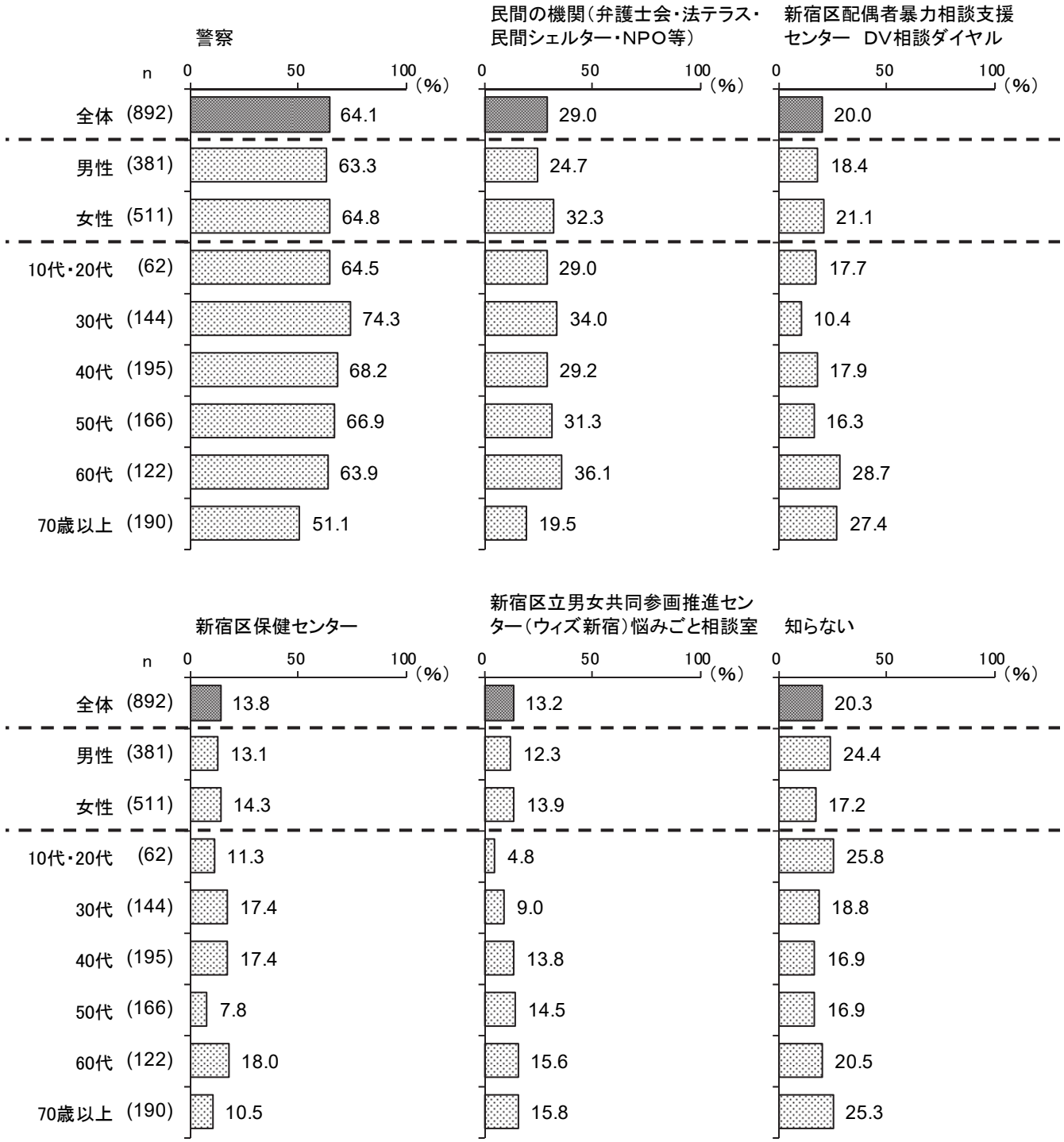
図４－７－１　ＤＶについての相談機関の窓口について



ＤＶについての相談機関の窓口について、「警察」（64.1%）が６割台半ば近くで最も高くなっている。次いで「民間の機関（弁護士会・法テラス・民間シェルター・ＮＰＯ等）」（29.0%）が３割弱、「新宿区配偶者暴力相談支援センター　ＤＶ相談ダイヤル」（20.0%）が２割となっている。

一方、「知らない」（20.3%）が約２割となっている。（**図４－７－１**）

図４－７－２　ＤＶについての相談機関の窓口について
（性別・年代別）
上位５項目＋「知らない」



上位５項目と「知らない」について、性別でみると、「民間の機関（弁護士会・法テラス・民間シェルター・ＮＰＯ等）」は女性（32.3%）が３割強と、男性（24.7%）を 7.6 ポイント上回っている。

年代別でみると、「警察」は 30 代（74.3%）が７割台半ば近くと高くなっており、全体（64.1%）を 10.2 ポイント上回っている。（**図４－７－２**）

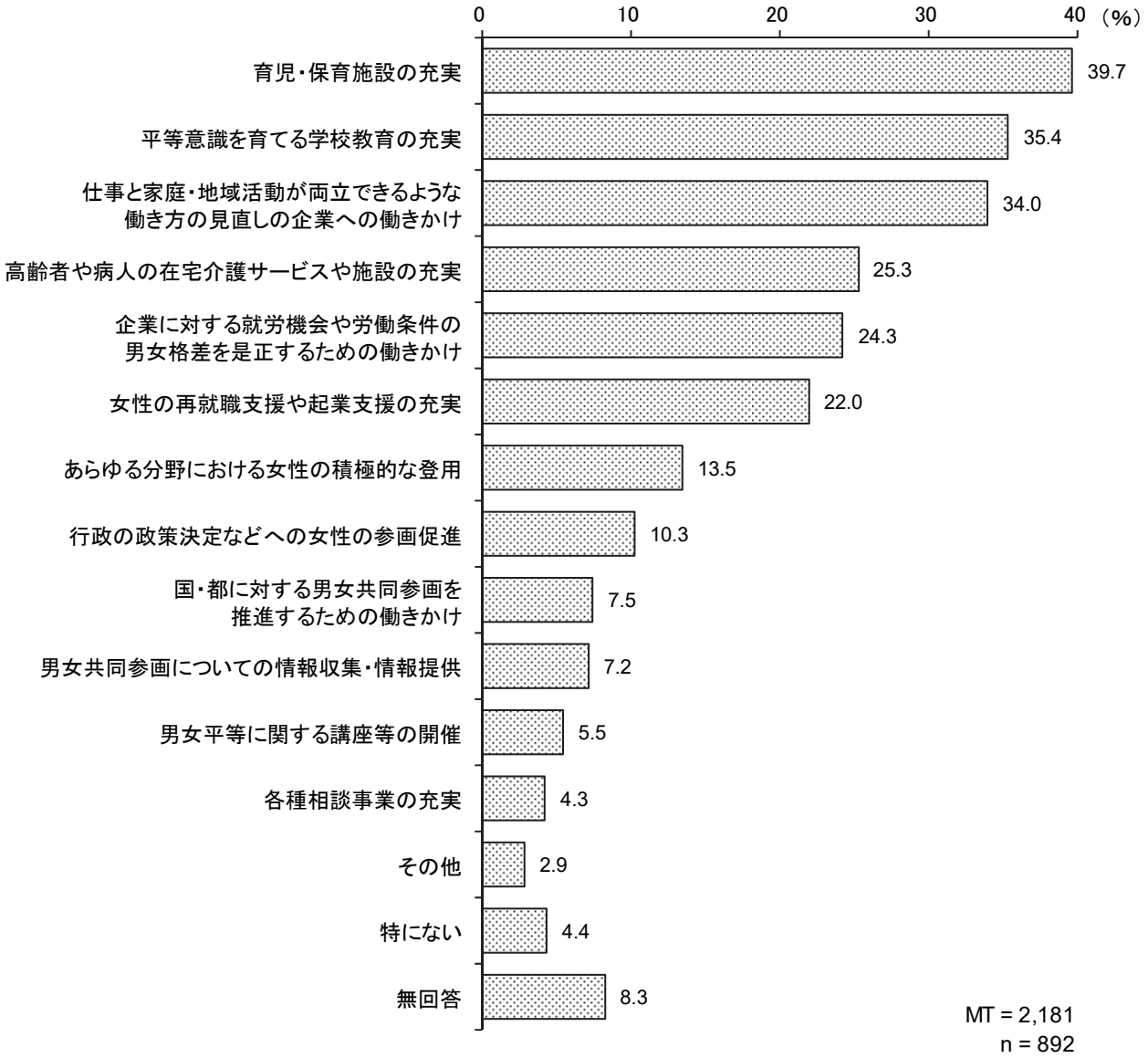
（８）男女共同参画を推進するために必要なことについて

◎「育児・保育施設の充実」が４割弱

問２３　今後、男女共同参画を進めるために、区にどのようなことを期待しますか。
（あてはまるものに３つまで○をつけてください）

		（n=892）
1	平等意識を育てる学校教育の充実	35.4%
2	男女平等に関する講座等の開催	5.5
3	女性の再就職支援や起業支援の充実	22.0
4	企業に対する就労機会や労働条件の男女格差を是正するための働きかけ	24.3
5	仕事と家庭・地域活動が両立できるような働き方の見直しの企業への働きかけ	34.0
6	育児・保育施設の充実	39.7
7	あらゆる分野における女性の積極的な登用	13.5
8	行政の政策決定などへの女性の参画促進	10.3
9	高齢者や病人の在宅介護サービスや施設の充実	25.3
10	各種相談事業の充実	4.3
11	男女共同参画についての情報収集・情報提供	7.2
12	国・都に対する男女共同参画を推進するための働きかけ	7.5
13	その他	2.9
14	特にない	4.4
	無回答	8.3

図４－８　男女共同参画を推進するために必要なことについて



男女共同参画を推進するために必要なことについて、「育児・保育施設の充実」（39.7%）が４割弱で最も高く、次いで「平等意識を育てる学校教育の充実」（35.4%）が３割台半ば、「仕事と家庭・地域活動が両立できるような働き方の見直しの企業への働きかけ」（34.0%）が３割台半ば近くと続いている。（**図４－８**）

テーマ５　歌舞伎町ルネッサンスの推進について

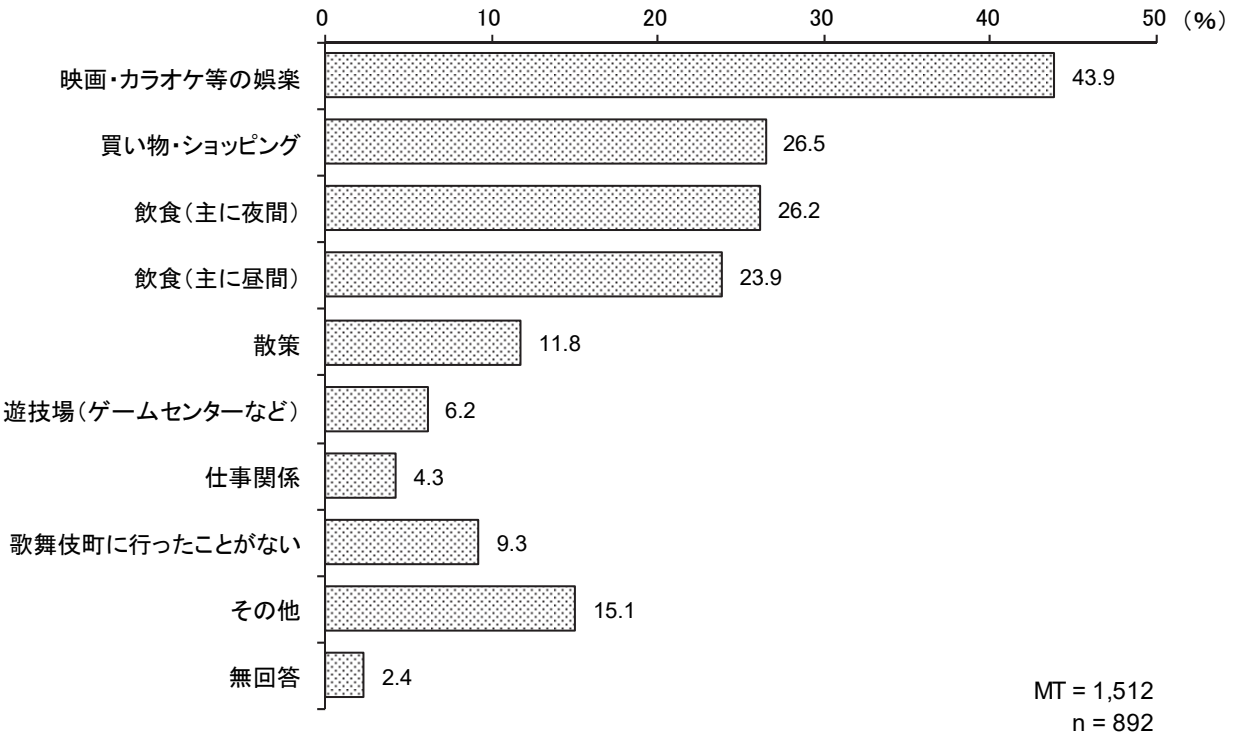
（１）歌舞伎町に行く目的

◎「映画・カラオケ等の娯楽」が４割台半ば近く

問２４　歌舞伎町に行く主な目的は何ですか。
（あてはまるものに３つまで○をつけてください）

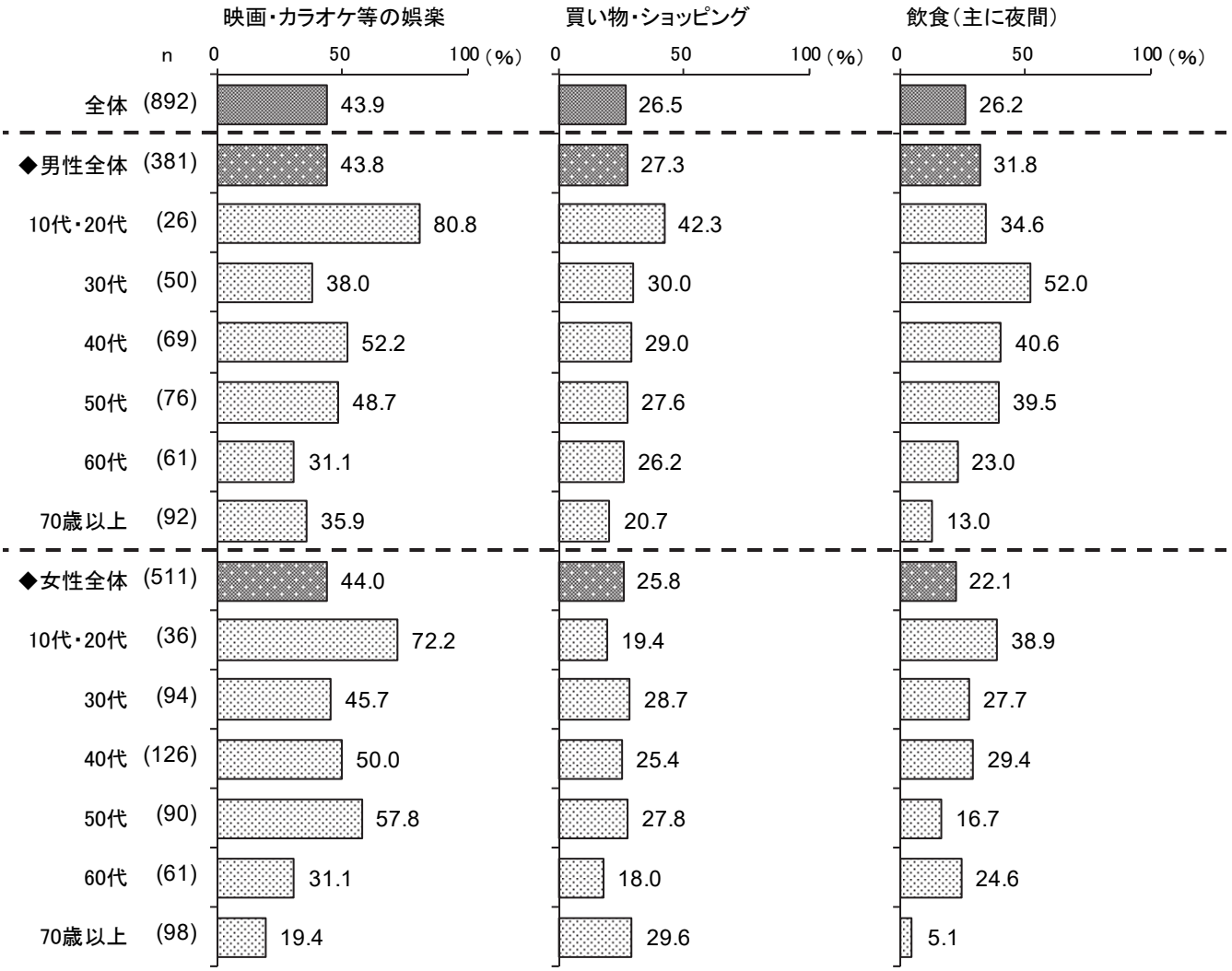
		（n=892）
1	買い物・ショッピング	26.5%
2	映画・カラオケ等の娯楽	43.9
3	散策	11.8
4	遊技場（ゲームセンターなど）	6.2
5	仕事関係	4.3
6	飲食（主に昼間）	23.9
7	飲食（主に夜間）	26.2
8	歌舞伎町に行ったことがない	9.3
9	その他	15.1
	無回答	2.4

図５－１－１　歌舞伎町に行く目的



歌舞伎町に行く目的について、「映画・カラオケ等の娯楽」（43.9%）が４割台半ば近くで最も高く、次いで「買い物・ショッピング」（26.5%）および「飲食（主に夜間）」（26.2%）がともに２割台半ばを超えている。（**図５－１－１**）

図５－１－２　歌舞伎町に行く目的
（性別・性／年代別）
１～３位



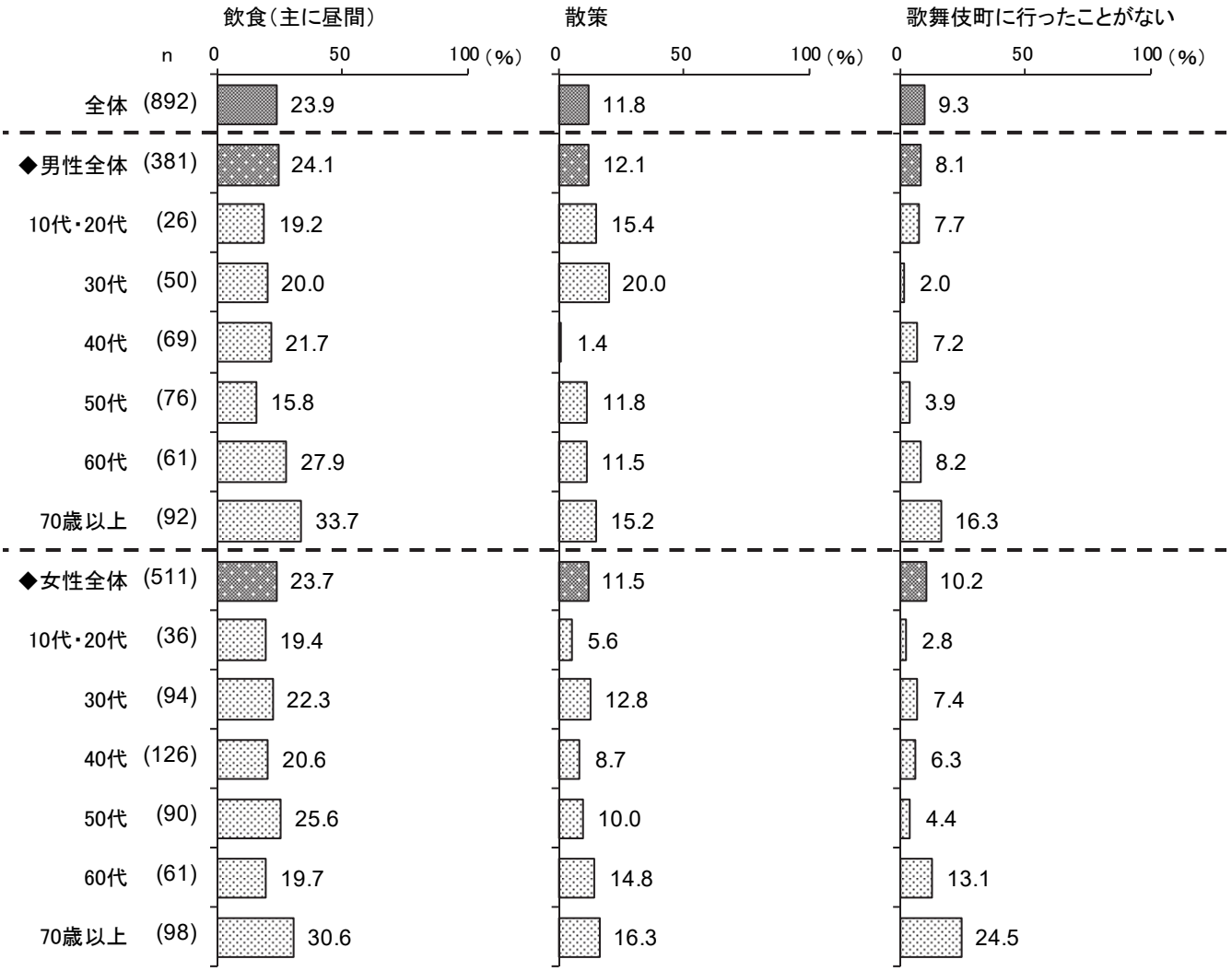
１～３位の項目について、性別でみると、「飲食（主に夜間）」は男性（31.8%）が３割強と、女性（22.1%）を 9.7 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「映画・カラオケ等の娯楽」は男性の 10 代・20 代（80.8%）が約８割、女性の 10 代・20 代（72.2%）が７割強と高くなっている。

「買い物・ショッピング」について、男性は年齢が高くなるほど、その割合が低くなり、男性の 10 代・20 代（42.3%）が４割強なのに対し、男性の 70 歳以上（20.7%）が約２割となっている。

「飲食（主に夜間）」は男性の 30 代（52.0%）が５割強と、全体（26.2%）を 25.8 ポイント上回っている。（**図５－１－２**）

図５－１－３　歌舞伎町に行く目的
（性別・性／年代別）
４～５位＋「歌舞伎町に行ったことがない」



４～５位の項目と「歌舞伎町に行ったことがない」について、性別でみると、男女の割合に大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「飲食（主に昼間）」は男性の 70 歳以上（33.7%）が３割台半ば近くと最も高くなっている。

「散策」は男性の 40 代（1.4%）が１割未満と、全体（11.8%）を 10.4 ポイント下回っている。

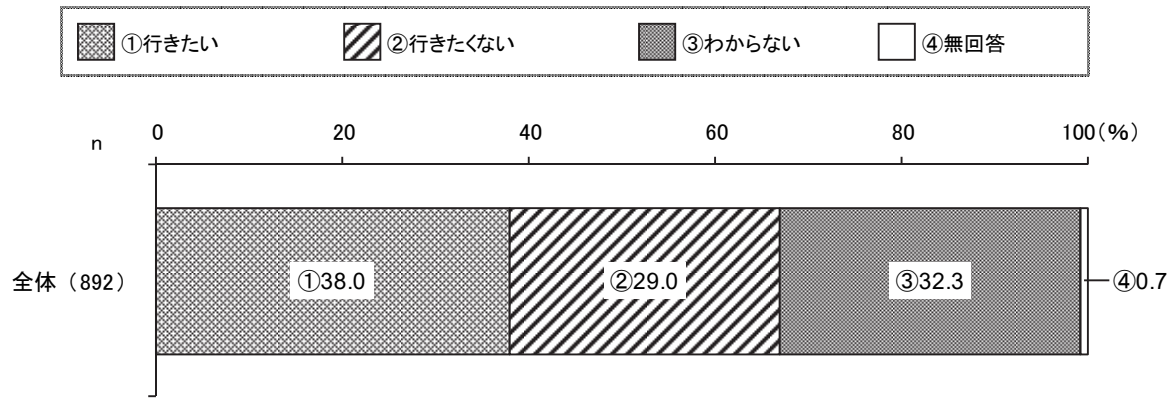
「歌舞伎町に行ったことがない」は女性の 70 歳以上(24.5%)が２割台半ば近くと、全体(9.3%)を 15.2 ポイント上回っている。（**図５－１－３**）

（２）今後の、歌舞伎町への来街意向

◎今後、「行きたい」が４割近く、「行きたくない」が３割弱

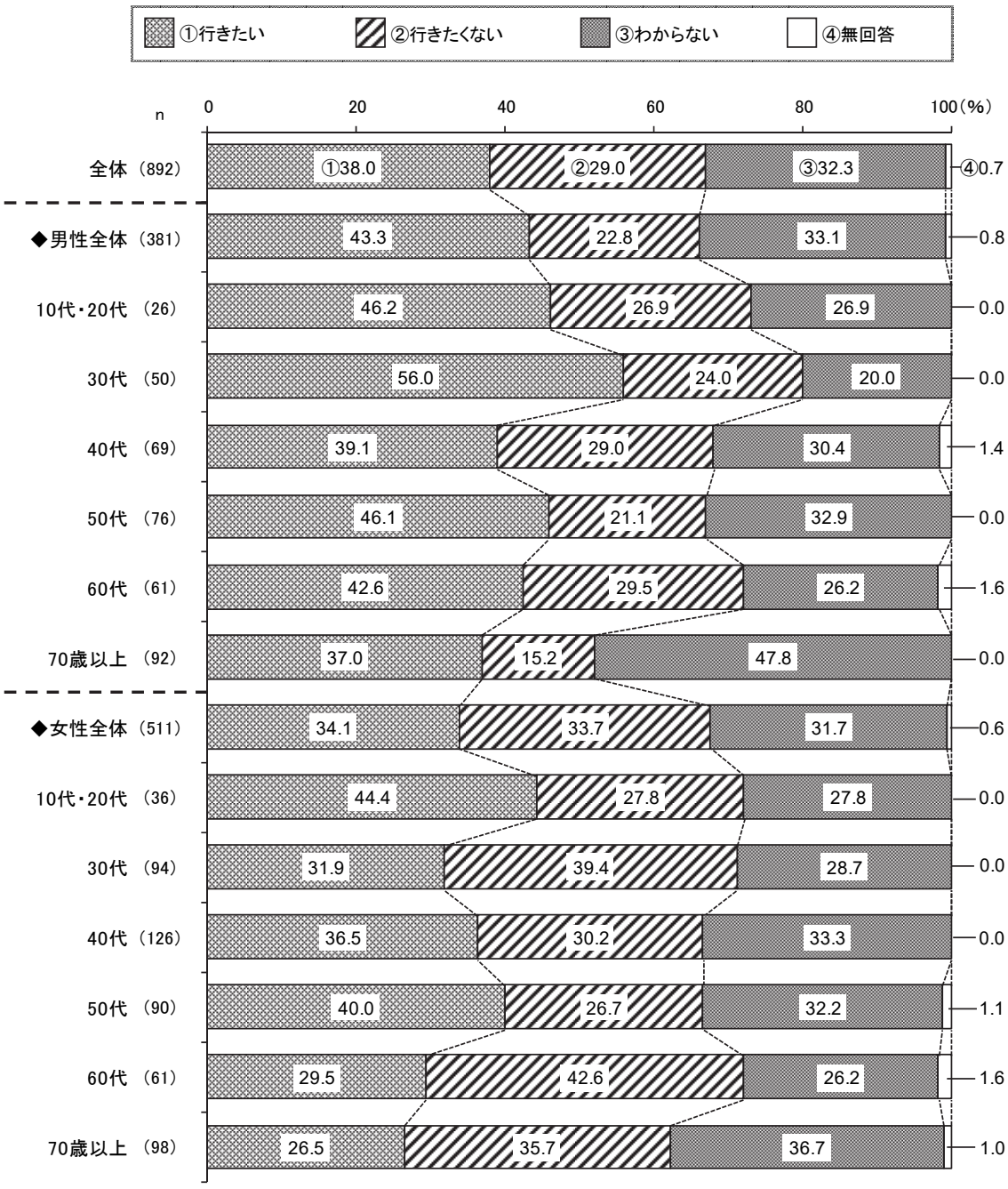
問２５　あなたは今後、歌舞伎町へ行きたいと思いますか。（○は１つ）	
	（n=892）
1　行きたい	38.0%
2　行きたくない	29.0
3　わからない	32.3
無回答	0.7

図５－２－１　今後の、歌舞伎町への来街意向



今後の、歌舞伎町への来街意向について、「行きたい」（38.0%）が４割近く、「行きたくない」（29.0%）が３割弱、「わからない」（32.3%）が３割強となっている。（**図５－２－１**）

図５－２－２　今後の、歌舞伎町への来街意向
（性別・性／年代別）



性別でみると、「行きたい」は男性（43.3%）が４割台半ば近くと、女性（34.1%）を 9.2 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「行きたい」は男性の 30 代（56.0%）が５割台半ばを超えて最も高くなっている。（**図５－２－２**）

表５－２－１　今後の、歌舞伎町への来街意向
「行きたい」・「行きたくない」
（性別・性／年代別　経年推移）

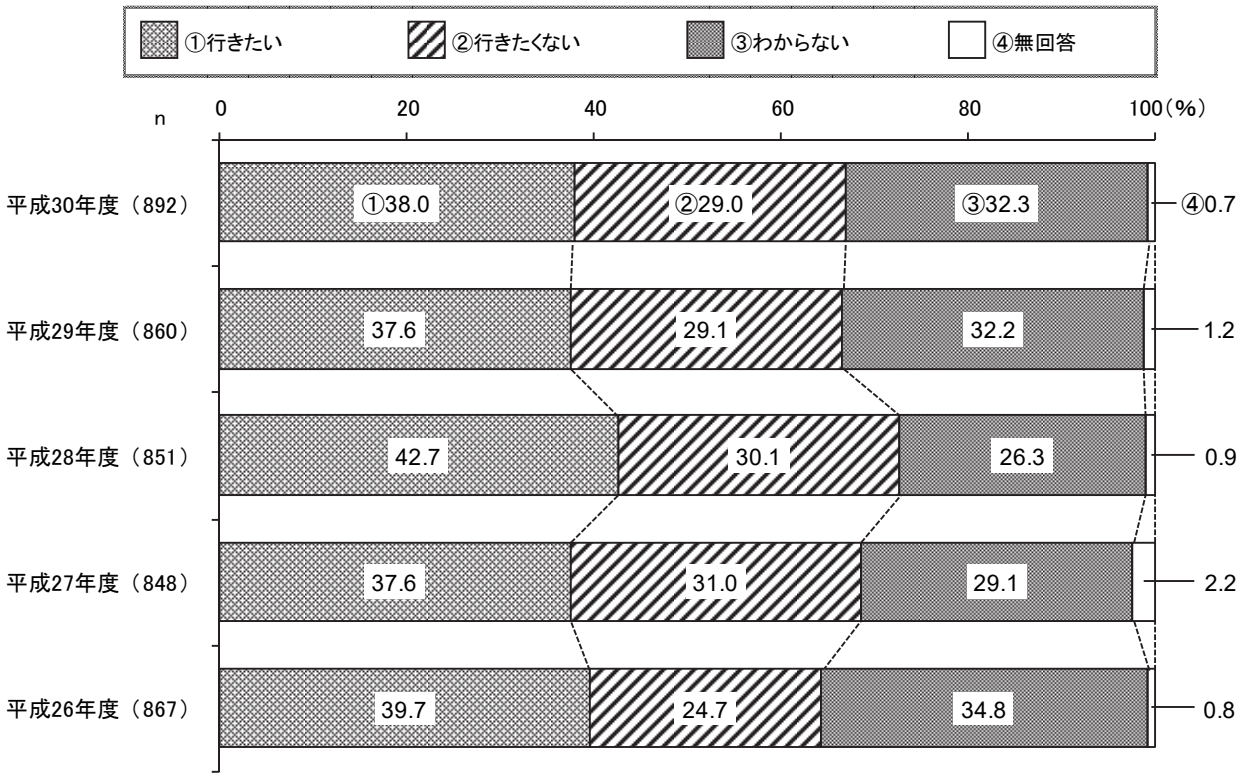
（平成30年度：n=892、平成29年度：n=860）

項目	年次	全体	性別	年次	各性別全体	10代・20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
行きたい	平成30年度	38.0	男性	平成30年度	43.3	46.2	56.0	39.1	46.1	42.6	37.0
	平成29年度	37.6		平成29年度	46.6	37.0	61.2	45.8	53.4	44.4	38.4
	増減	+0.4		増減	-3.3	+9.2	-5.2	-6.7	-7.3	-1.8	-1.4
			女性	平成30年度	34.1	44.4	31.9	36.5	40.0	29.5	26.5
				平成29年度	31.7	36.2	39.3	34.8	29.2	22.2	25.5
				増減	+2.4	+8.2	-7.4	+1.7	+10.8	+7.3	+1.0
行きたくない	平成30年度	29.0	男性	平成30年度	22.8	26.9	24.0	29.0	21.1	29.5	15.2
	平成29年度	29.1		平成29年度	23.7	44.4	24.5	20.3	27.6	24.1	17.8
	増減	-0.1		増減	-0.9	-17.5	-0.5	+8.7	-6.5	+5.4	-2.6
			女性	平成30年度	33.7	27.8	39.4	30.2	26.7	42.6	35.7
				平成29年度	32.5	34.0	34.5	34.8	29.2	40.7	26.5
				増減	+1.2	-6.2	+4.9	-4.6	-2.5	+1.9	+9.2

「行きたい」の割合を、平成 29 年度調査と比べると、男性では、10 代・20 代が 9.2 ポイント高くなっている。女性では、30 代以外の年代で上昇しており、特に 50 代が 10.8 ポイント高くなっている。

「行きたくない」の割合を、平成 29 年度調査と比べると、男性では、10 代・20 代が 17.5 ポイント低くなっている。女性では、70 歳以上が 9.2 ポイント高くなっている。（**表５－２－１**）

図５－２－３　今後の、歌舞伎町への来街意向
（経年推移）



過去５年間の経年推移をみると、平成 29 年度と割合に大きな変化はみられない。

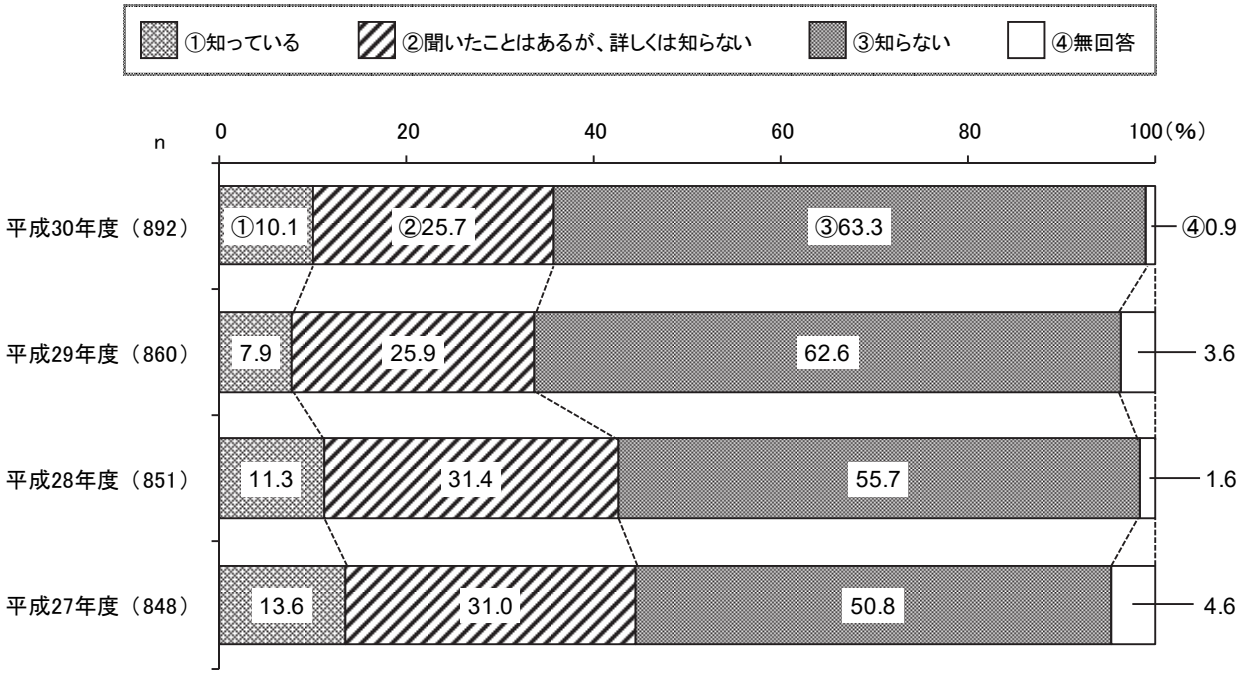
「行きたい」では、平成 28 年度（42.7%）から平成 30 年度（38.0%）にかけて 4.7 ポイント低くなっている。（**図５－２－３**）

（３）歌舞伎町ルネッサンスの認知状況

◎「知らない」が６割台半ば近く

問２６　あなたは、「歌舞伎町ルネッサンス」の取組を知っていますか。（○は１つ）	
	（n=892）
1　知っている	10.1%
2　聞いたことはあるが、詳しくは知らない	25.7
3　知らない	63.3
無回答	0.9

図５－３　歌舞伎町ルネッサンスの認知状況
（経年推移）



歌舞伎町ルネッサンスの認知状況について、「知らない」（63.3%）が６割台半ば近く、「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」（25.7%）が２割台半ばとなっている。

過去４年間の経年推移をみると、「知らない」は、年々高くなっており、平成 27 年度（50.8%）から平成 30 年度（63.3%）にかけて 12.5 ポイント高くなっている。（**図５－３**）

（４）歌舞伎町の印象の変化

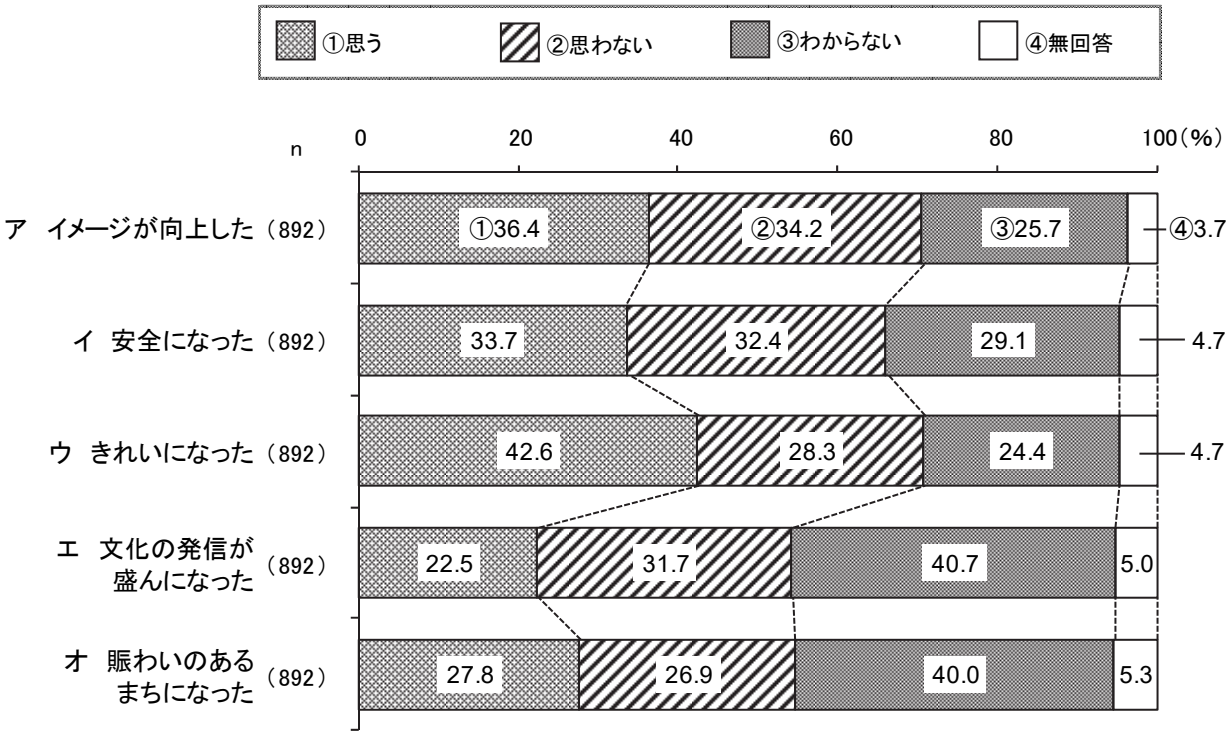
◎『きれいになった』と思うか「思う」が４割強

問２７　あなたの歌舞伎町の印象は、以前と比べて変わったと思いますか。
（ア～オそれぞれで、１～３に１つだけ○をつけてください）

（n=892）

	思う	思わない	わからない	無回答
ア　イメージが向上した	36.4%	34.2%	25.7%	3.7%
イ　安全になった	33.7	32.4	29.1	4.7
ウ　きれいになった	42.6	28.3	24.4	4.7
エ　文化の発信が盛んになった	22.5	31.7	40.7	5.0
オ　賑わいのあるまちになった	27.8	26.9	40.0	5.3

図５－４－１　歌舞伎町の印象の変化

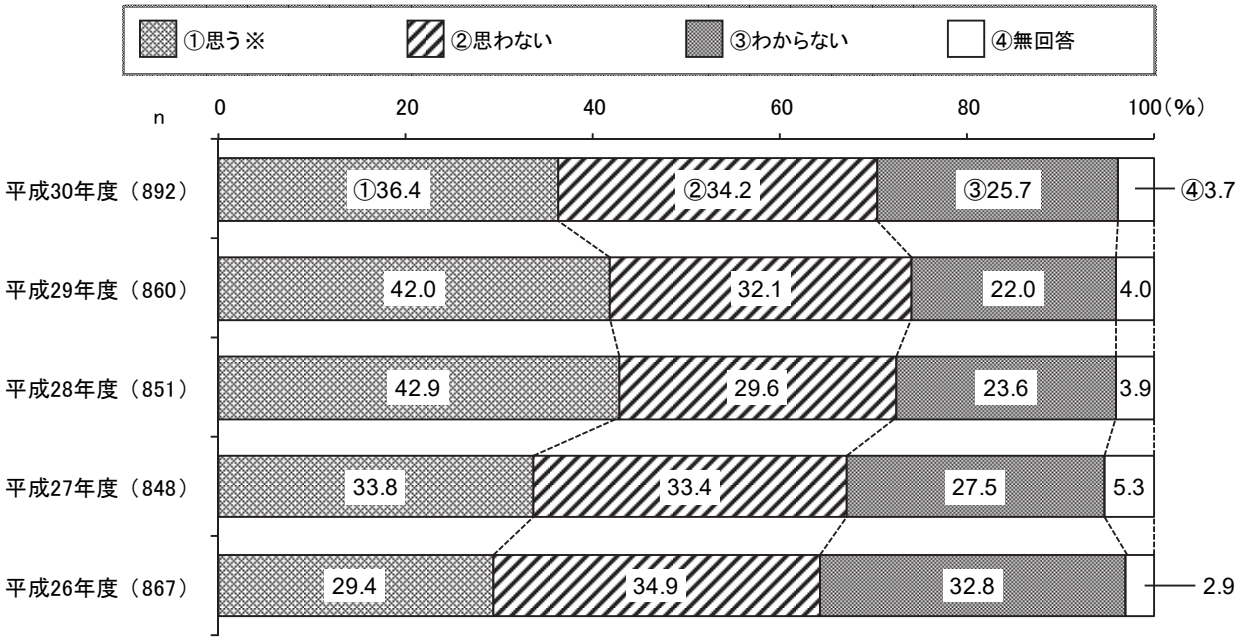


歌舞伎町の印象の変化について、「思う」は『きれいになった』（42.6%）が４割強で最も高く、次いで『イメージが向上した』（36.4%）が３割台半ばを超えている。一方、「思わない」でも『イメージが向上した』（34.2%）が３割台半ば近くと高くなっている。（**図５－４－１**）

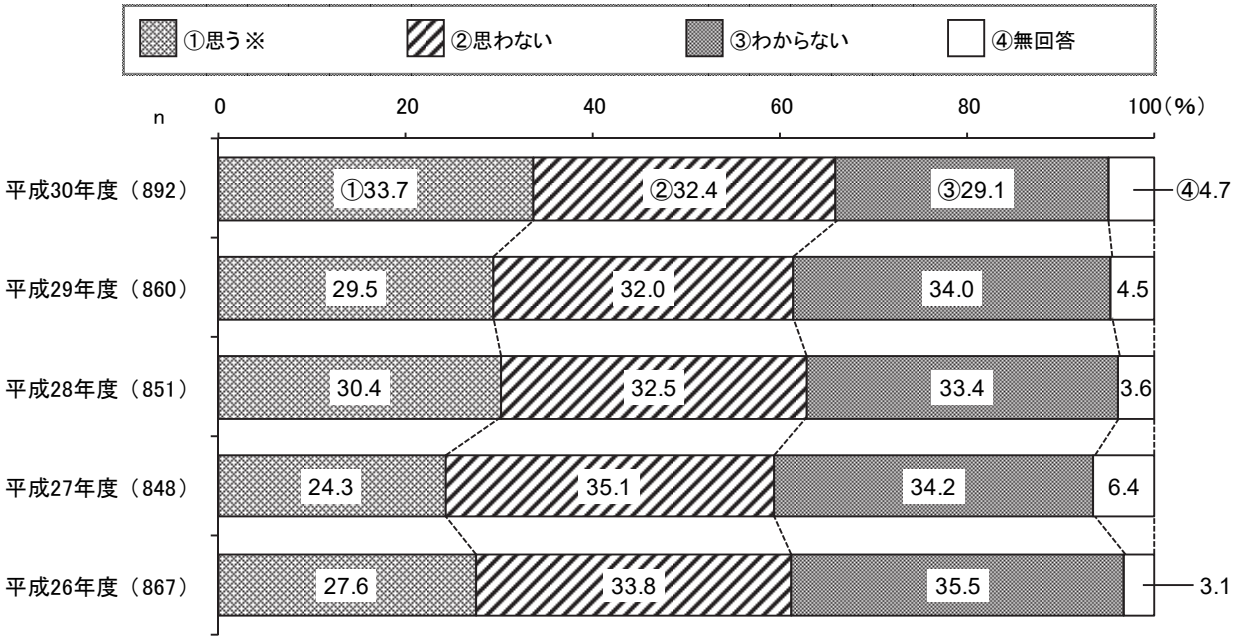
図５－４－２　歌舞伎町の印象の変化

（経年推移）　　※平成 29 年度まで「そう思う」

『ア　イメージが向上した』



『イ　安全になった』



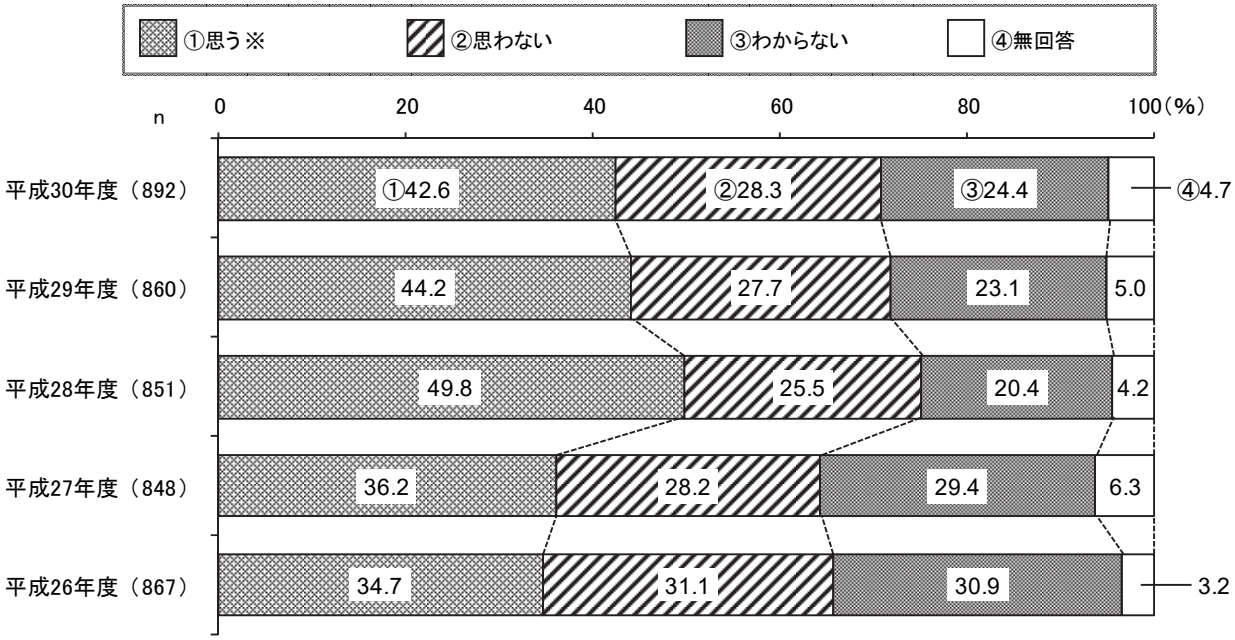
それぞれの項目ごとに過去５年間の経年推移をみると、『イメージが向上した』において、「思う」は、平成 26 年度（29.4%）から平成 30 年度（36.4%）にかけて 7.0 ポイント高くなっている。

『安全になった』において、「思う」は、平成 26 年度（27.6%）から平成 30 年度（33.7%）にかけて 6.1 ポイント高くなっている。（**図５－４－２**）

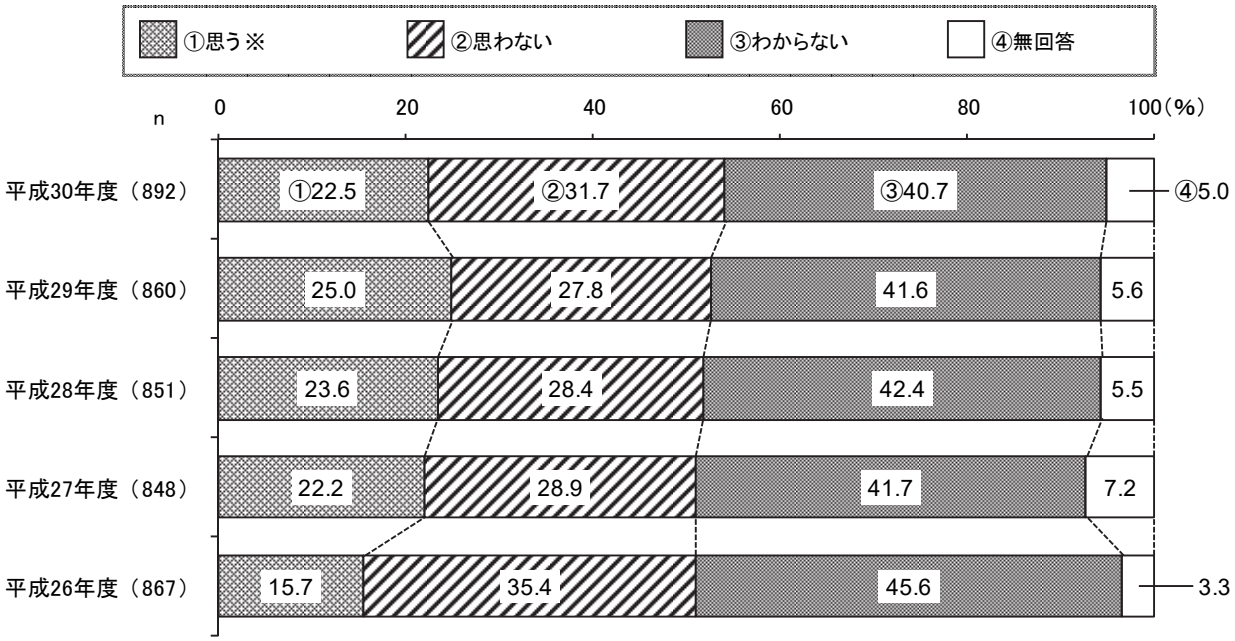
図５－４－３　歌舞伎町の印象の変化

（経年推移）　　※平成 29 年度まで「そう思う」

『ウ　きれいになった』



『エ　文化の発信が盛んになった』



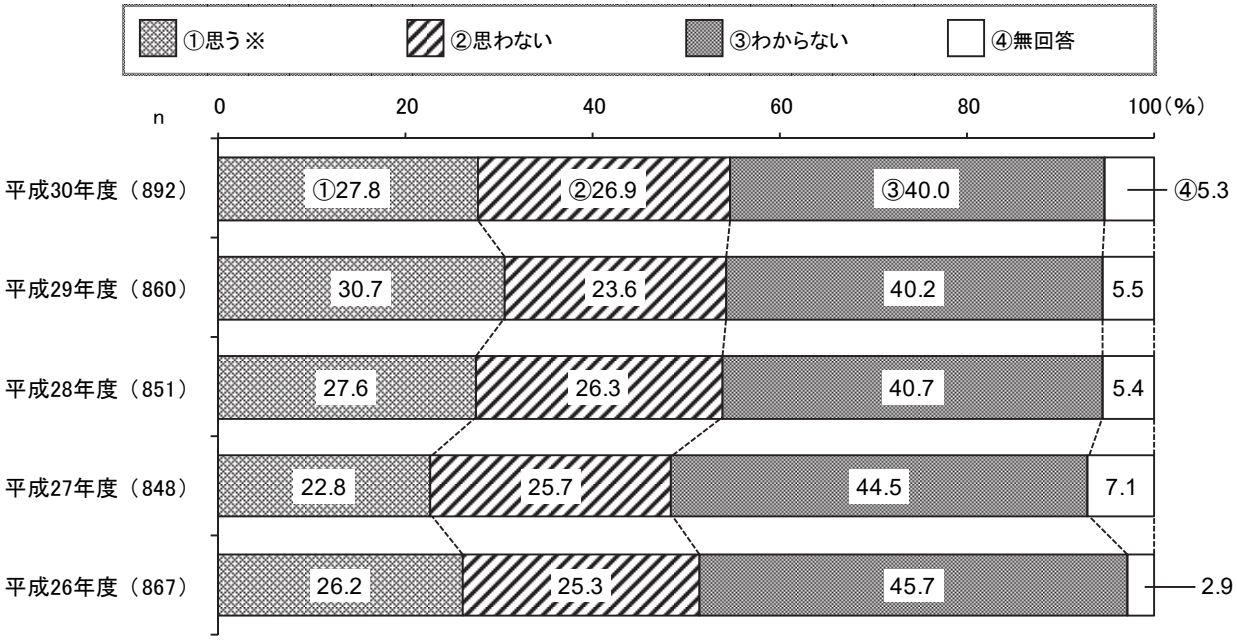
『きれいになった』において、「思う」は、平成 28 年度（49.8%）から平成 30 年度（42.6%）にかけて 7.2 ポイント低くなっている。

『文化の発信が盛んになった』において、「思わない」は、平成 29 年度（27.8%）から平成 30 年度（31.7%）にかけて 3.9 ポイント高くなっている。（**図５－４－３**）

図５－４－４　歌舞伎町の印象の変化

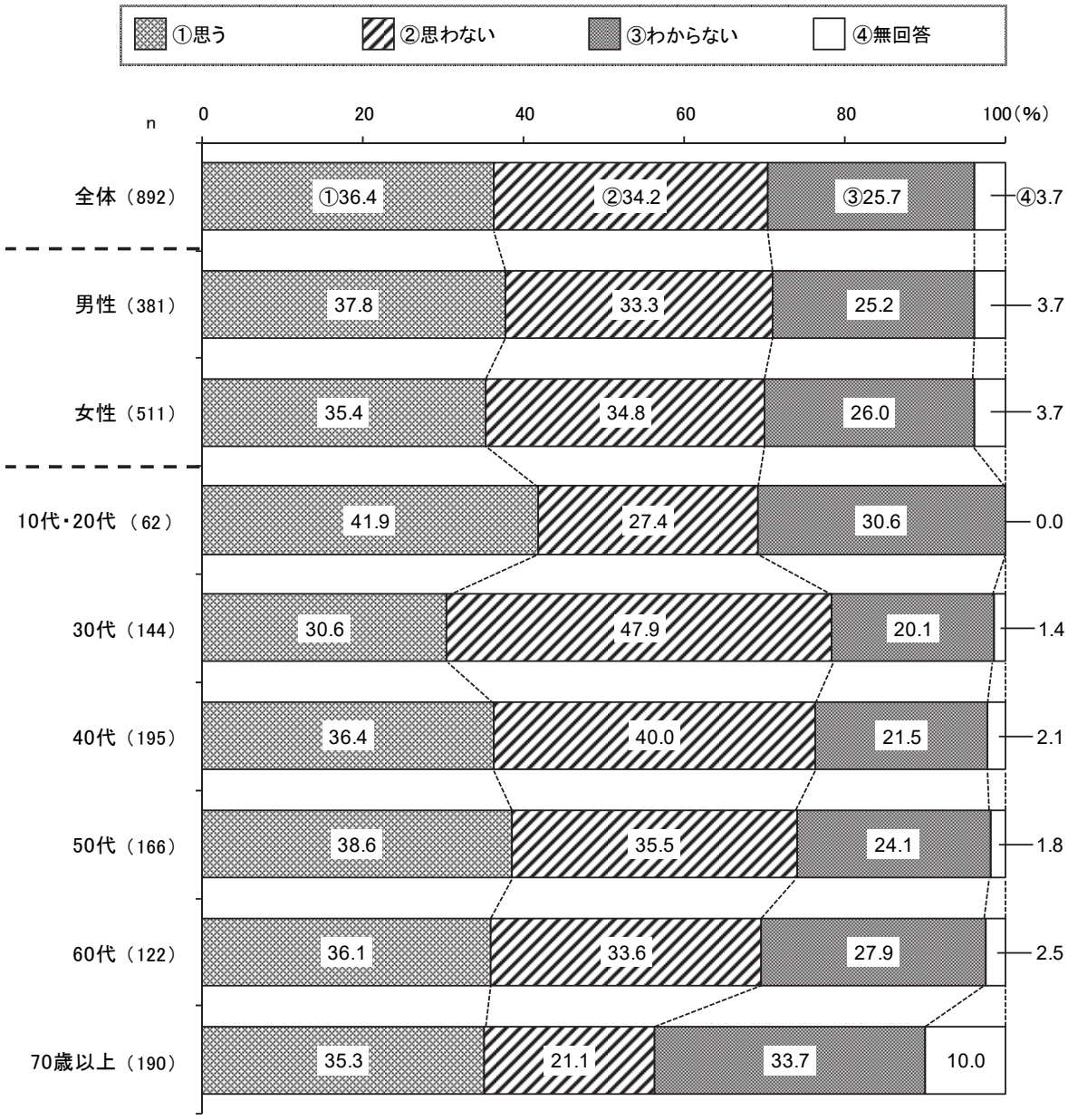
（経年推移）　　※平成 29 年度まで「そう思う」

『オ　賑わいのあるまちになった』



『賑わいのあるまちになった』において、「思わない」は、平成 29 年度（23.6%）から平成 30 年度（26.9%）にかけて 3.3 ポイント高くなっている。（**図５－４－４**）

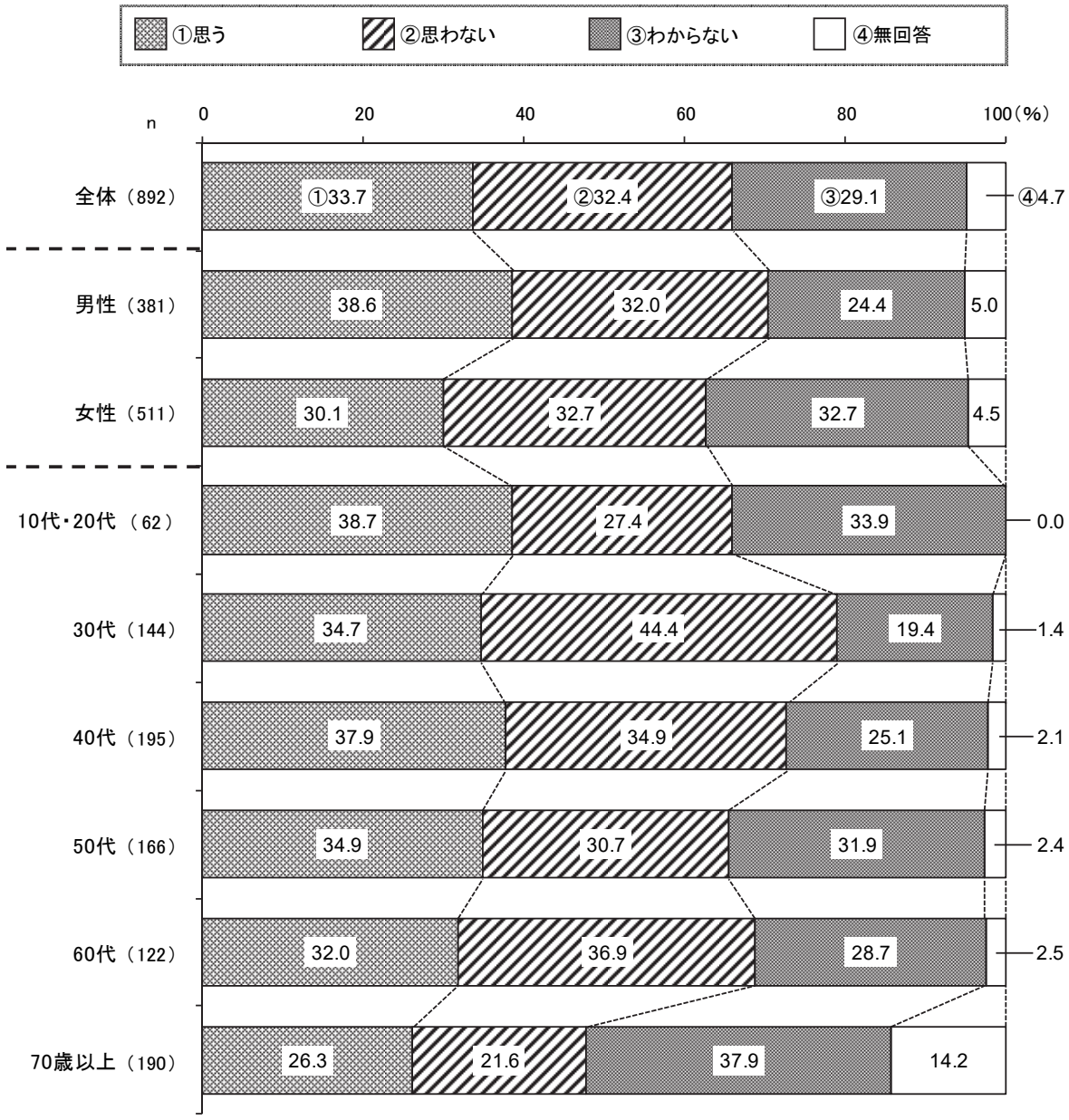
図５－４－５　歌舞伎町の印象の変化
（性別・年代別）
『ア　イメージが向上した』



『イメージが向上した』において、性別でみると、男女の割合に大きな差はみられない。

年代別でみると、「思わない」は 30 代（47.9%）が４割台半ばを超えて、全体（34.2%）を 13.7 ポイント上回っている。（**図５－４－５**）

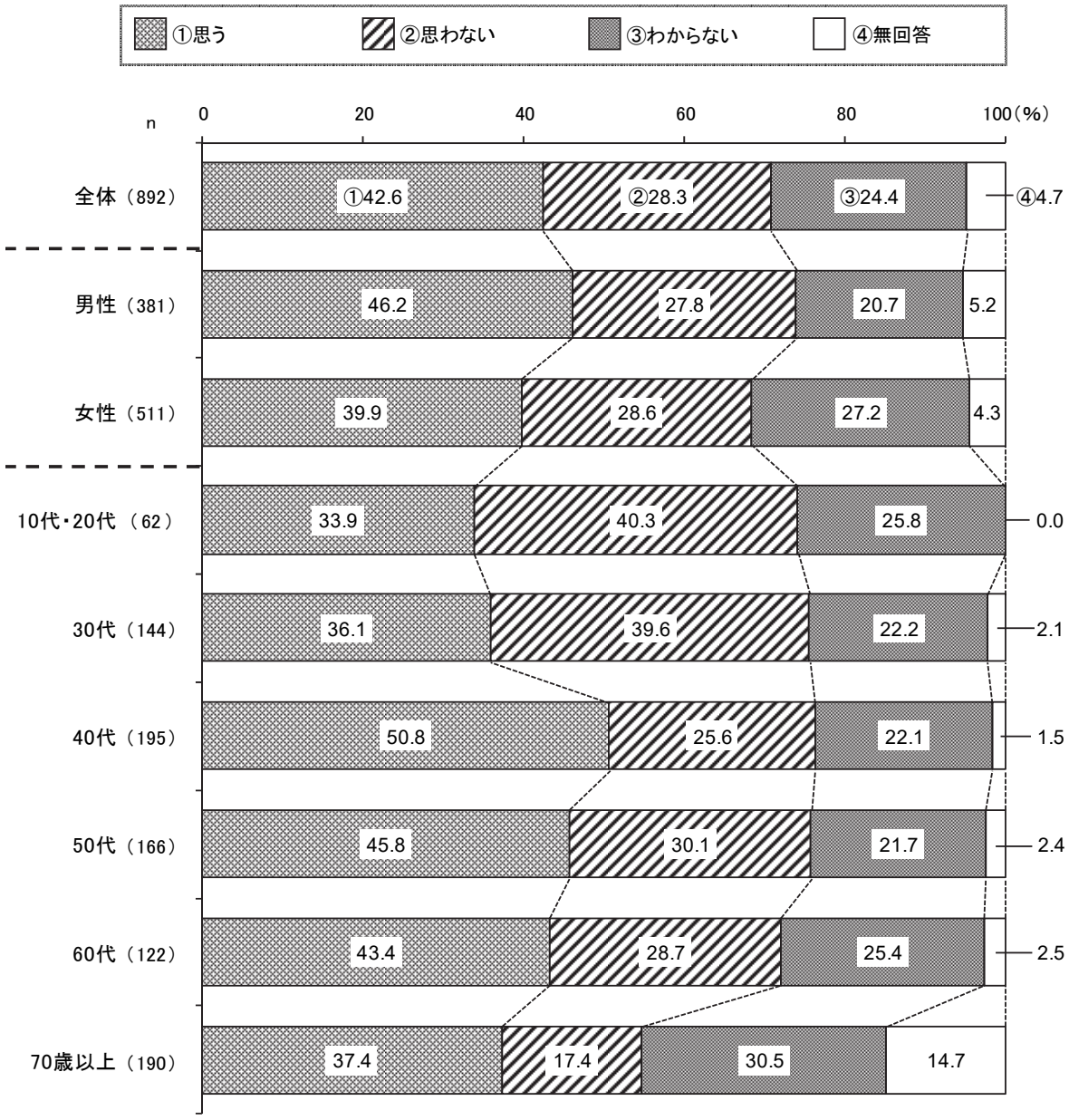
図５－４－６　歌舞伎町の印象の変化
（性別・年代別）
『イ　安全になった』



『安全になった』において、性別でみると、「思う」は男性（38.6%）が４割近くと、女性（30.1%）を 8.5 ポイント上回っている。

年代別でみると、「思わない」は 30 代（44.4%）が４割台半ば近くと、全体（32.4%）を 12.0 ポイント上回っている。（**図５－４－６**）

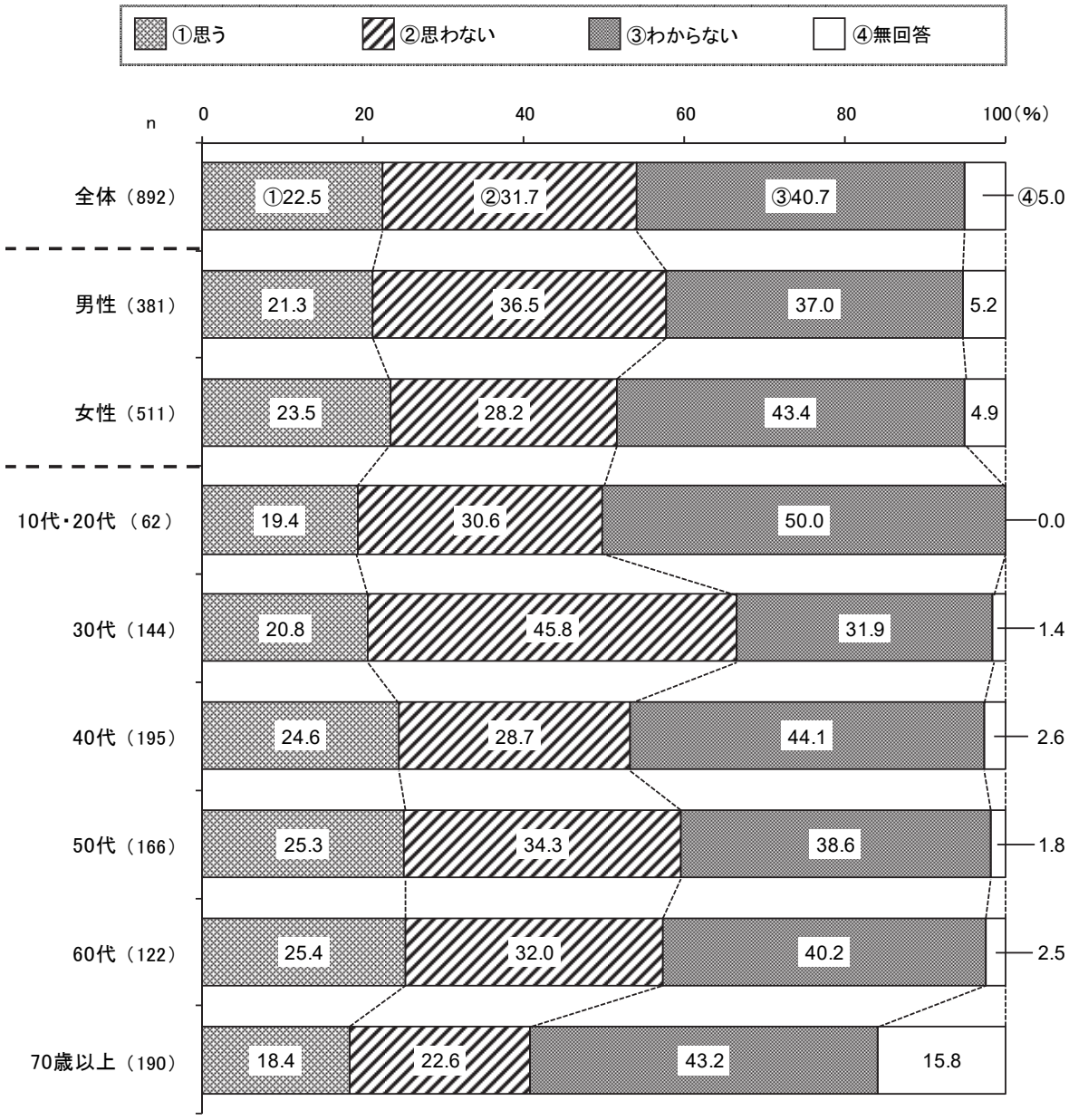
図５－４－７　歌舞伎町の印象の変化
（性別・年代別）
『ウ　きれいになった』



『きれいになった』において、性別でみると、「思う」は男性（46.2%）が４割台半ばを超えて、女性（39.9%）を 6.3 ポイント上回っている。

年代別でみると、「思わない」は 10 代・20 代（40.3%）が約４割と、全体（28.3%）を 12.0 ポイント上回っている。（**図５－４－７**）

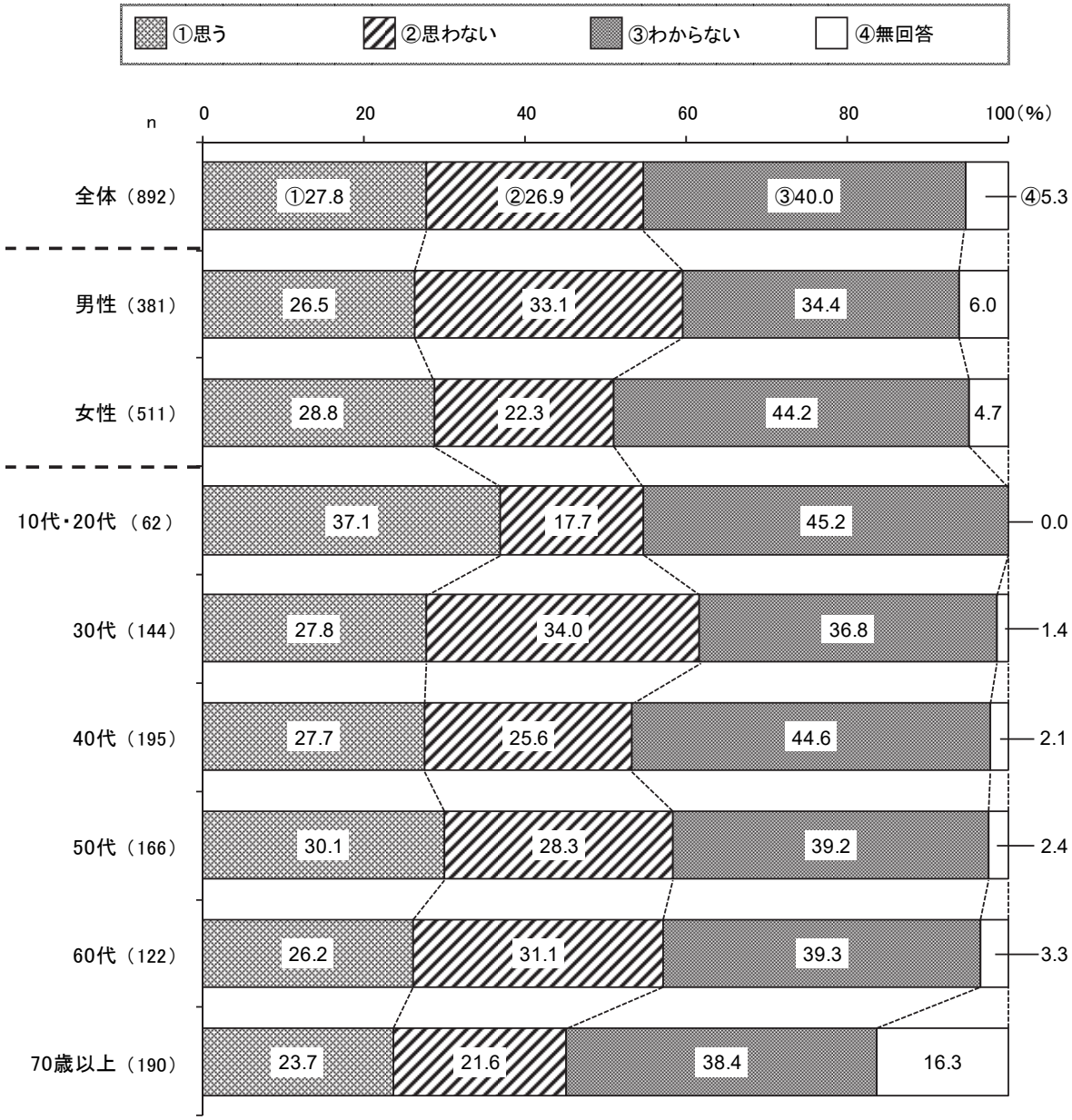
図５－４－８　歌舞伎町の印象の変化
（性別・年代別）
『エ　文化の発信が盛んになった』



『文化の発信が盛んになった』において、性別でみると、「思わない」は男性（36.5%）が３割台半ばを超えて、女性（28.2%）を 8.3 ポイント上回っている。

年代別でみると、「思わない」は 30 代（45.8%）が４割台半ばと、全体（31.7%）を 14.1 ポイント上回っている。（**図５－４－８**）

図５－４－９　歌舞伎町の印象の変化
（性別・年代別）
『オ　賑わいのあるまちになった』



『賑わいのあるまちになった』において、性別でみると、「思わない」は男性（33.1%）が３割台半ば近くと、女性（22.3%）を 10.8 ポイント上回っている。

年代別でみると、「思う」は 10 代・20 代（37.1%）が３割台半ばを超えて、全体（27.8%）を 9.3 ポイント上回っている。（**図５－４－９**）

（５）歌舞伎町ルネッサンスについての意見・要望

問２８　歌舞伎町のイメージアップに期待するものや効果的なもの、
その他歌舞伎町ルネッサンスについてご意見・ご要望がありましたらご記入ください。
（ご自由にお書きください）

★ご意見・ご提案（一部抜粋）★

○これからのイベント等をわかりやすい所に掲示するなど、一般の人にも目につく場所に掲示してもらいたい。
○パトロール、清掃、不法看板の是正の強化。
○こういう取組みによって歌舞伎町を観光資源として活用していけるようにすることが、新宿区にとって良いと思う。
○アートや文化、歴史について発信して欲しい。「まち歩き」のイベントがあれば行ってみたい。ゴールデン街は、まちの個性として大切にして欲しい。
○海外からの旅行者が楽しめる様に外国語のサービスが増えると良い。
○外国人の方が増えているので各国の文化の紹介。
○外国人観光客も多い場所なので日本の文化に触れることができ、日本人も一緒に楽しめるイベントなどがたくさん開催されると良いと思う。
○区役所通りのイルミネーションはいいと思う。元々、歌舞伎町は夜も明るいが、より健全な明るさを演出していると感じる。
○きれいな町は東京都内に色々ある。ある程度の雑多感が残される事で、街の特長になるように思う。
○無理にクリーンな感じを演出しなくても、ワイザツでオドロオドロしい「歌舞伎町」の方がヒトを呼び寄せるのでは？
○「歌舞伎町」という名前自体に「恐いところ」「危険」なイメージが定着し切ってしまっているから、いっそ「歌舞伎町」という名前自体をなくして、新しい名前を作るくらいじゃないとイメージを変えるのは難しいと思う。
○映画プレミア等で俳優さんや有名な方が来てくれると、そういった方を呼べる安全で治安の良い所というイメージになると思う。（特に、ＴＶで放映されれば効果は大きいと考える）
○歌舞伎町に子供と行けるとは数年前まで思ってもいなかった。今後も明るい歌舞伎町になってほしいと思う。
○朝、路上がごみだらけになっているのがとても汚い。毎日、深夜にごみ収集できると良いと思う。ナイトマーケット（夜市）があれば楽しいと思う。食や文化の発信ができる。家族や友人と散策ができる町になる。
○日中に利用できる赤ちゃん連れ、子ども（幼児向け）の設備、（授乳室、オムツ替え、遊び場）や施設の誘致はどうか。親子連れには、あまり近寄れない場所のイメージがある。危ない、汚い等…。
○昼間にもっと気軽に行ける様に、女性やファミリー向けの施設があれば、イメージアップになると思う。

○以前よりも歌舞伎町の昼間のイメージはよくなりつつあるが、暗くなるとやはり客引きらしき人がいるし、まだまだだ。夜も安心して歩けるような町になってほしい。
○歌舞伎町に限らず、煙草の規制を強化してほしい。路上喫煙禁止の条例に罰則があるのなら、きちんと実行してほしい。町中でもポイ捨てや煙の臭いにしょっちゅう出くわし嫌な思いをしている。米国のように、摘発数に応じた歩合制の給与が支払われる取り締り団体など、民間と協力してやってほしい。区内全体の美化につながる。
○図書館とか体育館など文化的イメージアップの施設の充実を図ること。コンサートホールもいいかと思う。
○歌舞伎町ルネッサンスの取組自体を知らなかったが、効果があれば、安心して行けると思う。
○子供を連れた家族連れでも安全で楽しめる、明るい環境を作って欲しい。
○「映画館」のイメージになったので、映画関係のイベントを多く開催してはどうか。
○新宿区安全安心パトロール隊のユニフォームを、明るく目立つ色にしたら良いと思う。
○新宿区イコール歌舞伎町というイメージが、他の区に住んでいる人の印象のようだ。今後も歌舞伎町ルネッサンスの活動で、イメージアップしていただけるとありがたい。
○安全でなければ困るが、ある程度の猥雑さもまた、歌舞伎町の良さと思ったりしている。
○昔は、歌舞伎町＝怖い、汚い、風紀が守られていない…など特に夜などは子供には絶対に行かせたくない所だったが、今はかなり改善されイメージが変わった。もっとおしゃれなカフェや雑貨店などが増えたらいいと思う。
○女性に向けてのサービスが増えれば、より安全性の華やかな街になるように思う。
○実際に歩いてみると、かなり安全でキレイになった印象を持つ。しかしながら、現状は昔のイメージが残りあえて遊びに行こうとは思えない。もう少し一般的に、取り組みなども含めて、認知度が上がると良い。
○シネシティ広場での催し物が面白そうなので、今後は参加してみたい。奥まった所にあるので、行く機会が少ないと思うので、ＰＲ活動がもっとあると知ることが出来そうだと思った。
○歌舞伎町をイメージアップすることは大変良いと思う。ルネッサンスの活動を長く続けてほしい。
○ゴミが落ちていない、路上喫煙がない、など衛生的なところは、イメージアップにつながると思う。
○まずは、女性が１人で行っても安心・安全な街にしてほしい。
○どうしても夜のイメージでマスコミに取り上げられているが、安全な町として、どんどんＰＲしてほしい。

Ⅲ　資料（調査票）

平成３０年度　新宿区区政モニターアンケート
第２回

テーマ１　健康習慣について
テーマ２　新宿応援セールについて
テーマ３　成年後見制度について
テーマ４　男女共同参画に関する意識について
テーマ５　歌舞伎町ルネッサンスの推進について

返送時の紙折り位置

テーマ５に関する資料を同封しています。ご回答の前に一読ください。

アンケートご記入にあたってのお願い

１．回答は、**あてはまる番号に○印**をつけてください。設問によって、**１つだけの場合や、あてはまるもの全てに○印をつけていただく場合**などがあります。問いの最後に“(○は１つ)”などと記載してありますので、確認のうえご記入をお願いいたします。

２．**前問の回答によって、次に答える設問が変わる場合があります**。
（例：問１で、「１」に○をした方におたずねします、など）
問いの前文や、回答欄の矢印等の指示に従ってお進みください。

３．「その他」を選んだ場合には、（　）内に具体的な回答をご記入ください。

返送時の紙折り位置

全てご記入頂けましたら、同封の返信用封筒にて

整理票を取り外さず、

平成３０年１１月１３日（火）までにご返送ください。

※整理票は、ご協力のお礼を発送するために必要なものです。開封後直ちに調査票から切り離しますので、調査票によって個人が特定されることは一切ございません。

問合せ先　新宿区総合政策部　区政情報課　広聴係
電話　　０３－５２７３－４０６５（直通）
ＦＡＸ　０３－５２７２－５５００
E-Mail　kuseijoho@city.shinjuku.lg.jp

ご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

テーマ１　健康習慣について

新宿区では、「新宿区健康づくり行動計画」を策定し、暮らしのなかで意識せずとも健康づくりを実践でき、こころも身体も健康に暮らし続けられるまちをめざし、様々な取組を進めています。今回、健康習慣についてもおたずねし、計画の進捗評価や今後の取組の参考にしたいと考えています。

問１　あなたは、現在の健康状態をどのように感じていますか。（○は１つ）

１　良い	４　あまり良くない
２　まあ良い	５　良くない
３　どちらともいえない	

問２　あなたは週に何日くらいお酒（清酒、焼酎、洋酒など）を飲みますか。（○は１つ）

１　毎日	５　月に１～３日　→問２－１へ
２　週に５～６日	６　ほとんど飲まない
３　週に３～４日	７　やめた
４　週に１～２日	８　飲まない（飲めない）

問２－１　問２で、「１」～「６」に○をした方にお伺いします。
お酒を飲む日は１日あたり、どれくらいの量を飲みますか。（○は１つ）

※清酒１合（180ml）は、次の量にほぼ相当します。
ビール・発泡酒中瓶１本（約 500ml）、焼酎 20 度（135ml）、焼酎 25 度（110ml）、焼酎 35 度（80ml）、チュウハイ７度（350ml）、ウイスキーダブル１杯（60ml）、ワイン２杯（240ml）

１　１合（180ml）未満	４　３合以上４合（720ml）未満
２　１合以上２合（360ml）未満	５　４合以上５合（900ml）未満
３　２合以上３合（540ml）未満	６　５合（900ml）以上

問３　あなたは、たばこを吸いますか。（○は１つ）

１　毎日吸っている	３　以前は吸っていたが１か月以上吸っていない
２　時々吸う日がある	４　吸わない

問４　この１か月、あなたは睡眠で休養が十分とれていますか。（○は１つ）

１　十分にとれている	３　あまりとれていない
２　まあまあとれている	４　まったくとれていない

問５　あなたは、こころの問題（ストレスや病気など）について気軽に相談できる場所・窓口※を知っていますか。（○は１つ）

※例えば、保健センター、保健所、精神神経科の専門医、かかりつけ医、こころの電話相談などがあります。

１　知っている	２　知らない

問６　あなたには、かかりつけ歯科医※がありますか。（○は１つ）

※かかりつけ歯科医とは、身近な診療所などで日常的に医療を受けたり、お口の健康に関する相談ができる歯科医師のことです。

１　ある	２　ない

問７　あなたは、「禁煙」「節酒」「食生活」「身体活動」「適正体重の維持」の５つの生活習慣に気をつけて生活するとがんになるリスクが大幅に低下すること※を知っていますか。（○は１つ）

※国立がん研究センターの調査による

１　知っている	２　知らない

問８　あなたは、次のがん検診を受けていますか。受けている検診すべてに○をつけてください。

（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

１　胃がん検診
２　大腸がん検診
３　肺がん検診
４　子宮頸がん検診　※女性のみ
５　乳がん検診　※女性のみ
６　前立腺がん検診　※男性のみ

→ 問８－１へ

７　受けていない

問８－１　問８で、「１」～「６」に○をした方にお伺いします。
問８のうち、新宿区のがん検診を受診されたのは、次のうちどの検診ですか。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

１　胃がん検診
２　大腸がん検診
３　肺がん検診
４　子宮頸がん検診　※女性のみ
５　乳がん検診　※女性のみ
６　前立腺がん検診　※男性のみ
７　全て区のがん検診ではない（職場健診・人間ドック等）

問９　あなたは、毎年、一般の健康診査を受けていますか。**（○は１つ）**

１　受けている	２　受けていない　→　問９－１へ

問９－１　問９で、「２」に○をした方にお伺いします。
受けていない理由でもっともあてはまるものは何ですか。**（○は１つ）**

１　時間がなかったから
２　毎年受ける必要性を感じないから
３　健康状態に自信があるから
４　心配な時はいつでも医療機関を受診できるから
５　結果が不安なため受けたくないから
６　面倒だから
７　理由は特にない
８　その他（　　）

テーマ２　新宿応援セールについて

新宿応援セールは消費拡大の推進と商店街活性化を図るため、平成２１年度から毎年実施している総額３，０００万円が新宿区内全域の商店街の店舗で当たる、スクラッチくじ方式の抽選券を配布するキャンペーンです。（平成30年度実施期間：6月1日～３０日【配布期間は６月２０日まで】）

新宿応援セールについて、皆様のお考えと実情をお聞きし、今後の施策に役立てていきたいと考えています。

問１０　あなたは、「新宿応援セール」を知っていますか。**（○は１つ）**

１　知っている	→ 問１０－１～問１０－２へ
２　知らない	→ 問１１へ

問１０－１　問１０で、「１」に○をした方にお伺いします。
あなたは、「新宿応援セール」を何で知りましたか。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

１　広報しんじゅく
２　折込チラシ
３　新宿ルーペ
４　店頭ポスター
５　町会掲示板
６　ラッピングバス
７　その他（　　）

問１０－２　問１０で、「１」に○をした方にお伺いします。
あなたは、「新宿応援セール」中に、どのくらいの頻度で、商店会で買い物をしましたか。**（○は１つ）**

１　普段より多い ２　普段と同じくらい ３　普段より少ない	→ 問１０－３～問１０－６へ
４　買い物しなかった	→ 問１１へ

問１０－３　問１０－２で、「１」～「３」に○をした方にお伺いします。
あなたは、「新宿応援セール」中に商店会のどちらの店舗で買い物をしましたか。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

１　食料品販売店
２　食料品以外の物販店
３　飲食店
４　サービス業（美容院・クリーニング店等含む）
５　医療関連施設（薬局・マッサージ店・鍼灸等含む）
６　娯楽施設
７　その他（　　）

問１０－４　問１０－２で、「１」～「３」に○をした方にお伺いします。
あなたは、「新宿応援セール」中に、いくらくらい商店会で買い物をしましたか。
（○は１つ）

１　普段より高額
２　普段と同額くらい
３　普段より少額

問１０－５　問１０－２で、「１」～「３」に○をした方にお伺いします。
あなたが「新宿応援セール」中に商店会で買い物をした１回あたりの平均金額を教えてください。**（○は１つ）**

１　５００円未満
２　５００円以上１，０００円未満
３　１，０００円以上２，０００円未満
４　２，０００円以上３，０００円未満
５　３，０００円以上

問１０－６　問１０－２で、「１」～「３」に○をした方にお伺いします。

あなたは、「新宿応援セール」の当選券を利用しましたか。**（○は１つ）**

１　利用した	→ 問１１へ
２　利用していない	→ 問１０－７へ
３　当選しなかった	→ 問１１へ

問１０－７　問１０－６で、「２」に○をした方にお伺いします。

あなたが「新宿応援セール」の当選券を利用しなかった理由は何ですか。

（○は１つ）

１　当選金額が少ない
２　利用期間が短い
３　利用したい店が無い
４　当選券を紛失した
５　利用するのを忘れた
６　その他（　　）

問１１　「新宿応援セール」についてご意見がありましたらご記入ください。

（ご自由にお書きください）

（例）・現状のまま続けてほしい。
・店舗掲示ポスターを見える場所に貼ってほしい。
・参加店を増やしてほしい。

テーマ３　成年後見制度について

成年後見制度とは、認知症、知的障害、精神障害などによって、物事を判断する能力が十分でない方（「本人」）について、本人の権利を守る成年後見人等（「成年後見人・保佐人・補助人」）を選ぶことで、本人の意思を尊重し、その人らしい生活のために、法律面や生活面で支援するしくみです。今後、制度の更なる利用促進を図るために、区民の皆様に成年後見制度に関する意識や利用意向、制度の運用体制についておたずねします。

問１２　あなたは、成年後見制度を知っていますか。（○は１つ）

１	聞いたことがあり、内容も知っている
２	聞いたことはあるが、内容は知らない
３	知らない

問１３　あなたは、あなた自身や家族・親族が、認知症等により判断能力が十分でなくなったとき、成年後見制度を利用したいと思いますか。（○は１つ）

１	利用したい　　→　問１３－１へ
２	利用したくない
３	わからない

問１３－１　問１３で、「１」に○をした方にお伺いします。
成年後見制度を利用する際、どのような人に成年後見人等になってほしいと思いますか。すでに利用している人もお答えください。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

１	家族・親族
２	弁護士・司法書士・社会福祉士などの専門家
３	市民後見人※（社会貢献型後見人）
４	社会福祉協議会
５	法律又は福祉に携わる法人
６	その他（　　）
７	わからない

※市民後見人とは、弁護士や司法書士などの資格を持たない市民の中で、成年後見に関する一定の知識等を身に付けた第三者の成年後見人等のことです。

問１４　あなたは、成年後見制度がより多くの人に利用されるために、どのようなことが必要だと思いますか。**（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）**

１	情報提供や普及啓発を充実させること
２	費用の負担の心配が少ないこと
３	プライバシー保護が徹底されていること
４	手続が簡単にできるようになること
５	不正防止策が強化されていること
６	その他（　　）
７	わからない

問１５　現在、成年後見制度に関する周知方法として、知っているものは何ですか。**（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）**

１	広報しんじゅく
２	パンフレット・チラシ
３	新宿区社会福祉協議会広報紙「けやき」
４	区ホームページ
５	新宿区社会福祉協議会ホームページ
６	区ツイッター・フェイスブック
７	その他（　　）

テーマ４　男女共同参画に関する意識について

男女共同参画とは、男女が社会の対等な構成員として性別にかかわりなくその個性と能力を十分に発揮し、責任を分かち合いながら、ともにあらゆる分野に参画することをいいます。

皆様から日常生活のなかでの男女共同参画に関する意識や実情をおたずねします。

問１６　あなたは、次のような分野において男女平等だと思いますか。

（ア～クそれぞれで、１～５に１つだけ○をつけてください）

	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている
ア　家庭生活で	1	2	3	4	5
イ　職場で	1	2	3	4	5
ウ　学校教育の場で	1	2	3	4	5
エ　政治の場で	1	2	3	4	5
オ　法律や制度の上で	1	2	3	4	5
カ　社会通念・慣習・しきたりなど	1	2	3	4	5
キ　地域活動の場で	1	2	3	4	5
ク　社会全体として	1	2	3	4	5

問１７　男女共同参画に関する以下の言葉についてご存じですか。

（ア～オそれぞれで、１～３に１つだけ○をつけてください）

	知っている	言葉は聞いたことがあるが意味は知らない	知らない
ア　性別役割分担　※性別によって男女で固定的な役割を分担すること	1	2	3
イ　ＤＶ（ドメスティック・バイオレンス） ※配偶者やパートナーからの暴力	1	2	3
ウ　デートＤＶ　※恋人など親密な関係にある相手からの暴力	1	2	3
エ　性的マイノリティ（ＬＧＢＴ等）	1	2	3
オ　ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	1	2	3

問１８　働いているすべての方にお伺いします。
あなたは、現在の仕事と生活のバランスに満足していますか。（○は１つ）

１	たいへん満足している
２	ほぼ満足している
３	あまり満足していない
４	まったく満足していない

問１９　男女とも働きやすい環境をつくるためには、どのようなことが重要だと思いますか。
（あてはまるものに３つまで○をつけてください）

１	男女ともに労働時間の短縮をはかること
２	男女ともに家事・育児・介護に参加すること
３	男女ともに仕事に対する責任感をより高めること
４	男女ともに技術・能力を高めること
５	職場での男女の雇用機会・昇進・待遇を均等にすること
６	職場でのハラスメント対策が取られていること
７	出産後などに職場復帰できる制度が整備・充実されること
８	育児・介護休業制度が整備・充実されること
９	その他（　　）
10	特に重要だと思うことはない

問２０　「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という固定的な性別役割分担の考え方について、あなたの考えに近いものは、次のうちどれですか。（○は１つ）

１	賛成
２	どちらかといえば賛成
３	どちらかといえば反対
４	反対
５	わからない

問２１　ドメスティック・バイオレンス（配偶者等からの暴力。以下、「ＤＶ」という）について、ＤＶだと思う行為は次のうちどれですか。

（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

1　何を言っても無視する
2　行動を制限する
3　交友関係やメールをチェックする
4　「誰のおかげで食べられるんだ」・「馬鹿」等の暴言を言う、大声でどなる
5　人前で侮辱する
6　他人に悪口を言う
7　大切な物をわざと壊す
8　殴るふりをする等して脅す
9　殴る・蹴る・髪を引っ張る・物を投げつける等の行為をふるう
10　首をしめる・刃物を持ち出す等、命に危険を感じる行為を行う
11　自由になるお金を制限する
12　意に反した性的な行為を強要する
13　無理やりポルノ等を見せる
14　避妊に協力しない
15　どれもあたらない

問２２　ＤＶについての相談機関の窓口をご存じですか。

（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

1　新宿区配偶者暴力相談支援センター　ＤＶ相談ダイヤル
2　新宿区立男女共同参画推進センター（ウィズ新宿）悩みごと相談室
3　新宿区福祉部生活福祉課（女性相談）
4　新宿区子ども家庭部子ども家庭課（家庭相談）
5　新宿区立子ども総合センター・新宿区立子ども家庭支援センター
6　新宿区保健センター
7　東京都女性相談センター
8　東京ウィメンズプラザ
9　警察
10　法務局人権相談窓口等
11　裁判所
12　民間の機関（弁護士会・法テラス・民間シェルター・ＮＰＯ等）
13　民生委員・児童委員
14　その他（　　）
15　知らない

問２３　今後、男女共同参画を進めるために、区にどのようなことを期待しますか。
（あてはまるものに３つまで○をつけてください）

1　平等意識を育てる学校教育の充実
2　男女平等に関する講座等の開催
3　女性の再就職支援や起業支援の充実
4　企業に対する就労機会や労働条件の男女格差を是正するための働きかけ
5　仕事と家庭・地域活動が両立できるような働き方の見直しの企業への働きかけ
6　育児・保育施設の充実
7　あらゆる分野における女性の積極的な登用
8　行政の政策決定などへの女性の参画促進
9　高齢者や病人の在宅介護サービスや施設の充実
10　各種相談事業の充実
11　男女共同参画についての情報収集・情報提供
12　国・都に対する男女共同参画を推進するための働きかけ
13　その他（　　）
14　特にない

テーマ５　歌舞伎町ルネッサンスの推進について

区は、地元商店街振興組合、町会、警察・消防をはじめとする関係行政機関、民間企業等と強く連携して、歌舞伎町を誰もが安心して楽しめるまちへ再生する取組「歌舞伎町ルネッサンス」を推進しています。歌舞伎町ルネッサンスでは、路上清掃、客引き行為等の指導や防止パトロールなどを実施し、環境美化と安全・安心なまちづくりを進めるとともに、様々なイベントを開催し、賑わいづくりと文化の創造・発信にも取り組んでいます。
※歌舞伎町ルネッサンスの詳しい内容は、同封の冊子をご覧ください。

問２４　歌舞伎町に行く主な目的は何ですか。（あてはまるものに３つまで○をつけてください）

1　買い物・ショッピング
2　映画・カラオケ等の娯楽
3　散策
4　遊技場（ゲームセンターなど）
5　仕事関係
6　飲食（主に昼間）
7　飲食（主に夜間）
8　歌舞伎町に行ったことがない
9　その他（　　）

問２５　あなたは今後、歌舞伎町へ行きたいと思いますか。（○は１つ）

1　行きたい
2　行きたくない
3　わからない

問２６　あなたは、「歌舞伎町ルネッサンス」の取組を知っていますか。**（○は１つ）**

１　知っている ２　聞いたことはあるが、詳しくは知らない ３　知らない

問２７　あなたの歌舞伎町の印象は、以前と比べて変わったと思いますか。
（ア～オそれぞれで、１～３に１つだけ○をつけてください）

	思う	思わない	わからない
ア　イメージが向上した	1	2	3
イ　安全になった	1	2	3
ウ　きれいになった	1	2	3
エ　文化の発信が盛んになった	1	2	3
オ　賑わいのあるまちになった	1	2	3

問２８　歌舞伎町のイメージアップに期待するものや効果的なもの、その他歌舞伎町ルネッサンスについてご意見・ご要望がありましたらご記入ください。
（ご自由にお書きください）

★ 関連ホームページの紹介 ★

※ 歌舞伎町ルネッサンスの紹介ページ
（地域振興部東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課のホームページ）
http://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/index13_13.html

※ 歌舞伎町ルネッサンスオフィシャルサイト
（歌舞伎町タウン・マネージメントのホームページ）
https://www.d-kabukicho.com/

―― 引き続き、回答者の属性のご記入をお願いします ――

※調査結果を統計処理する際に必要ですので、次ページ以降の回答者の属性もご記入ください。
※調査票についている「整理票」は、ご協力のお礼をお送りするために必要ですので、取り外さずにそのままご返送ください。区に到着後、整理票は調査票から取り外して保管しますので、調査票から個人が特定されることはございません。

回 答 者 の 属 性

問ア　あなたのお住まいの地域（所管する特別出張所の地域）をお選びください。（○は１つ）

1	四谷	6	戸塚
2	箪笥町	7	落合第一
3	榎町	8	落合第二
4	若松町	9	柏木
5	大久保	10	角筈・区役所

問イ　性別をお答えください。（○は１つ）

1	男性	2	女性

問ウ　あなたの年齢（満年齢）を、次の中からお選びください。（○は１つ）

1	１８～１９歳	8	５０～５４歳
2	２０～２４歳	9	５５～５９歳
3	２５～２９歳	10	６０～６４歳
4	３０～３４歳	11	６５～６９歳
5	３５～３９歳	12	７０～７４歳
6	４０～４４歳	13	７５～７９歳
7	４５～４９歳	14	８０歳以上

問エ　あなたのご職業を、次の中からお選びください。（○は１つ）

1　会社員・団体職員
2　会社役員・団体役員
3　パート・アルバイト、非常勤、嘱託、派遣など　→問エ－１へ
4　自営業、自由業（開業医、弁護士、司法書士なども含む）
5　学生
6　専業主婦・主夫
7　無職
8　その他（　　）

問エ－１　問エで、「１」～「５」に○をした方にお伺いします。現在のあなたの職場・学校はどこにありますか。**（○は１つ）**

１　新宿区内	２　新宿区外

問オ　現在、あなたは誰かと同居していますか。同居している場合は、あなたからみた続柄で、同居している方すべてに○をしてください。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

１　子
２　妻または夫
３　親
４　祖父母
５　孫
６　兄弟姉妹
７　その他（　　）
８　ひとり暮らし

１～７の方は、
→　問オ－１～問オ－２へ

問オ－１　問オで、「１」～「７」に○をした方にお伺いします。同居している人は、あなたを除いて全員で何人ですか。
【　　】の中に人数を記入してください。

同居している人は、あなた＋【　　】人

問オ－２　問オで、「１　子」に○をした方にお伺いします。同居している子の就学状況は、次のどれにあてはまりますか。**（○は１つ）**

１　一番上の子が小学校入学前	３　一番上の子が高・大学生
２　一番上の子が小・中学生	４　一番上の子が学校を卒業

問カ　あなたは新宿区に住んで何年になりますか。**（○は１つ）**

１　１年未満	５　１０年以上２０年未満
２　１年以上３年未満	６　２０年以上３０年未満
３　３年以上５年未満	７　３０年以上
４　５年以上１０年未満	

問キ　現在のあなたの住宅の形態は、次のうちどれですか。（○は１つ）

一戸建て	集合住宅
1　持ち家の一戸建て 2　賃貸の一戸建て 3　社宅・公務員官舎の一戸建て 4　その他 （　　）	5　分譲マンション・アパート （自己所有のものを含む） 6　賃貸マンション・アパート 7　賃貸のＵＲ都市機構（旧公団） ・公社のマンション・アパート 8　賃貸の都営・区営住宅 9　社宅・公務員官舎 10　その他 （　　）

アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

お手数をおかけしますが、同封の返信用封筒にて、

整理票を取り外さず、

１１月１３日（火）までに、ご返送ください。

（返送・問合せ先）
〒160-8484　新宿区歌舞伎町１－４－１
新宿区総合政策部　区政情報課　広聴係
電話　　０３－５２７３－４０６５（直通）
ＦＡＸ　０３－５２７２－５５００
E-mail　kuseijoho@city.shinjuku.lg.jp

平成 30 年度第２回新宿区区政モニターアンケート

平成 31 年 1 月発行

編集・発行

新宿区総合政策部区政情報課広聴係

東京都新宿区歌舞伎町１－４－１

電話（０３）５２７３－４０６５（直通）

印刷物作成番号
２０１８－１７－２１０６

この印刷物は、業者委託により 450 部印刷製本しています。その経費として、1部あたり 324 円（税込み）がかかっています。ただし、編集時の職員人件費や配送経費などは含んでいません。

新宿区は、環境への負荷を少なくし、未来の環境を創造するまちづくりを推進しています。
本誌は森林資源の保護とリサイクルの促進のため、古紙を利用した再生紙を使用しています。

R70
古紙パルプ配合率70％再生紙を使用